Ikegami

デジタルレコーダ

取扱説明書

型名

SDR-304

はじめに

接続

基本操作

応用操作

便利機能

設定

その他

AC100V NTSC

付属品が同梱されているかご確認ください

SDR-300 Viewer インストールCD-ROM	SDR-300 Viewer インストールガイド	ACコード

安全上のご注意（必ずお守りください。）

安全に正しくお使いいただくために

ご使用の前にこの「安全に正しくお使いいただくために」と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後はいつでも見られる所に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

•お買い上げになった機器に当てはまらない注意事項もありますが、ご了承ください。

⚠ **警告**	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

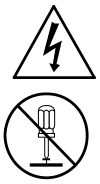
絵表示の例

	△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

安全上のご注意（必ずお守りください。）

使用上の注意

⚠ 警告



●本機のケース・裏パネル等をはずさない！
内部には高圧の部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店または営業マンにご依頼ください。

●本機の上に水などの入った容器を置かない！
こぼれて中に入ると、火災・感電の原因になります。

●本機の上に小さな金属物を置かない！
中に入ると、火災・感電の原因となります。

●表示された電源電圧以外は使用しない！
火災・感電の原因となります。

●本機に水が入ったり、ぬらしたりしない！
火災・感電の原因になります。雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。

●本機の開口部から金属物や燃えやすいものなどの異物を差し込まない！落とし込まない！
火災・感電の原因となります。

●電源コードを傷つけない！加工しない！無理に曲げない！ねじらない！引っ張らない！加熱しない！
コードが破損して火災・感電の原因となります。

●本機を改造しない！
火災・感電の原因となります。

●風呂、シャワー室などの水場では使用しない！
火災・感電の原因となります。

●雷が鳴り出したら、同軸コネクタ／ケーブルや電源プラグに触れない！
感電の原因になります。

●指定された消費電力（W）を越える装置は接続しない！
火災の原因となります。本機のACアウトレットが供給できる電力(W)はACアウトレット付近または取扱説明書に表示してあります。

安全上のご注意（必ずお守りください。）

設置について

⚠ 警告

●不安定な場所に置かない！
落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

●電源コードの上に重いものを置かない！本機の下敷きにしない！
コードが傷ついて、火災・感電の原因になります。コードの上を敷物などで覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

●水場に設置しない！
火災・感電の原因となります。

●指定された機器以外とは接続しない！
火災・感電の原因となります。

●本機の固定は工事専門業者に依頼を！
本機を固定する場合は、指定された方法できちんと固定しないと、落ちたり、倒れたりして、火災・感電・けがの原因になります。特に、壁や天井に固定する場合は、必ず工事専門業者にご依頼ください。なお、取付け費用については、販売店または営業マンにご相談ください。

異常時の処理について

●煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認して、販売店または営業マンに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

●本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または営業マンにご連絡ください。

●本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または営業マンにご連絡ください。

安全上のご注意（必ずお守りください。）

異常時の処理について

⚠ 警告

●本機が故障した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または営業マンに修理をご依頼ください。

●本機を落としたり、ケースが破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または営業マンにご連絡ください。

●電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）場合は、交換を依頼する！

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または営業マンに交換をご依頼ください。

乾電池について

●機器使用の乾電池を、お子様の手の届くところに置かない！

電池はお子様の手の届かない所に置いてください。万一、飲み込んだ場合は医師に相談してください。

使用上の注意

⚠ 注意

●本機に乗らない！

倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

●本機の上に重いものを置かない！

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。

●移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、プラグを抜き、機器間の接続ケーブルをはずす！

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●長期間使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く！

火災の原因となることがあります。

安全上のご注意（必ずお守りください。）

使用上の注意

⚠ 注意

●専用ACアダプタ以外は使用しない！

定格外のACアダプタを使用すると、火災・感電の原因になることがあります。

●レンズで太陽・照明などをのぞかない！

強い光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

設置について

●湿気やほこりの多い場所に置かない！

火災・感電の原因となることがあります。

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気が当たる場所に置かない！

火災・感電の原因となることがあります。

●本機の通風孔をふさがない！

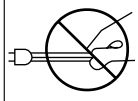
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。

本機を仰向けや横倒し、逆さまにする。風通しの悪い狭い所に押し込む。じゅうたんや布団の上に置く。テーブルやクロスなどを掛ける。

●電源コードを熱器具に近づけない！

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない！



コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししない！

感電の原因となることがあります。

乾電池について

●指定以外の乾電池は使用しない！

乾電池の破裂・液もれにより、火災・けが・周囲を汚損する原因となることがあります。

安全上のご注意（必ずお守りください。）

乾電池について

⚠ 注意

●新しい電池と古い電池を混ぜて使わない！

乾電池の破裂・液もれにより、火災・けが・周囲を汚損する原因となることがあります。

●乾電池は極性（+，-）を正しくつなぐ！

間違えると、乾電池の破裂・液もれにより、火災・けが・周囲を汚損する原因となることがあります。

●乾電池を分解・加熱しない！火中・水中に投げ入れない！

ショートや破裂・液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

お手入れについて

●お手入れの際は安全のため、スイッチを切り電源プラグを抜く！

感電の原因となることがあります。

●１年に一度くらいは、販売店または営業マンに内部の掃除の相談を！

本機の内部にほこりがたまったまま使用し続けると、火災・故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店または営業マンにご相談ください。

はじめに

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本機の機能を十分に理解して頂くため、必ずご使用の前に、この取扱説明書をお読み頂き正しくお使いくださいますようお願いいたします。

取扱い上のご注意　その1

取扱い上のご注意

本機はハードディスクを使用しております。衝撃や振動は故障の原因となりますので取扱いには十分注意してください。

1．設置場所と取扱いについて

◇設置工事の際は必ず機器の電源プラグを抜いてから行ってください。
◇機器内部には高電圧の部分があります。危険ですのでケースを開けないでください。
◇周囲温度は定格内、非結露の場所で使用してください。湿度と温度の関係は下記となります。定格内で使用してください。

温度	湿度
30℃時	約80%
35℃時	約65%
40℃時	約45%

◇本体の通風孔をふさいだり、覆ったりしないでください。
◇電源電圧は定格内で使用してください。
◇衝撃や振動は、キズやハードディスクの故障の原因になりますので、取扱いには注意してください。
◇直射日光や暖房などの強い熱のあたる場所には設置しないでください。
◇強力な磁界や強い電波のある場所には設置しないでください。
◇本機をラジオ・テレビなどの無線機に隣接して設置されますと、受信障害の原因となる場合があります。
◇アース端子は安全のため接地して使用してください。
◇電源を入れたまま本機を移動させないでください。
◇記録・再生中に電源プラグを抜かないでください。

2．ハードディスクへの記録について

◇必ず事前に記録を行い、正常に記録されていることを確認してください。
◇本機を使用中に機器の故障などにより、正常に記録されなかったり再生されなかった場合、そのデータの補償についてはご容赦ください。また万一、ハードディスクが故障した場合のデータ修復はできません。
◇大切なデータは、同梱されているSDR-300 Viewerを使いPCへバックアップしてください。

取扱い上のご注意　その2

取扱い上のご注意

3．著作権について

◇著作権を有する映像などを記録する場合、十分注意してください。

4．消耗品について

◇ハードディスク、放熱ファンは消耗品です。交換する際は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。（保証期間内でも有償となります。）

◇ハードディスクは、約20,000時間を目安として交換してください。

※この時間は、あくまで交換目安であり部品の性能を保証するものではありません。

付属品をご確認ください

	数量
◇ACコード	1
◇取扱説明書	1
◇SDR-300 Viewerインストール CD-ROM	1
◇SDR-300 Viewerインストールガイド	1

取扱説明書の読み方

本取扱説明書には、様々なマークや用語が記載してありますので簡単に説明いたします。

◇見出しの説明

本書には、数多くある本機の機能説明を右ページの見出し（下記７種類）で分けていますので、簡単に目的の操作を探すことができます。

【はじめに】	取扱いの注意事項、機能の紹介や各部の名称を説明しています。
【接続】	カメラの接続やアラーム信号の接続など、本機へ接続する方法を説明しています。
【基本操作】	記録、再生、検索などの基本的な操作方法を説明しています。
【応用操作】	本機の機能を十分に引き出すための操作方法を説明しています。
【便利機能】	知っていると便利な機能を説明しています
【設定】	設定メニュー階層構造と機能を説明しています。
【その他】	困ったときの対応方法や仕様を説明しています。

◇マークの説明

	参考にしてもらいたい項目のページ番号を記載しています。
	機能のヒントや例を吹き出しにて説明しています。
	取扱いの注意事項を説明しています。
	前面パネルのカーソル移動ボタンです。 となっているボタンを押してカーソルを上下左右に移動させます。
	設定メニューの反転表示を表します。 この表示のときには設定データを選択しています。 この状態で設定データの変更はできませんが、決定ボタンを押すと点滅表示になり設定データの変更が可能となります。
	設定メニューの点滅表示を表します。 この表示のときには設定データの変更が可能です。

◇用語の説明

ハードディスク HDD	映像や音声を記録する記憶媒体です。
チャンネル CH	リアパネルの映像入力端子番号です。全面パネルのチャンネルボタンを押すことで、入力している映像を切り替えて表示します。

目次　その1

安全上のご注意　⚠警告
安全上のご注意　⚠注意

はじめに

はじめに
取扱い上の注意
付属品をご確認ください
取扱説明書の読み方
目次
接続から操作まで
手動記録の接続から操作まで …… 1
アラーム記録の接続から操作まで …… 1
タイマー記録の接続から操作まで …… 1
概要 …… 2
特長 …… 2
各部の名称と機能
フロントパネル …… 4
リアパネル …… 5
画面表示 …… 6

接　続

基本接続方法
カメラとモニタの接続 …… 7
応用接続方法
アラームと入出力端子の接続 …… 8
無停電電源装置の接続 …… 9
RS-232Cの接続 …… 10
ネットワークへの接続 …… 11

基本操作

電源を入れる …… 12
電源を切る …… 13
カーソル（上下左右）ボタンと時刻合わせ …… 14
記録の前に
リピート記録 …… 16
ワンパス記録 …… 18
ハードディスクの初期化 …… 20
手動記録の前に …… 22
アラーム記録の前に …… 24
タイマー記録の前に …… 26
記録動作の詳細設定 …… 28
記録方法
手動操作で記録 …… 32
アラーム入力で記録 …… 34
図解：通常記録動作とプリアラームの記録動作について …… 36
図解：アラームの記録動作について …… 36
タイマーで記録 …… 37
タイマーの詳しい動作について …… 40

目次 その2

基本操作

再生方法
再生と特殊再生 …… 41
頭出し再生 …… 42
検索方法
頭出し検索 …… 43
時刻検索 …… 45
アラーム検索 …… 47
映像の表示
画面操作 …… 49
CH名称を設定 …… 50

応用操作

記録
アラームが入力される前を記録 …… 52
（プリアラーム記録）
再生
記録しながらの再生 …… 54
（同時録再）
表示
アイコンと文字の表示と非表示 …… 57
アイコンと文字の表示位置を変更 …… 59
アイコンと文字の表示位置一覧 …… 60
画面の切替時間を変更 …… 61
見せたくないチャンネルを非表示 …… 62
（マスクチャンネルの設定）
アラーム発生時の表示方法を変更 …… 64
ビデオロス発生時の表示方法を変更 …… 66
フロントパネルロック
操作スイッチのロックについて …… 68
入出力端子
外部入力端子について …… 69
外部出力端子について …… 70
アラーム入力信号のトリガー設定について …… 71
図解：アラーム入力のトリガー設定とアラーム出力について …… 72
PCからのリモート操作
シリアル通信制御について …… 73
シリアル通信仕様について …… 74
ネットワーク機能
IPアドレスの設定 …… 76
クライアントの切断時間の設定 …… 78
DNSサーバーの設定 …… 79
メール送信に関する設定（SMTPアカウント） …… 81
アラームメールを送信するメールアドレスの登録 …… 83
ネットワーク遠隔監視ユーザーの登録 …… 85
ネットワーク遠隔監視の管理者権限ユーザーの設定 …… 88

目次　その3

便利機能

その他の動作

時刻を同期させる …… 90
ログで詳細な動作確認 …… 91
各種動作ログの内容 …… 92
システム情報 …… 94
電源ON時の初期表示画面を設定する …… 95
リアパネルのスポット出力を設定する …… 96
電源ON時の記録動作を設定する …… 97
設定メニューの全データを工場出荷状態にする …… 98

シフト機能

シフトによる便利機能 …… 100

アラーム動作

アラーム動作の便利機能 …… 101

設　定

設定メニュー

設定メニュー …… 102
画面一覧 …… 103
情報について …… 108
記録について …… 109
表示について …… 111
制御について …… 112
ネットワークについて …… 113
時刻について …… 114
初期化について …… 115

その他

困ったときには

おかしいときはログを確認 …… 116
タイマーの予約設定をしても記録されない …… 116
全ての文字やアイコンが表示されなくなった …… 116
タイマーを解除できない …… 116
プリアラームを解除できない …… 116
フロントパネルの操作ができなくなった …… 116
システム異常で動作が停止した …… 116

故障かな？と思ったら …… 117
仕様 …… 118
外観図 …… 119
記録時間表 …… 120
保証とアフターサービス …… 123

接続から操作まで

接続から再生までの基本的な操作の流れを項目別に説明します。

手動記録の接続から操作まで

見出し	大項目	Step	小項目	ページ
接続	基本接続方法	1	カメラとモニタの接続	7
基本操作	電源を入れる	2	電源を入れる	12
	カーソル(上下左右)ボタンと時刻合わせ	3	カーソル（上下左右）ボタンと時刻合わせ	14
	記録の前に	4	リピート記録	16
			ワンパス記録	18
		5	手動記録の前に	22
		6	記録動作の詳細設定	28
	記録方法	7	手動操作で記録	32
	再生方法	8	再生と特殊再生	41
		9	頭出し再生	42

アラーム記録の接続から操作まで

見出し	大項目	Step	小項目	ページ
接続	基本接続方法	1	カメラとモニタの接続	7
		2	アラームと入出力端子の接続	8
基本操作	電源を入れる	3	電源を入れる	12
	カーソル(上下左右)ボタンと時刻合わせ	4	カーソル（上下左右）ボタンと時刻合わせ	14
	記録の前に	5	リピート記録	16
			ワンパス記録	18
		6	アラーム記録の前に	24
		7	記録動作の詳細設定	28
	記録方法	8	アラーム入力で記録	34
	再生方法	9	再生と特殊再生	41
		10	頭出し再生	42

タイマー記録の接続から操作まで

見出し	大項目	Step	小項目	ページ
接続	基本接続方法	1	カメラとモニタの接続	7
	電源を入れる	2	電源を入れる	12
基本操作	カーソル(上下左右)ボタンと時刻合わせ	3	カーソル（上下左右）ボタンと時刻合わせ	14
	記録の前に	4	リピート記録	16
			ワンパス記録	18
		5	タイマー記録の前に	26
		6	記録動作の詳細設定	28
	記録方法	7	タイマーで記録	37
	再生方法	8	再生と特殊再生	41
		9	頭出し再生	42

概要

本機は映像と音声をハードディスク（HDD）へ記録するデジタルレコーダです。フレームスイッチャ機能内蔵で非同期のカメラ４台が接続可能です。画面表示は、４画面表示により４台のカメラを一括表示可能です。

また、同時記録再生機能により、記録中に任意のカメラ映像が再生表示可能です。デジタルデータとして記録するため、画質劣化の少ない高画質な記録再生ができ、記録映像を瞬時に検索することもできます。さらにネットワーク機能が標準搭載なため、ネットワーク経由で遠隔監視が可能です。

特長　その１

（1）高画質長時間映像音声記録

ハードディスク記録のためVTRテープと比べて高画質，長時間の記録が可能です。またVTRのようにテープの巻き戻しの手間がかかりません。

映像圧縮方式はMotion-JPEGを採用。720 × 240画素（有効画素数704 × 240）の高解像度の映像で記録・再生することができます。画面静止時にVTRのような映像のブレもありません。また、映像と音声をすべての記録間隔モードで記録することができます。

（2）瞬時検索

３種類（頭出し検索、時刻検索、アラーム検索）の検索機能により、目的の映像を瞬時に再生することができます。

（3）独自ファイルシステム採用

デジタルデータをハードディスクに記録する際に、独自のファイルシステムを採用することでハードディスクへのランダムアクセスを最小限に抑えます。これにより、ハードディスクへの負荷を軽減し信頼性と静粛性を向上しています。

（4）プリアラーム記録

プリアラーム記録ではアラーム発生時の最長５秒前からの映像･音声を記録することができますので、異常が発生する前からの状況をもれなく記録し確認することができます。また、異常発生前のアラームデータはメモリにバッファリングされているため、ハードディスクへの負荷を軽減します。

（5）同時記録・再生機能機能

記録を止めることなく任意のカメラ映像を再生できます。（同時記録・再生時は記録間隔が1/5秒～10秒のとき可能です。またそのとき音声は再生されません。）

（6）停電復帰後も自動記録

記録中に停電などで一旦記録が停止した場合でも、停電復帰後に自動的に記録を再開することができますので、記録漏れを防ぎます。

（7）特殊再生

記録した映像を様々なモード（順／逆再生・順／逆コマ送り再生・早送り／早戻し再生・静止画）で再生可能です。

特長　その2

（8）ネットワーク機能による遠隔監視

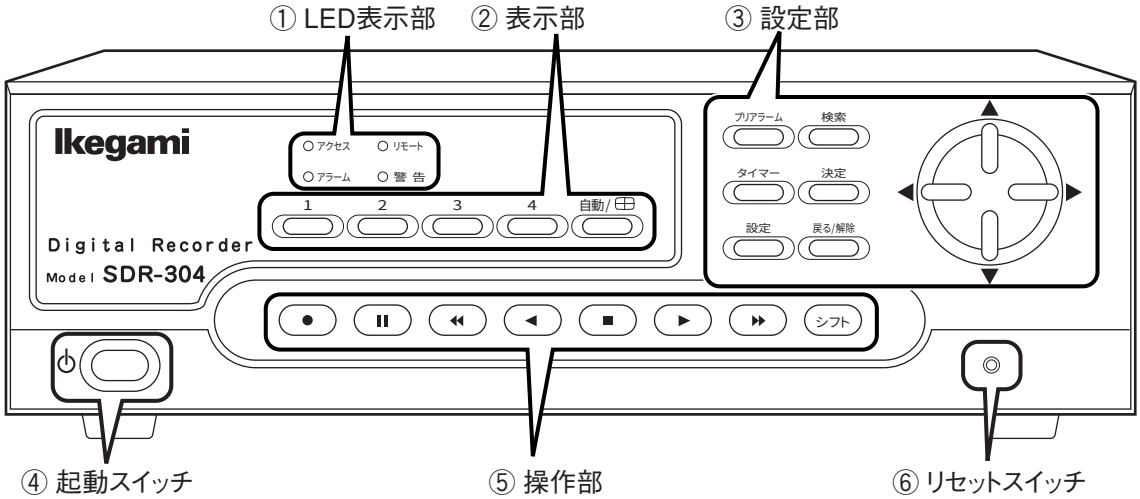
標準でネットワーク機能が内蔵されていますので、ブロードバンド環境を利用して手軽に遠隔監視ができます。IPネットワークに対応していますので、アラームが入力されたときに画像付きのメールを送信したり、専用のビューワを利用してライブ画像の確認や記録されている画像の検索を行うことができます。専用ビューワを使用し、本体に登録されているユーザーしか利用できないのでセキュアなネットワーク遠隔監視が可能です。

（9）充実の機能

各種監視用途には欠かせないタイマー予約機能（10プログラム）・タイムデートジェネレート機能・文字表示機能・外部時刻合わせ機能・RS-232Cによるリモートコントロール機能などを装備しています。

各部の名称と機能　フロントパネル

フロントパネル



①LED表示部

アクセス ……ハードディスクにアクセスしているときに点灯（緑）します。
リモート ……RS-232C のシリアル制御時と LAN による遠隔リモート動作のときに点灯（緑）します。
アラーム ……各種アラーム（外部入力・プリアラーム）発生のときに点灯（赤）します。
警告 ……ワンパス記録で HDD が一杯になったときなど各種警告のときに点灯（赤）します。

②表示部

チャンネル ……監視映像（ライブ映像）や再生映像のチャンネル（CH）を切り替え、表示されている CH が点灯（緑）します。アラーム発生 CH は、アラーム記録している間 LED が点滅します。
自動／田 ……自動切替または４画面表示のとき点灯（緑）します。
１画面表示の自動切替と４画面表示の切り替えを行います。

③設定部

プリアラーム …LED が点灯（緑）してプリアラーム待機状態になります。
タイマー ……LED が点灯（緑）してタイマー動作状態になります。
（設定メニューでタイマー予約が設定してあるときのみ有効になります）
設定 ……設定メニューを表示し本機の各種設定を行います。
検索 ……検索モードになり、記録映像の検索が可能になります。
決定 ……設定モード・検索モードの各モードでパラメータを確定します。
戻る／解除 ……設定モード・検索モードで状態を戻したいときやブザーの停止をします。
カーソル ……設定モード・検索モードで上下左右にカーソルを移動するときや、設定を変更するときに使用します。
④**起動スイッチ** ……リアパネルの主電源スイッチが“ I ”のときに押すと、ハードディスクの電源が入り電源スイッチが点灯（緑）します。
電源が入った状態で長押し（２秒以上）するとハードディスクの電源が切れ待機状態になり LED が点滅します。

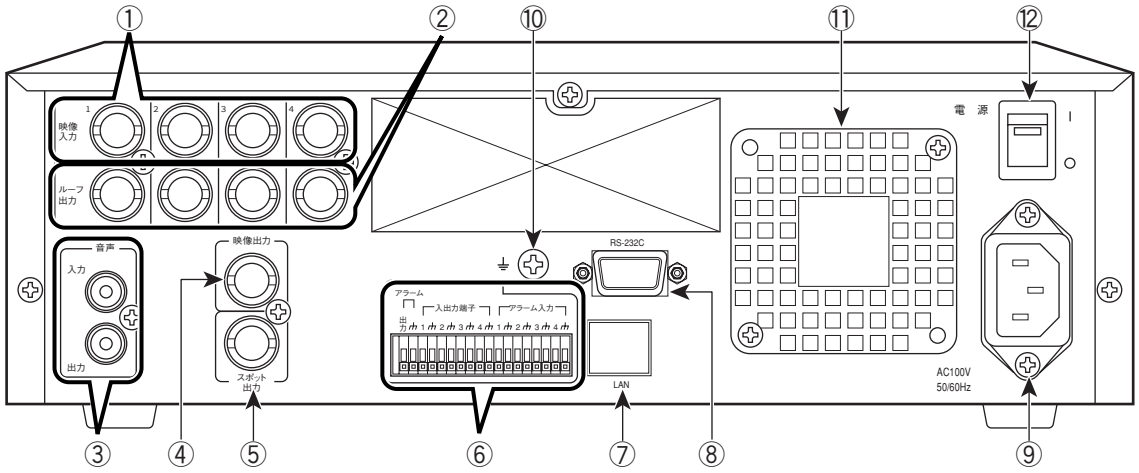
⑤操作部

● ……記録ボタンが点灯（赤）してハードディスクへの記録を開始します。
❚❚ ……再生中に押すと LED が点灯（緑）し再生の一時停止をし、一時停止中に押すと LED が消灯し再生します。
◀◀ ……再生時に高速逆再生をします。続けて押すと２倍・５倍・10 倍・MAX・２倍・と逆再生の速度が変わります。一時停止中では、逆方向の頭出しをします。
◀ ……LED が点灯（緑）し逆再生をします。一時停止中では、逆コマ送りをします。
■ ……再生中は再生を停止し、記録中では２秒以上の長押しにて記録を停止します。
▶ ……LED が点灯（緑）し順方向に再生をします。一時停止中では、順方向のコマ送りをします。
▶▶ ……再生時に高速再生をします。続けて押すと２倍・５倍・10 倍・MAX・２倍・と再生の速度が変わります。一時停止中では、順方向の頭出しをします。
シフト ……他のボタンと一緒に押すことにより特別な動作をします。
（“ 便利機能：シフトによる便利機能 ”☞ 100 ページ）

⑥リセットスイッチ …先の尖った細長い物で押すとシステムが再起動します。

各部の名称と機能　リアパネル

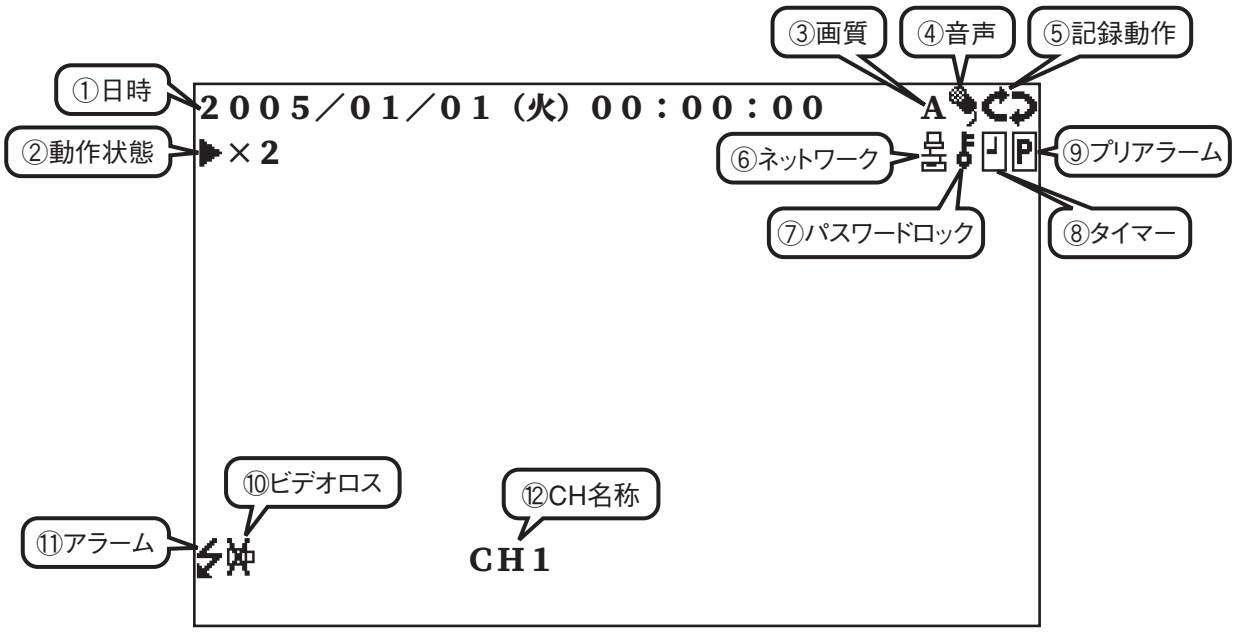
リアパネル



①映像入力 …… カメラなどの映像信号を入力します。
②ループ出力 …… 映像入力のスルーアウトです。
BNC 同軸ケーブルが接続されると自動的に終端が解除されます。
③音声
入力 …… 記録したい音声を入力します。
出力 …… 記録中は入力音声を出力し、再生中は記録した音声を出力します。
④映像出力 …… フロントパネルで操作した映像を出力します。
⑤スポット出力 …… 設定された特定チャンネルの 1 画面映像・自動切替映像を出力します。
⑥端子台
アラーム出力 … アラーム入力端子からアラーム信号が入力されたら出力します。
入出力端子 …… 設定メニューで設定可能な外部入出力端子です。
エラーや記録中の出力と、時刻合わせや無停電電源の入力として利用できます。
アラーム入力 … 各チャンネルのアラーム信号入力です。
⑦ LAN …… LAN ケーブルを接続します。
橙 LED …… 点灯：100BASE-TX ネットワークに接続されています。
消灯：100BASE-TX ネットワークに接続されていません。
緑 LED …… 点灯：ネットワークに接続されています。
消灯：ネットワークに接続されていません。
⑧ RS-232C …… パソコン等の外部制御機器でリモート制御を行うときに接続します。
パソコンと接続する場合は、クロスケーブルを使用します。
⑨ AC インレット …… 付属の AC コードを接続します。
⑩アース端子 …… 安全のため接地してください。
⑪放熱ファン …… 機器内部の熱を外部へ排出していますのでふさがないでください。
⑫主電源スイッチ …… 全ての電源のメインスイッチです。“ I ”側が電源 ON、“ ○ ”側が電源 OFF です。

画面表示

画面は、工場出荷設定（表示位置設定画面の設定番号：１）の画面にて説明します。
詳しくは、“ 応用操作：アイコンと文字の表示位置を変更 ”（☞ 59 ページ）を参照してください。



①日時　：西暦／月／日（曜日）　時：分：秒　を表示します。

②動作状態
- ▶：順再生
- ◀：逆再生
- ⏸：再生一時停止
- ▶×速度：早送り　×２・×５・×10・×MAX（早送りの速度を“ ×速度 ”で表示します）
- ◀×速度：巻き戻し　×２・×５・×10・×MAX（巻き戻しの速度を“ ×速度 ”で表示します）
- ●：記録

③画質　A～C：画質を表示します。A（高画質）・B（標準画質）・C（長時間）の３段階表示です。
（“ 基本操作：記録動作の詳細設定 5 ”☞ 29 ページ）

④音声　：音声を記録や再生しているときに表示します。（“ 基本操作：記録動作の詳細設定 6 ”☞ 29ページ）

⑤記録動作
- 🔁：リピート記録で記録動作を行っているときに表示します。
（“ 基本操作：リピート記録 ”☞ 16 ページ）
- ➡➡：ワンパス記録で記録動作を行っているときに表示します。
ワンパス記録のときは、残時間が②動作状態に表示されます。記録する映像によって実際に記録できる残時間と多少異なりますので、目安としてお使いください。
（“ 基本操作：ワンパス記録 ”☞ 18 ページ）

⑥ネットワーク　：ネットワークから本機に接続されているときに表示されます。
（“ 応用操作：ネットワーク機能 ”☞ 76 ページ）

⑦ロック　：フロントスイッチの（シフト）＋（検索）を押したときに表示され（戻る/解除）以外のフロントスイッチの操作が無効になります。（シフト）＋（戻る/解除）で解除され非表示になります。
（“ 応用操作：操作スイッチのロックについて ”☞ 68 ページ）

⑧タイマー　：タイマーモードのときに表示されます。（“ 基本操作：タイマーで記録 ”☞ 37 ページ）

⑨プリアラーム　：プリアラームモードのときに表示されます。
（“ 応用操作：アラームが入力される前を記録 ”☞ 52 ページ）

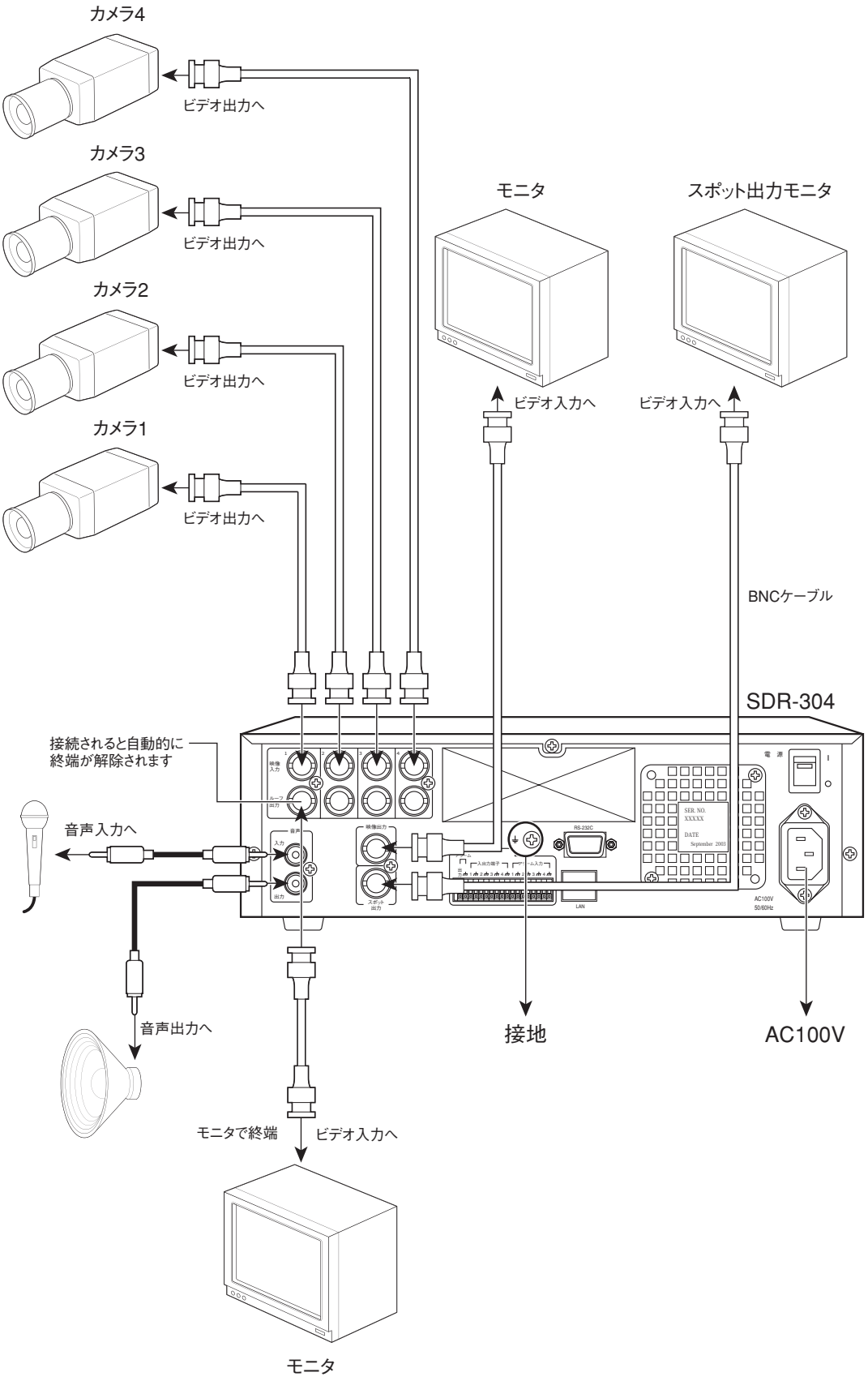
⑩ビデオロス　：映像入力コネクタに接続されているカメラからの映像が遮断されたときに表示されます。
（“ 応用操作：ビデオロス発生時の表示方法を変更 ”☞ 66 ページ）

⑪アラーム　：アラーム入力端子が接地すると表示されます。（“ 基本操作：アラーム入力で記録 ”☞ 34ページ）

⑫ CH 名称　：各チャンネルの名称です。チャンネル名称は、最大 16 文字まで設定できます。
（“ 基本操作：CH 名称を設定 ”☞ 50 ページ）

カメラとモニタの接続

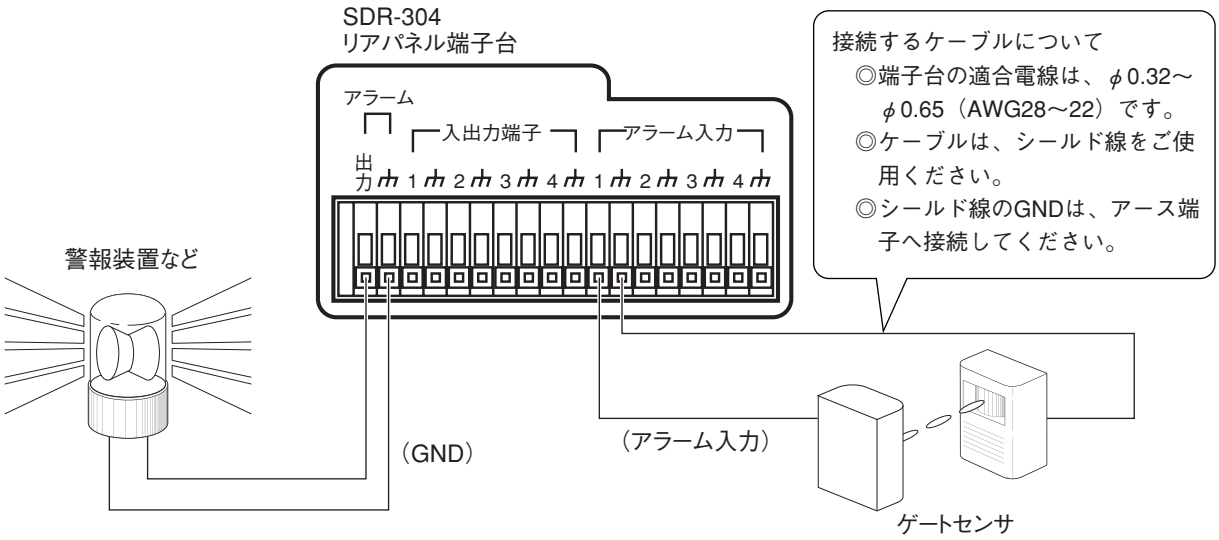
本体の電源が切れていることを確認してから接続してください。



応用接続方法　アラームと入出力端子の接続

アラームと入出力端子の接続

■接続例



■ピン配列表

端子名称	端子番号	I/O	端子名称	工場出荷設定	設定
アラーム出力	1	出力	アラーム出力	—	—
	2	GND	接地	—	—
入出力端子	3	出力	入出力端子1	エラー1	エラー1↔エラー2↔記録中
	4	GND	接地	—	—
	5	出力	入出力端子2	記録中	エラー1↔エラー2↔記録中
	6	GND	接地	—	—
	7	入力	入出力端子3	時計合わせ	時計合わせ↔無停電電源装置
	8	GND	接地	—	—
	9	入力	入出力端子4	無停電電源装置	時計合わせ↔無停電電源装置
	10	GND	接地	—	—
アラーム入力	11	入力	アラーム入力1	—	—
	12	GND	接地	—	—
	13	入力	アラーム入力2	—	—
	14	GND	接地	—	—
	15	入力	アラーム入力3	—	—
	16	GND	接地	—	—
	17	入力	アラーム入力4	—	—

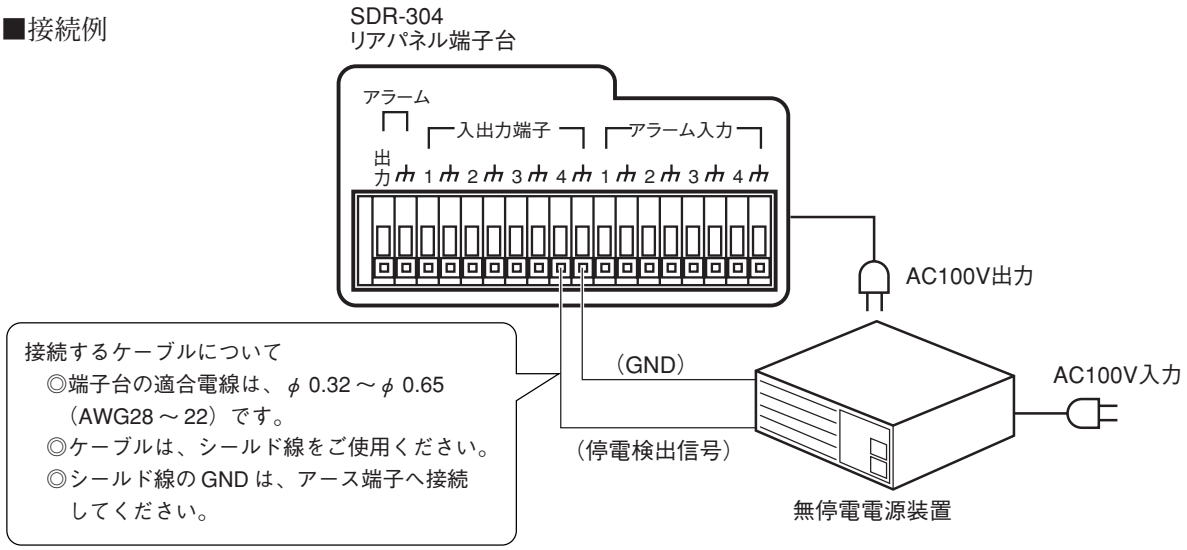
◎端子番号 3 ～ 10 の入出力端子 1 ～ 4 は、外部入力設定メニューで制御の割り当てが変更可能です。
◎入出力端子の詳しい説明は、“応用操作：外部入力端子について”（☞ 69ページ）と外部出力端子について”（☞ 70 ページ）を参照してください。
◎各入力端子は、無電圧接点入力です。
◎各出力端子の出力形式はオープンコレクタ出力です。

無停電電源装置の接続

ハードディスクへ記録中、電源供給が停止（停電）するとハードディスク内のファイルが壊れる恐れがあります。これを回避するために、無停電電源装置（UPS）の使用をおすすめします。20秒以上の停電検出信号の入力により、ハードディスクへの記録を停止し電源切断可能な状態にします。

停電復帰後に記録動作を再開させたい場合やタイマーやプリアラームを継続させたい場合は、”便利機能：電源ON時の記録動作を設定する”（☞ 97ページ）を参照してください。

■接続例



■ピン配列表

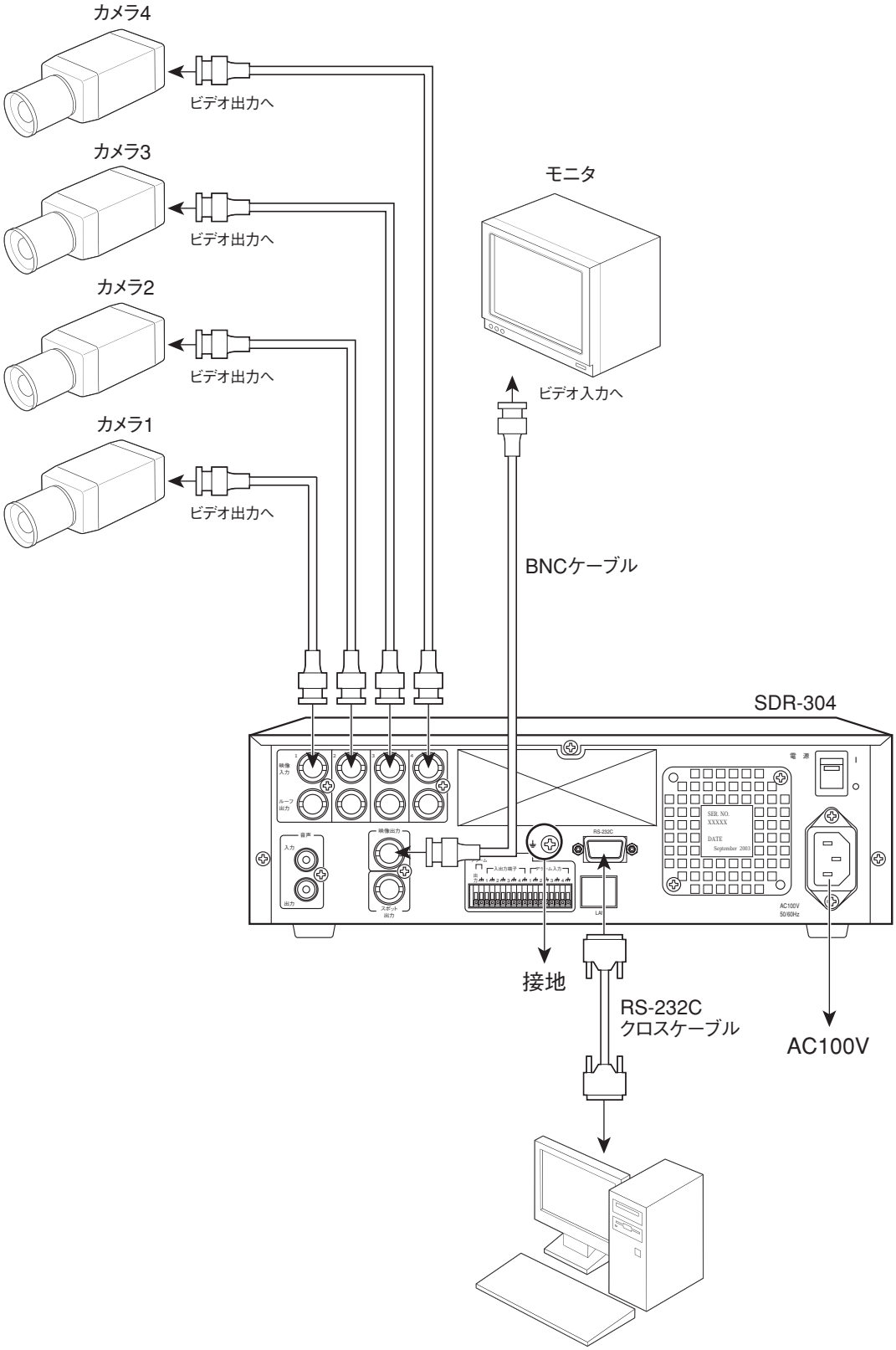
端子名称	端子番号	I/O	端子名称	工場出荷設定	設定
アラーム出力	1	出力	アラーム出力	―	―
	2	GND	接地	―	―
入出力端子	3	出力	入出力端子1	エラー1	エラー1↔エラー2↔記録中
	4	GND	接地	―	―
	5	出力	入出力端子2	記録中	エラー1↔エラー2↔記録中
	6	GND	接地	―	―
	7	入力	入出力端子3	時計合わせ	時計合わせ↔無停電電源装置
	8	GND	接地	―	―
	9	入力	入出力端子4	無停電電源装置	時計合わせ↔無停電電源装置
	10	GND	接地	―	―
アラーム入力	11	入力	アラーム入力1	―	―
	12	GND	接地	―	―
	13	入力	アラーム入力2	―	―
	14	GND	接地	―	―
	15	入力	アラーム入力3	―	―
	16	GND	接地	―	―
	17	入力	アラーム入力4	―	―

＜外部入力端子を無停電電源装置への入力に割り当てる＞
◎端子番号7と9のどちらかを設定メニューの外部入力で「無停電電源装置」へ割り当てます。
◎上の例では、工場出荷状態で「無停電電源装置」へ割り当てられている端子番号9を使用しています。
◎外部入力端子は、無電圧接点入力です。
◎外部入力端子の詳しい説明は、“応用操作：外部入力端子について”（☞ 69ページ）を参照してください。

RS-232Cの接続

パソコン等の制御機器からシリアル（RS-232C）制御をするときに下図のように接続してください。（本体の電源が切れていることを確認してから接続してください）

シリアル制御の設定及びコマンドは“応用操作：シリアル通信制御について”（☞ 73ページ）と“シリアル通信仕様について”（☞ 74ページ）を参照してください。

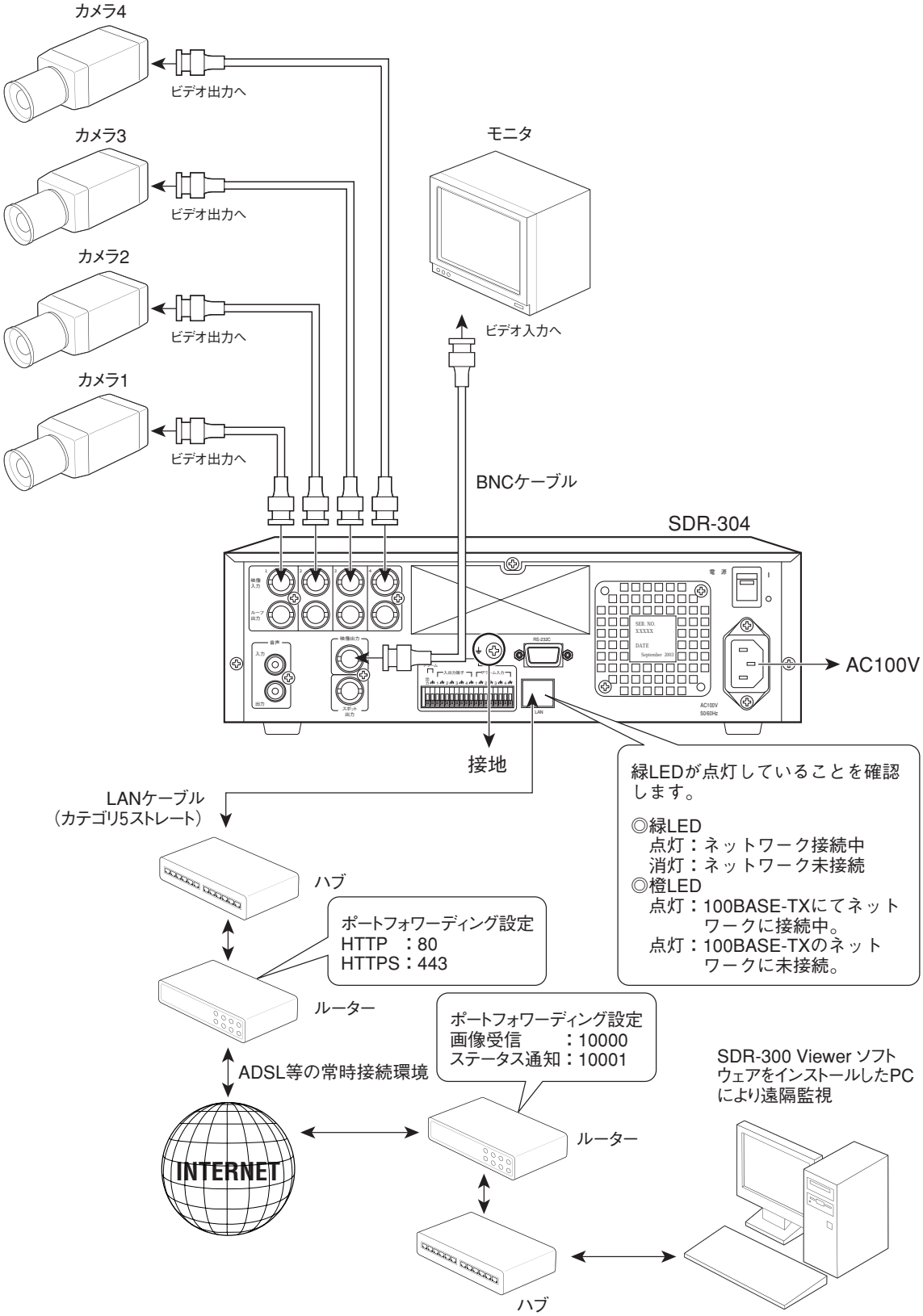


ネットワークへの接続

インターネットを利用して遠隔監視をするときにルーターを使用する場合は、下図のように接続してください。（本体の電源が切れていることを確認してから接続してください）

ネットワーク機能を利用するには、“ 応用操作：ネットワーク機能 ”（☞ 76 ページ～☞ 89 ページ）を参照して各種設定をしてから、同梱されているSDR-300 Viewer インストールガイドに従ってソフトウェアを PC にインストールしてください。

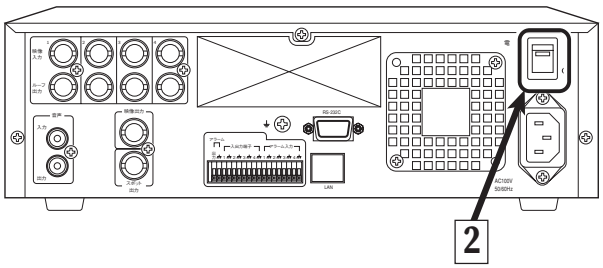
固定のグローバルIPアドレスの設定とポートフォワーディング機能の設定をルーターにする必要があります。詳しい接続方法や設定方法などは、ネットワーク管理者に問い合わせてください。



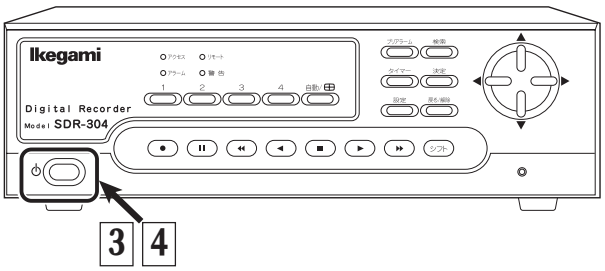
電源を入れる

本機の電源を投入しデジタルレコーダを起動させます。
電源スイッチは、背面の主電源スイッチと前面の起動スイッチの２種類あります。

〈背面〉

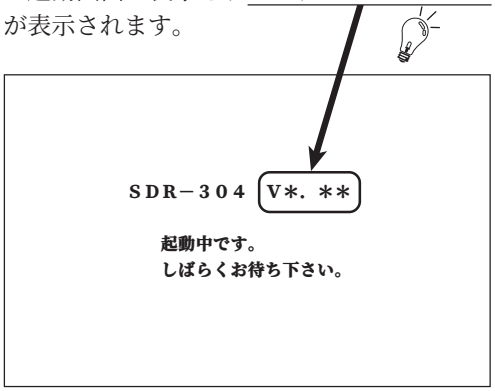


〈前面〉



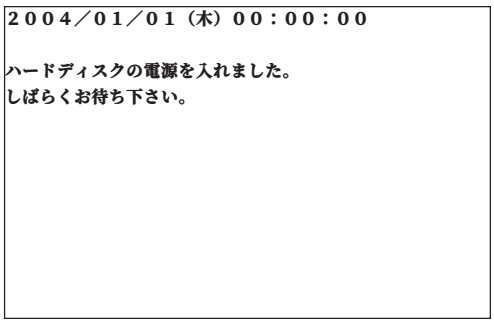
1 背面の主電源スイッチが“ ○ ”側にあることを確認して、本機に接続されている周辺機器の電源を入れます。

2 背面の主電源スイッチを“ I ”側に入れます。
起動画面が表示されシステムのバージョンが表示されます。

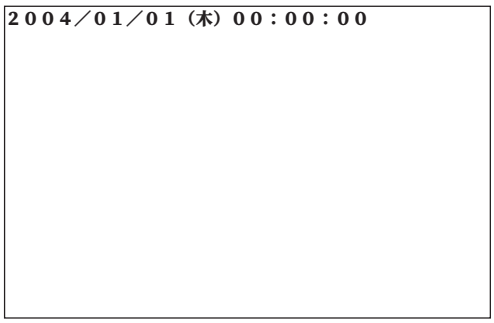


3 監視画面が表示され、前面の起動スイッチの LED が点滅しスタンバイ状態になります。

4 前面の起動スイッチを押して電源を入れます。LED が点滅から点灯へ変わりハードディスクの電源が入ります。



5 通常監視画面になり、記録、再生等が可能になります。

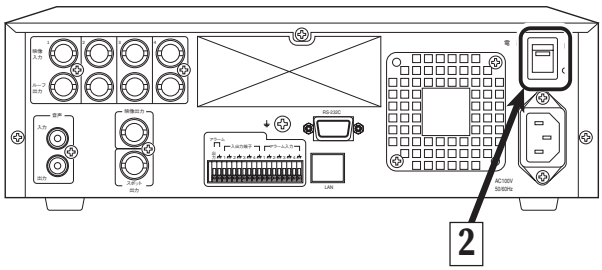


＜システムバージョンの確認＞
◎起動画面だけではなく、設定メニューでもシステムバージョンを確認できます。
詳しい説明は、“便利機能：システム情報 4”（☞ 94 ページ）を参照してください。
＜電源 ON 時の表示画面＞
◎電源 ON 時、最初にモニタに表示される監視画面を自由に設定できます。
詳しい説明は“便利機能：電源 ON 時の初期表示画面を設定する”（☞ 95 ページ）を参照してください。

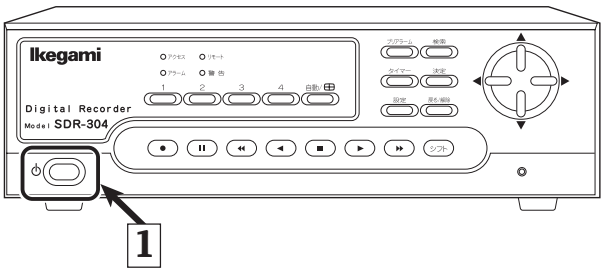
電源を切る

本機の電源を切りデジタルレコーダを終了させます。
電源スイッチは、背面の主電源スイッチと前面の起動スイッチの２種類あります。

〈背面〉



〈前面〉



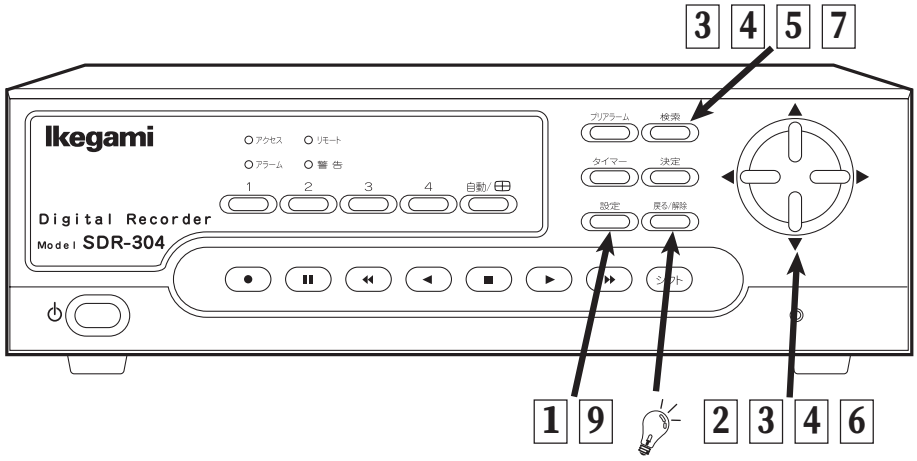
1 前面の起動スイッチを長押し（２秒以上）してハードディスクの電源を切ります。

```
2004／01／01（木）00：00：00

ハードディスクの電源を切りました。
```

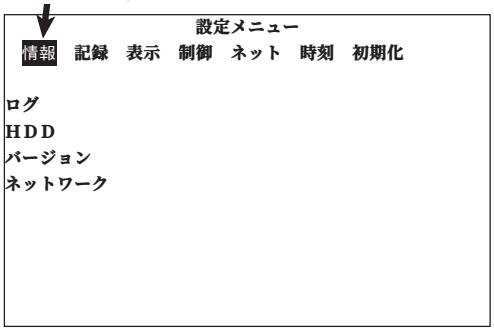
2 背面の主電源スイッチを“ ○ ”側にします。
監視画面が消え、全ての電源が切れます。

カーソル（上下左右）ボタンと時刻合わせ　その1

本機には様々な設定項目があります。ここでは設定メニューの基本的な使い方として時刻合わせを例に説明します。“ 進む ”が右キーと下キーになり、“ 戻る ”が左キーと上キーとなります。また、項目が点滅表示のときに上下キーで設定値を変更できます。

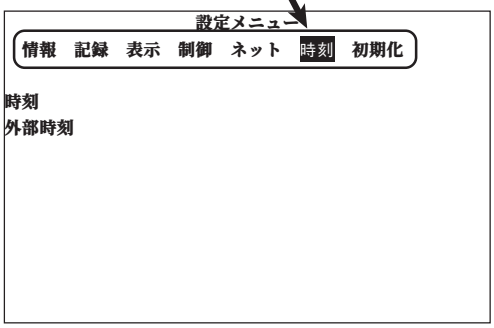


1　設定 を押して設定メニューを表示します。反転表示されている文字が現在選択されている項目です。

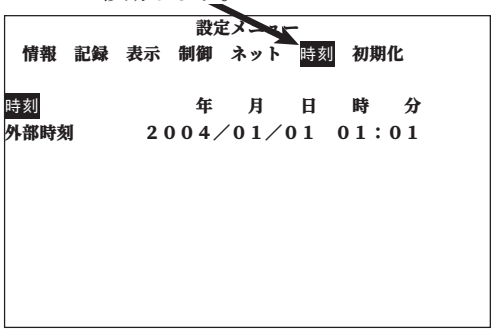


2　の左右キーを押すと反転表示が移動します。

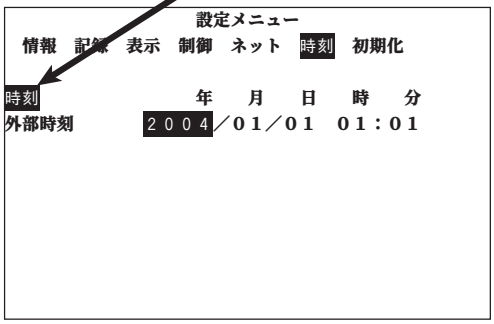
情報→記録→表示→制御→ネット→時刻→初期化



3　時刻まで反転表示を の左右キーで移動させ 決定 を押します。カーソルがサブメニューへ移動します。



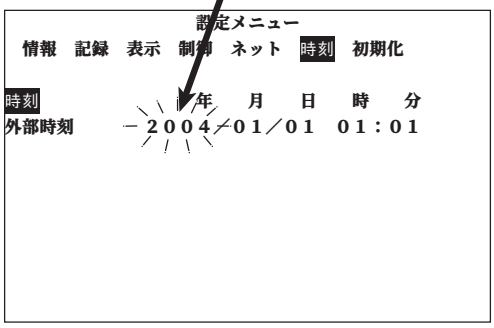
4　の上下キーで時刻まで移動し 決定 を押します。



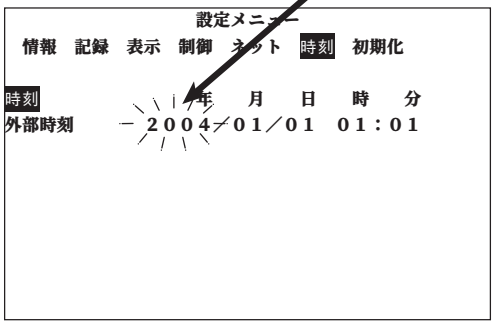
＜機能＞
◎設定メニューの項目を一つ前の項目に戻りたい場合は 戻る/解除 で戻れます。

カーソル（上下左右）ボタンと時刻合わせ　その2

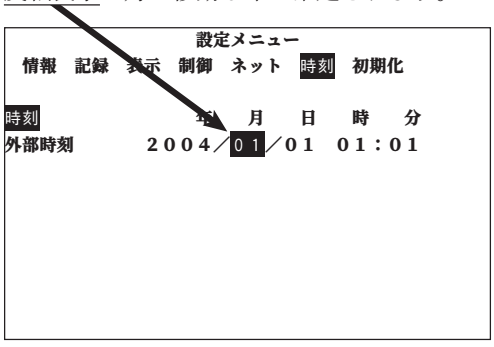
5　決定 を押して点滅表示させます。



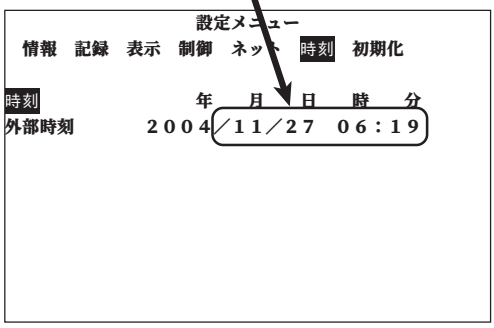
6　の上下キーを押して現在の西暦に合わせます。



7　西暦の変更が完了したら 決定 を押します。
反転表示が月に移動し年が確定されます。



8　5〜7の方法で月日時刻を合わせます。



9　設定 を押します。
設定メニューが消え、設定した時刻が画面に表示します。
内部時計は、設定 または 戻る/解除 を押した直後からスタート（00秒）します。

ご注意

点滅表示と反転表示は下記のように表現しています。

：点滅表示
設定データの変更が可能です。

：反転表示
設定項目、設定データを選択しています。
この状態で設定データの変更はできません。

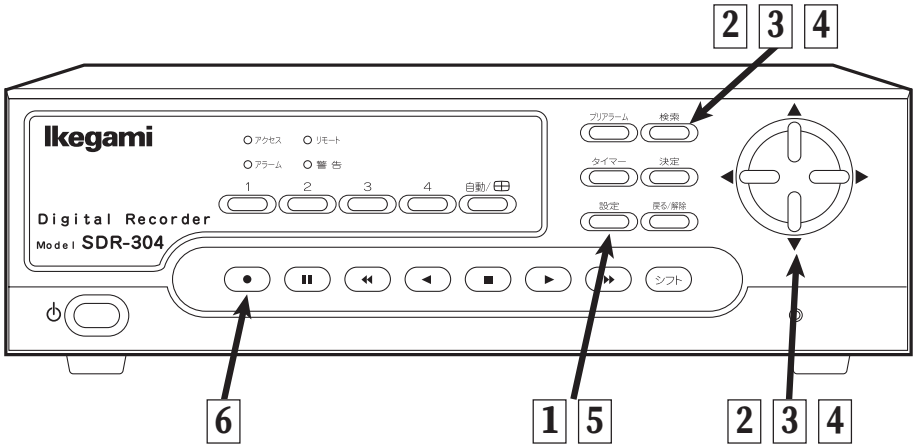
ご注意

内部時計は、満充電（2時間以上の連続充電）で日付・時刻を約5日間保持します。

記録の前に　リピート記録　その1

リピート記録

ハードディスクが一杯になると記録日時の古いものを自動的に削除して上書きをします。



1　設定 を押して設定メニューを表示します。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク

2　の左右キーで記録へ移動し 決定 を押します。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

	設定番号	：1	
通常記録	記録モード	：通常	アラーム
記録動作	→画質	B	A
タイマー予約	→音声	OFF	ON
基本動作	→記録間隔	1／5秒	1／30秒
	→動作		インターリーブ
	→ホールド時間		00分10秒
	→アラーム出力		ON
	→ブザー音		ON
	→設定CH	1 2 3 4	

3　の上下キーと 決定 で基本動作→リピート記録と進みます。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

通常記録　　リピート記録：ON
記録動作　　停電復帰　　：OFF
タイマー予約
基本動作

4　決定 で点滅表示させてから の上下キーでリピート記録の設定をします。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　拡張　初期化

通常記録　　リピート記録：ON
記録動作　　停電復帰　　：OFF
タイマー予約
基本動作

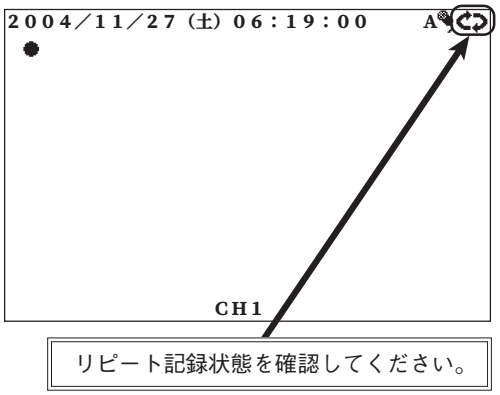
リピート記録：ONで「リピート記録」になります。

5　設定 を押します。設定メニュー画面が消え設定内容が保存されます。

記録の前に　リピート記録　その2

記録の開始

6　(●) を押します。画面上に ●が表示されリピート記録が開始します。



リピート記録状態を確認してください。

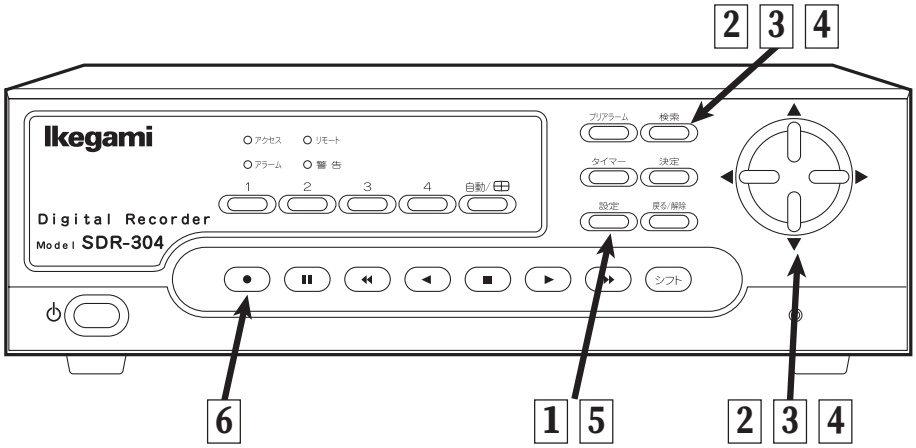
記録の前に　ワンパス記録　その１

ワンパス記録

ハードディスクが一杯になると警告LEDが点灯し記録を停止します。過去の記録データ保存のため、以降の記録は行いません。

一杯になったハードディスクを再度記録して使用する場合、初期化が必要になります。この場合記録していたデータは全て消去されます。またリピート記録を行った後にワンパス記録をする場合にも、必ず記録の前に初期化を行ってください。

初期化は“基本操作：ハードディスクの初期化”（☞ 20ページ）を参照してください。



1　設定 を押して設定メニューを表示します。

```
設定メニュー
情報  記録  表示  制御  ネット  時刻  初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク
```

2　の左右キーで記録へ移動し 決定 を押してください。

```
設定メニュー
情報  記録  表示  制御  ネット  時刻  初期化
              設定番号    ：1
通常記録      記録モード  ：通常        アラーム
記録動作      →画質         B           A
タイマー予約  →音声         OFF         ON
基本動作      →記録間隔     1／5秒      1／30秒
              →動作                     インターリーブ
              →ホールド時間              00分10秒
              →アラーム出力              ON
              →ブザー音                  ON
              →設定CH     1  2  3  4
```

3　の上下キーと 決定 で基本動作→リピート記録と進んでください。

```
設定メニュー
情報  記録  表示  制御  ネット  時刻  初期化

通常記録      リピート記録：ON
記録動作      停電復帰    ：OFF
タイマー予約
基本動作
```

4　決定 で点滅表示させてから の上下キーでワンパス記録の設定をします。

```
設定メニュー
情報  記録  表示  制御  ネット  時刻  初期化

通常記録      リピート記録：OFF
記録動作      停電復帰    ：OFF
タイマー予約
エマージェンシ
基本動作
```

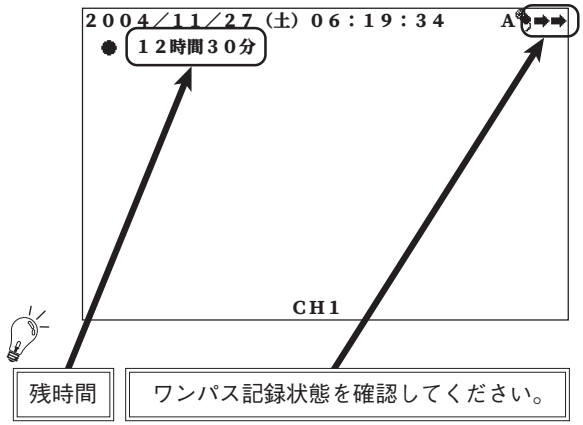
リピート記録：OFFで「ワンパス記録」になります。

記録の前に　ワンパス記録　その2

5　設定 を押します。設定メニュー画面が消え設定内容が保存されます。

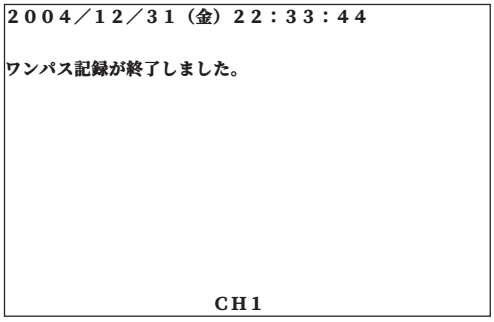
記録の開始

6　(●) を押します。画面上に ●が表示されワンパス記録が開始します。



一杯になると記録停止

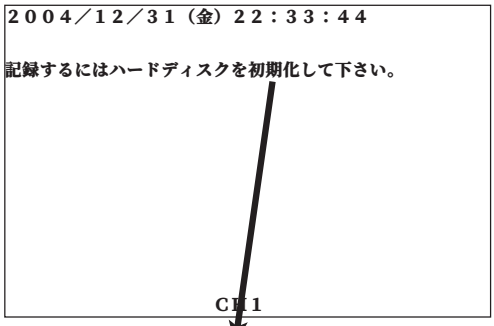
7　ハードディスクが一杯になると、記録が停止します。



一杯なのに記録開始すると

8　ハードディスクが一杯になりワンパス記録が停止した後に (●) を押すと、下記メッセージが表示され、警告 LED が点灯し記録できません。（タイマー記録、アラーム記録もできません）

　またリピートで記録し上書きされたハードディスクを、ワンパスで記録しようとしても表示されます。リピートでもまだ上書きしていない場合は表示されませんので記録可能です。



初期化の方法は“基本操作：ハードディスクの初期化”（☞ 20 ページ）を参照してください。

＜残時間の説明＞

ワンパス記録中に表示される残時間は、ハードディスクの残容量によって下記のように残時間の表示が変わります。

- ◎ 1 週間以上　：＊＊＊＊日
- ◎ 1日以上1週間以内：＊＊日＊＊時間
- ◎ 1 日以内　：＊＊時間＊＊分

残時間表示は、記録する映像によって実際に記録できる残時間と多少異なります。目安としてお使いください。

ご注意

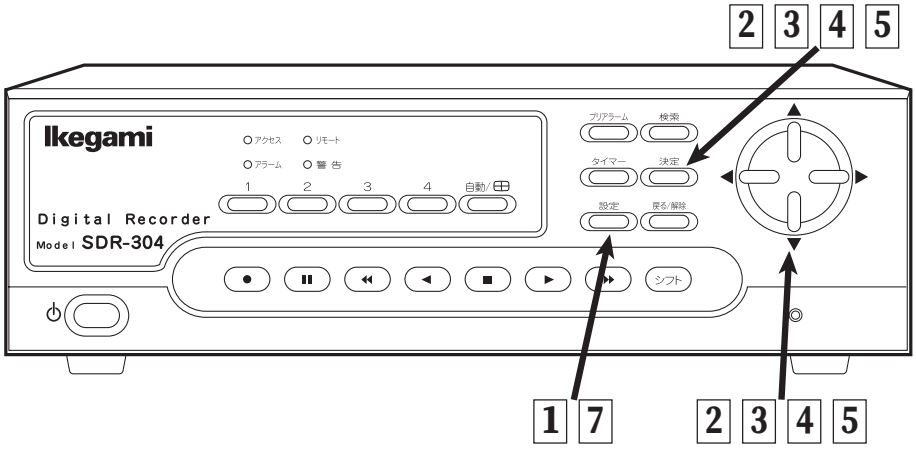
〈警告 LED の消灯の解除の方法〉
- ◎ 戻る/解除 を押すと警告 LED が消えます。

〈初期化をしないで再び記録をすると〉
- ◎ハードディスクが一杯になって記録が停止した後で初期化をしないで再び記録（アラーム記録、プリアラーム記録、タイマー記録も含む）を開始すると、警告 LED が点灯します。

記録の前に　ハードディスクの初期化　その１

ハードディスクの初期化

ハードディスクの初期化を行います。



初期化の実行

1 設定 を押して設定メニューを表示します。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク

2 の左右キーで初期化へ移動し 決定 を押してください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

設定データ
HDDデータ

3 の上下キーでＨＤＤデータへ移動し 決定 を押してください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

設定データ　　HDDデータを初期化しますか？
ＨＤＤデータ

はい　いいえ

4 の左右キーではいを選択し 決定 を押してください。

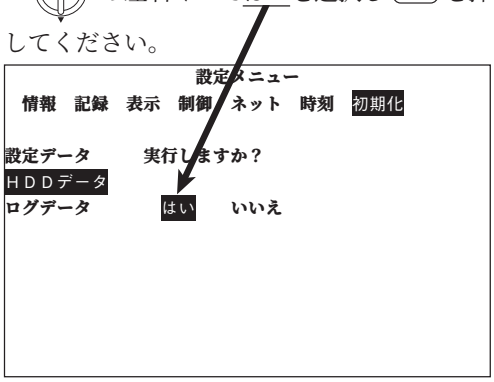
設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

設定データ　　HDDデータを初期化しますか？
ＨＤＤデータ

はい　いいえ

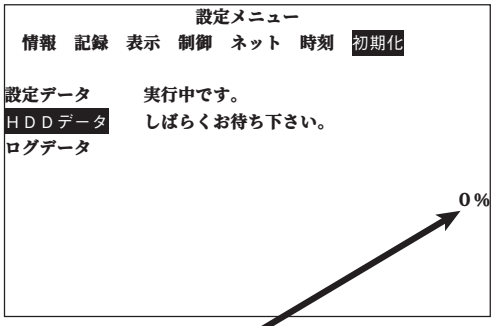
5

の左右キーではいを選択し 決定 を押してください。



6

ハードディスクの初期化中は下記メッセージが表示されます。



初期化の進捗状況がパーセントで表示されます。
100％になりハードディスクの初期化が終了すると、ブザーが鳴り 2 の画面に戻ります。

7

設定 を押します。設定メニュー画面が消え設定内容が保存されます。

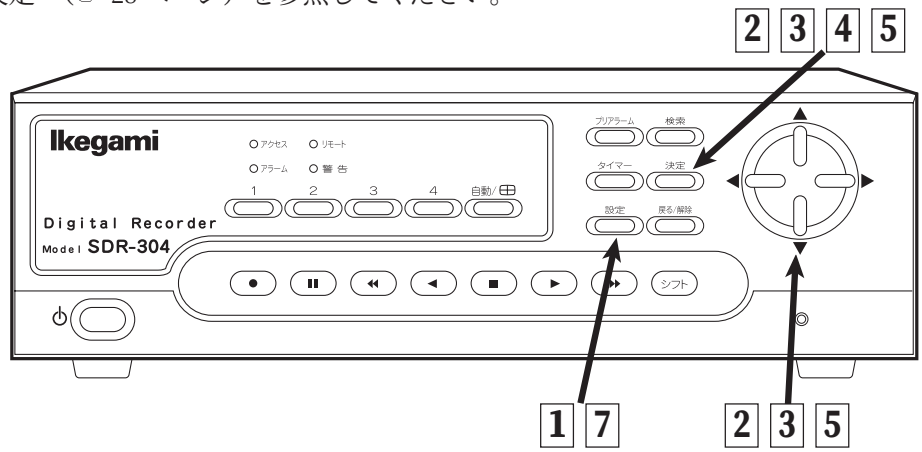
記録の前に　手動記録の前に　その１

手動記録の前に

工場出荷状態の設定でも動作しますが、実際の運用条件に合わせるために、手動記録の前に記録方法に関する設定をしてください。

本機は、通常記録・アラーム記録・プリアラーム記録の３つの動作を１セットとして10パターンの異なった記録方法を設定番号１～10に登録可能です。一度設定を行えば設定番号を切り替えるだけで簡単に記録方法を変更することが可能です。ただし、動作するのは選択された１種類のみです。

ここでは、手動操作で記録をする前の必要な設定を、簡単に説明します。詳細は、“ 基本動作：記録動作の詳細設定 ”（☞ 28 ページ）を参照してください。



例として設定番号：3 、記録モード：通常の画質・音声・記録間隔・ＣＨ を設定します。

1　設定 を押して設定メニューを表示します。

```
設定メニュー
情報  記録  表示  制御  ネット  時刻  初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク
```

2　の左右キーで記録へ移動し 決定 を押します。

```
設定メニュー
情報  記録  表示  制御  ネット  時刻  初期化
              設定番号     ：1
通常記録      記録モード   ：通常        アラーム
記録動作      →画質          B           A
タイマー予約  →音声          OFF         ON
基本動作      →記録間隔      1／5秒      1／30秒
              →動作                      インターリーブ
              →ホールド時間              00分10秒
              →アラーム出力              ON
              →ブザー音                  ON
              →設定CH      1  2  3  4
```

3　の上下キーで記録動作へ移動し 決定 を押します。

```
記録動作設定
設定番号：1
記録モード    通常          アラーム        プリアラーム
画質          ：B           ：A             ：←
音声          ：OFF         ：ON            ：←
記録間隔      ：1／5秒      ：1／30秒       ：←
    動作                    ：インターリーブ
    ホールド時間            ：00分10秒      ：←
    アラーム出力            ：ON            ：←
    ブザー音                ：ON            ：←
    プリアラーム時間                        ：5秒
設定CH        ：1  2  3  4
```

4　設定番号で 決定 を押します。

```
記録動作設定
設定番号：1
記録モード    通常          アラーム        プリアラーム
画質          ：B           ：A             ：←
音声          ：OFF         ：ON            ：←
記録間隔      ：1／5秒      ：1／30秒       ：←
    動作                    ：インターリーブ
    ホールド時間            ：00分10秒      ：←
    アラーム出力            ：ON            ：←
    ブザー音                ：ON            ：←
    プリアラーム時間                        ：5秒
設定CH        ：1  2  3  4
```

記録の前に　手動記録の前に　その2

5　 の上下キーで希望の番号を選択し決定を押します。(例　設定番号：3)

```
記録動作設定
設定番号：  3
記録モード    通常          アラーム          プリアラーム
画質          ：B           ：A               ：←
音声          ：OFF         ：ON              ：←
記録間隔      ：1／5秒      ：1／30秒         ：←
      動作                  ：インターリーブ
      ホールド時間          ：00分10秒        ：←
      アラーム出力          ：ON              ：←
      ブザー音              ：ON              ：←
      プリアラーム時間                        ：5秒
設定CH      ：1  2  3  4
```

◎設定番号は1～10までの10パターン登録可能です。

6　記録動作の設定をします。
手動で記録する場合は、囲んである部分以外の設定は必要ありません。設定CHは、記録しないチャンネル番号のボタンを押してチャンネル番号を非表示にしてください。
(例　画質：A、音声：ON、記録間隔：1/10秒、CH：1　2)

```
記録動作設定
設定番号：  3
記録モード    通常          アラーム          プリアラーム
画質          ：A           ：A               ：←
音声          ：ON          ：ON              ：←
記録間隔      ：1／10秒     ：1／30秒         ：←
      動作                  ：インターリーブ
      ホールド時間          ：00分10秒        ：←
      アラーム出力          ：ON              ：←
      ブザー音              ：ON              ：←
      プリアラーム時間                        ：5秒
設定CH      ：1  2  ＊  ＊
```

この画面の設定方法を詳しく見たい時
↓
“基本操作：記録動作の詳細設定”(☞ 28ページ)を参照してください。

7　設定を押します。設定メニューが消え設定内容が保存されます。

＜便利機能＞
◎6の記録動作設定画面から“基本操作：手動操作で記録4”(☞ 33ページ)への移動は、シフトと決定の同時押しで簡単に移動できます。
◎再度、シフトと決定同時押しで前の画面(6の記録動作設定画面)へ移動します。

記録の前に　アラーム記録の前に　その１

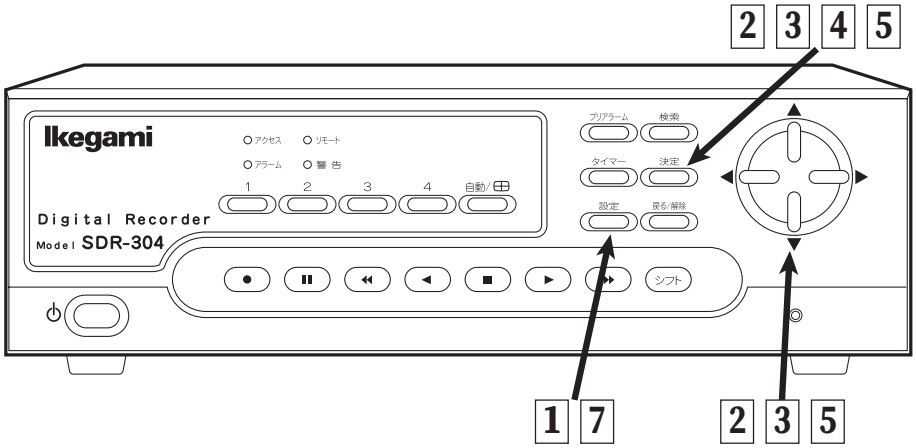
アラーム記録の前に

工場出荷状態の設定でも動作しますが、実際の運用条件に合わせるために、アラーム記録の前に記録方法に関する設定をしてください。

本機は、通常記録・アラーム記録・プリアラーム記録の３つの動作を１セットとして10パターンの異なった記録方法を設定番号に登録可能です。一度設定を行えば設定番号を切り替えるだけで簡単に記録方法を変更することが可能です。ただし、動作するのは選択された１種類のみです。

アラーム記録を行うだけなら「通常」の設定を変更する必要はありませんが、通常記録中にアラーム記録をしたい場合は、「通常」と「アラーム」の両方を設定する必要があります。

ここでは、アラーム記録をする前の必要な設定を、簡単に説明します。詳細は、“ 基本動作：記録動作の詳細設定 ”（☞ 28 ページ）を参照してください。



例として設定番号：3 、記録モード：アラームとプリアラームの画質・音声・記録間隔・動作・ＣＨ を設定します。

1　設定 を押して設定メニューを表示します。

設定メニュー

情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク

2　の左右キーで記録へ移動し 決定 を押します。

設定メニュー

情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

	設定番号	：1	
通常記録	記録モード	：通常	アラーム
記録動作	→画質	B	A
タイマー予約	→音声	ＯＦＦ	ON
基本動作	→記録間隔	１／５秒	１／３０秒
	→動作		インターリーブ
	→ホールド時間		００分１０秒
	→アラーム出力		ON
	→ブザー音		ON
	→設定ＣＨ	１　２　３　４	

3　の上下キーで記録動作へ移動し 決定 を押します。

記録動作設定

設定番号：	1		
記録モード	通常	アラーム	プリアラーム
画質	：B	：A	：←
音声	：ＯＦＦ	：ON	：←
記録間隔	：１／５秒	：１／３０秒	：←
動作		：インターリーブ	
ホールド時間		：００分１０秒	：←
アラーム出力		：ON	：←
ブザー音		：ON	：←
プリアラーム時間			：５秒
設定ＣＨ	：１　２　３　４		

＜アラームとは？＞
（☞ 34 ページ、36 ページ）
アラーム入力待機中に下記条件が発生した時、通常記録中ならアラーム記録に切り替え、停止中ならアラーム記録をすることができます。

＜プリアラームとは？＞
（☞ 36 ページ、52 ページ）
プリアラーム待機中に下記条件が発生した時、最大５秒前からの映像を記録することができます。プリアラーム待機中は、記録、再生、検索ができません。

＜条件＞
◎アラーム入力端子が接地しアラームが入力したとき

4　設定番号で 決定 を押します。

```
記録動作設定
設定番号：  1
記録モード  通常        アラーム      プリアラーム
画質        ：B         ：A           ：←
音声        ：OFF       ：ON          ：←
記録間隔    ：1／5秒    ：1／30秒     ：←
    動作                ：インターリーブ
    ホールド時間        ：00分10秒    ：←
    アラーム出力        ：ON          ：←
    ブザー音            ：ON          ：←
    プリアラーム時間                  ：5秒
設定CH      ：1  2  3  4
```

5　の上下キーで希望の番号を選択し 決定 を押します。（例　設定番号：3）

```
記録動作設定
設定番号：  3
記録モード  通常        アラーム      プリアラーム
画質        ：B         ：A           ：←
音声        ：OFF       ：ON          ：←
記録間隔    ：1／5秒    ：1／30秒     ：←
    動作                ：インターリーブ
    ホールド時間        ：00分10秒    ：←
    アラーム出力        ：ON          ：←
    ブザー音            ：ON          ：←
    プリアラーム時間                  ：5秒
設定CH      ：1  2  3  4
```

◎設定番号は1～10までの10パターン登録可能です。

6　記録動作の設定をします。
アラームで記録するだけなら実線で囲んである設定以外は必要ありませんが、通常記録中にアラーム動作をしたい場合は、二重線で囲んである通常記録の設定をする必要があります。設定CHは、記録しないチャンネル番号のボタンを押してチャンネル番号を非表示にしてください。

例　画質　：A
　　音声　：ON
　　記録間隔　：1/10秒
　　動作　：インターリーブ
　　ホールド時間　：30秒
　　アラーム出力　：OFF
　　ブザー音　：OFF
　　プリアラーム時間　：5秒
　　CH　：1　2

```
記録動作設定
設定番号：  3
記録モード  通常        アラーム      プリアラーム
画質        ：A         ：A           ：←
音声        ：ON        ：ON          ：←
記録間隔    ：1／5秒    ：1／10秒     ：←
    動作                ：インターリーブ
    ホールド時間        ：00分30秒    ：←
    アラーム出力        ：OFF         ：←
    ブザー音            ：OFF         ：←
    プリアラーム時間                  ：5秒
設定CH      ：1  2  ＊  ＊
```

この画面の設定方法を詳しく見たい時
↓
“基本操作：記録動作の詳細設定”（☞ 28ページ）を参照してください。

7　設定 を押します。設定メニューが消え設定内容が保存されます。

＜便利機能＞
◎6の記録動作設定画面から“基本操作：アラーム入力で記録4”（☞ 35ページ）への移動は、シフト と 決定 の同時押しで簡単に移動できます。
◎再度、シフト と 決定 同時押しで前の画面（6の記録動作設定画面）へ移動します。

ご注意

＜記録間隔の設定＞
記録モードの通常とアラームで記録間隔の設定範囲が違います。
◎アラームの記録間隔　：1/30秒～1秒まで
◎通常の記録間隔　　：1/30秒～10秒まで

記録の前に　タイマー記録の前に　その１

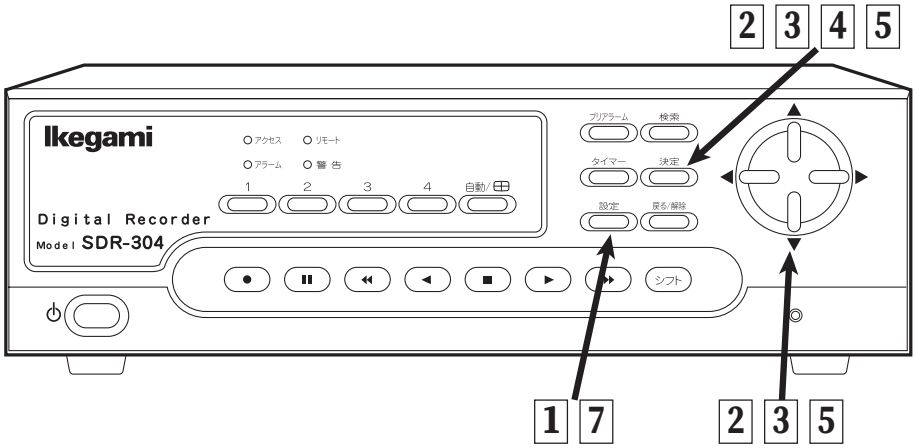
タイマー記録の前に

工場出荷状態の設定でも動作しますが、実際の運用条件に合わせるために、タイマー記録の前に記録方法に関する設定をしてください。

本機は、通常記録・アラーム記録・プリアラーム記録の３つの動作を１セットとして10パターンの異なった記録方法を設定番号１～10に登録可能です。一度設定を行えば設定番号を切り替えるだけで簡単に記録方法を変更することが可能です。ただし、動作するのは選択された１種類のみです。

ここでは、タイマーで記録をする前の必要な設定を簡単に説明します。詳細は、“ 基本動作 : 記録動作の詳細設定 ”（☞ 28 ページ）を参照してください。

タイマー記録中にアラーム記録をしたい場合は、“ 基本操作 : アラーム記録の前に ”（☞ 24ページ）を参照し合わせて設定してください。



例として設定番号 : 3 、記録モード : 通常の画質・音声・記録間隔・ＣＨ を設定します。

1　設定 を押して設定メニューを表示します。

```
設定メニュー
 情報  記録  表示  制御  ネット  時刻  初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク
```

2　の左右キーで記録へ移動し 決定 を押します。

```
設定メニュー
 情報  記録  表示  制御  ネット  時刻  初期化
          設定番号     : 1
通常記録  記録モード   : 通常        アラーム
記録動作  →画質         B           A
タイマー予約 →音声       OFF         ON
基本動作  →記録間隔     1／5秒      1／30秒
          →動作                     インターリーブ
          →ホールド時間             00分10秒
          →アラーム出力             ON
          →ブザー音                 ON
          →設定CH     1  2  3  4
```

3　の上下キーで記録動作へ移動し 決定 を押します。

```
記録動作設定
設定番号 : 1
記録モード    通常        アラーム        プリアラーム
画質          : B         : A             : ←
音声          : OFF       : ON            : ←
記録間隔      : 1／5秒    : 1／30秒       : ←
    動作                  : インターリーブ
    ホールド時間          : 00分10秒      : ←
    アラーム出力          : ON            : ←
    ブザー音              : ON            : ←
    プリアラーム時間                      : 5秒
設定CH      : 1  2  3  4
```

4　設定番号で 決定 を押します。

```
記録動作設定
設定番号 : 1
記録モード    通常        アラーム        プリアラーム
画質          : B         : A             : ←
音声          : OFF       : ON            : ←
記録間隔      : 1／5秒    : 1／30秒       : ←
    動作                  : インターリーブ
    ホールド時間          : 00分10秒      : ←
    アラーム出力          : ON            : ←
    ブザー音              : ON            : ←
    プリアラーム時間                      : 5秒
設定CH      : 1  2  3  4
```

5　 の上下キーで希望の番号を選択し決定を押します。（例　設定番号：3）

```
記録動作設定
設定番号：  3
記録モード    通常          アラーム          プリアラーム
画質          ：B           ：A               ：←
音声          ：OFF         ：ON              ：←
記録間隔      ：1／5秒      ：1／30秒         ：←
      動作                  ：インターリーブ
      ホールド時間          ：00分10秒        ：←
      アラーム出力          ：ON              ：←
      ブザー音              ：ON              ：←
      プリアラーム時間                        ：5秒
設定CH      ：1  2  3  4
```

◎設定番号は1～10までの10パターン登録可能です。

6　記録動作の設定をします。
タイマーで記録をするだけであれば、囲んである部分以外の設定は必要ありません。CHの設定は、記録しないチャンネル番号のボタンを押してチャンネル番号を非表示にしてください。
（例　画質：A、音声：ON、記録間隔：1/10秒、CH：1　2）

```
記録動作設定
設定番号：  3
記録モード    通常          アラーム          プリアラーム
画質          ：A           ：A               ：←
音声          ：ON          ：ON              ：←
記録間隔      ：1／10秒     ：1／30秒         ：←
      動作                  ：インターリーブ
      ホールド時間          ：00分10秒        ：←
      アラーム出力          ：ON              ：←
      ブザー音              ：ON              ：←
      プリアラーム時間                        ：5秒
設定CH      ：1  2  ＊  ＊
```

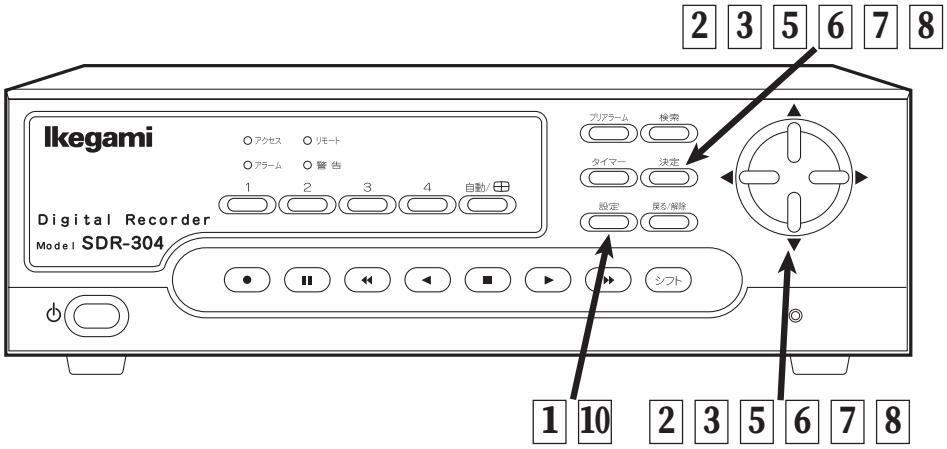
この画面の設定方法を詳しく見たい時
↓
“基本操作：記録動作の詳細設定”（☞ 28ページ）を参照してください。

7　設定を押します。設定メニューが消え設定内容が保存されます。

＜便利機能＞
◎タイマー予約画面の“基本操作：タイマーで記録6”（☞ 38ページ）から6の記録動作設定画面へは、シフト と 決定 の同時押しで簡単に移動できます。
◎再度、シフト と 決定 同時押しで前の画面（記録動作設定画面）へ移動します。

記録動作の詳細設定

実際の運用形態に合わせるために、本設定で記録動作の設定をしてください。
記録動作は、設定番号１～10の10パターンの異なった記録方法を登録可能です。



設定メニューをすでに開いている場合は、4からご覧ください。

1　設定 を押して設定メニューを表示します。

```
設定メニュー
 情報  記録  表示  制御  ネット  時刻  初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク
```

2　の左右キーで記録へ移動し 決定 を押します。

```
設定メニュー
 情報  記録  表示  制御  ネット  時刻  初期化
                設定番号     ：1
通常記録        記録モード   ：通常        アラーム
記録動作        →画質          B          A
タイマー予約    →音声          OFF        ON
基本動作        →記録間隔      1／5秒     1／30秒
                →動作                     インターリーブ
                →ホールド時間              00分10秒
                →アラーム出力              ON
                →ブザー音                  ON
                →設定CH     1  2  3  4
```

3　の上下キーで記録動作へ移動し 決定 を押します。

```
記録動作設定
設定番号：  1
記録モード    通常          アラーム          プリアラーム
画質          ：B           ：A               ：←
音声          ：OFF         ：ON              ：←
記録間隔      ：1／5秒      ：1／30秒         ：←
      動作                  ：インターリーブ
      ホールド時間          ：00分10秒        ：←
      アラーム出力          ：ON              ：←
      ブザー音              ：ON              ：←
      プリアラーム時間                        ：5秒
設定CH      ：1  2  3  4
```

4　記録モードについて

```
記録動作設定
設定番号：  1
記録モード    通常          アラーム          プリアラーム
画質          ：B           ：A               ：←
音声          ：OFF         ：ON              ：←
記録間隔      ：1／5秒      ：1／30秒         ：←
      動作                  ：インターリーブ
      ホールド時間          ：00分10秒        ：←
      アラーム出力          ：ON              ：←
      ブザー音              ：ON              ：←
      プリアラーム時間                        ：5秒
設定CH      ：1  2  3  4
```

通常	：通常記録動作時（アラーム動作以外の手動動作・タイマー動作）の記録方法を設定します。
アラーム	：外部入力端子からのアラーム入力の記録動作方法を設定します。
プリアラーム	：外部入力端子からのアラーム入力の数秒前から映像を記録する方法を設定します。

記録の前に　記録動作の詳細設定　その2

5　画質について

（例　通常の時　　：A
　　アラームの時：A）

記録動作設定

設定番号：3			
記録モード	通常	アラーム	プリアラーム
画質	：A	：A	：←
音声	：OFF	：ON	：←
記録間隔	：1／5秒	：1／30秒	：←
動作		：インターリーブ	
ホールド時間		：00分10秒	：←
アラーム出力		：ON	：←
ブザー音		：ON	：←
プリアラーム時間			：5秒
設定CH	：1　2　3　4		

の上下キーを押すと

画質　高 → 画質　標準 → 画質　低

A → B → C

の 3 段階で画質を設定できます。
プリアラームはアラームの記録間隔と同じ動作になります

6　音声について

（例　通常の時　　：ON
　　アラームの時：ON）

記録動作設定

設定番号：3			
記録モード	通常	アラーム	プリアラーム
画質	：A	：A	：←
音声	：ON	：ON	：←
記録間隔	：1／5秒	：1／30秒	：←
動作		：インターリーブ	
ホールド時間		：00分30秒	：←
アラーム出力		：ON	：←
ブザー音		：ON	：←
プリアラーム時間			：5秒
設定CH	：1　2　3　4		

の上下キーを押すと

音声　あり → 音声　なし

ON → OFF

の音声あり・なしを設定できます。
プリアラームはアラームの音声と同じ動作になります。
記録中は、音声のON／OFF に関係なく、ライブの音声を出力します。

7　記録間隔について

（例　通常の時　　：1/10 秒
　　アラームの時：1/10 秒）

記録動作設定

設定番号：3			
記録モード	通常	アラーム	プリアラーム
画質	：A	：A	：←
音声	：ON	：ON	：←
記録間隔	：1／10秒	：1／10秒	：←
動作		：インターリーブ	
ホールド時間		：00分10秒	：←
アラーム出力		：ON	：←
ブザー音		：ON	：←
プリアラーム時間			：5秒
設定CH	：1　2　3　4		

の上下キーを押すと

〈通常の場合〉

＜通常の場合＞

1/30 → 1/15 → 1/10 → 1/5 → 1/3 → 1/2 → 1 → 2 → 3 → 5 → 10

＜アラームとプリアラームの場合＞

1/30 → 1/15 → 1/10 → 1/5 → 1/3 → 1/2 → 1

通常とアラームで記録間隔がそれぞれ設定できます。
アラームの記録間隔は、1 秒までです。
プリアラームはアラームの記録間隔と同じ動作になります。

＜記録間隔とは？＞
◎映像を記録する間隔（時間）を表します。数値が小さい（最小：1/30秒）ほど、より動画に近く記録されます。

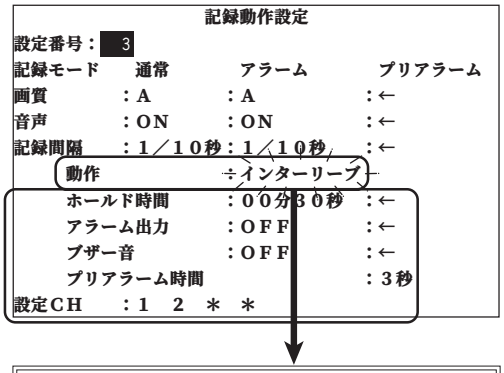
＜例えば＞
◎記録間隔で 1（秒）を選択した場合 1 秒間に 1 枚記録されるので、4 台のカメラを記録する場合同一のカメラの記録間隔は 4 秒ごとになります。

記録の前に　記録動作の詳細設定　その３

8　動作について

例として下記のように設定します。

	通常の時	アラームの時	プリアラームの時
動作	：－	インターリーブ	←
ホールド時間	：－	30秒	←
出力	：－	OFF	←
ブザー	：－	OFF	←
プリアラーム時間	：－	－	3秒
CH	：1　2　＊　＊		



の上下キーを押すと

〈アラームとプリアラーム〉

設定 CH →アラーム CH →インターリーブ

の３種類から記録動作を設定できます。

＜ホールド時間＞

アラーム入力後の記録時間を 00 秒～ 30 分 59 秒の範囲で設定できます。

ホールド時間を 00 秒に設定した場合、(■) を押すまでアラーム動作を継続します。タイマー動作時は注意が必要です。詳しくは、“基本操作：タイマーで記録”(☞ 37ページ)を参照してください。

＜アラーム出力＞

アラーム処理期間中のアラーム出力の設定です。

アラーム出力　あり　ON　→　アラーム出力　なし　OFF

＜ブザー音＞

アラーム入力時のブザー音の設定です。

ブザー音　あり　ON　→　ブザー音　なし　OFF

＜プリアラーム時間＞

アラームが入力される数秒前から記録する時間を 1 秒～ 5 秒の範囲で設定できます。

＜ CH ＞

記録するチャンネルを設定します。

記録しないチャンネルはチャンネル番号のボタンを押してチャンネル番号を非表示にしてください。

設定 CH：1　2　＊　＊

全てのチャンネルを非表示にすると CH4 が記録されます。

アラームで記録する場合は、上記で設定したチャンネル以外でも、映像が入力している全チャンネルを対象に記録します。

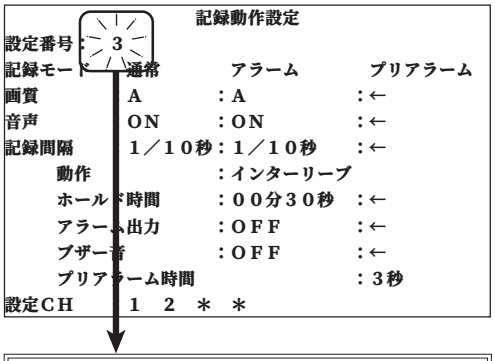
＜動作の説明＞

◎詳しい動作の説明は、“基本操作：図解 記録動作について”（☞ 36 ページ）を参照してください。

＜ホールド時間の説明＞

◎ホールド時間とは、アラーム入力が終わってからのアラーム記録を行う時間、アラーム表示を行う時間です。アラーム表示の詳しい説明は、“応用操作：アラーム発生時の表示方法を変更”（☞ 64 ページ）を参照してください。

9　設定番号について



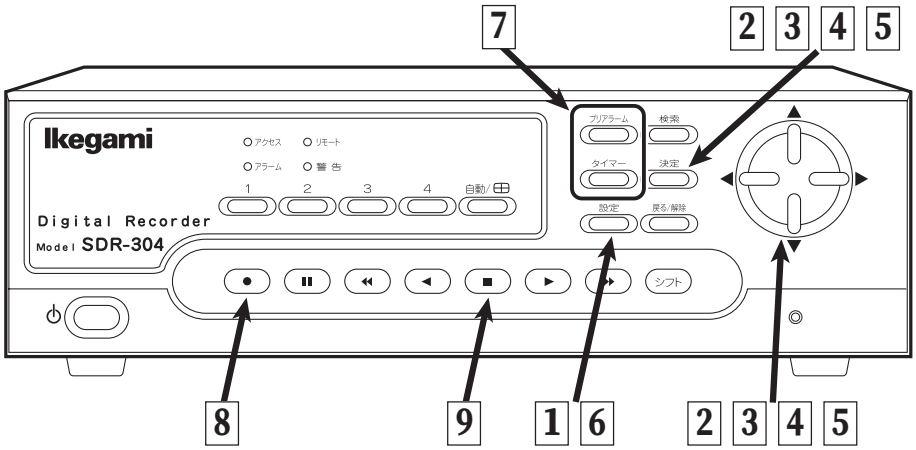
5～8で設定した内容は 10 パターン登録可能です。

10　設定 を押します。設定メニューが消え設定内容が保存されます。

記録方法　手動操作で記録　その１

手動操作で記録

入力された映像を手動で記録する方法です。



“基本設定：手動記録の前に”（☞ 22 ページ）で設定した設定番号:3を通常記録動作に設定する方法です。

1　設定 を押して設定メニューを表示します。

```
設定メニュー
情報  記録  表示  制御  ネット  時刻  初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク
```

2　の左右キーで記録へ移動し 決定 を押します。

```
設定メニュー
情報  記録  表示  制御  ネット  時刻  初期化
              設定番号    ：1
通常記録      記録モード  ：通常        アラーム
記録動作      →画質         B           A
タイマー予約  →音声         OFF         ON
基本動作      →記録間隔     1／5秒      1／30秒
              →動作         設定CH      インターリーブ
              →ホールド時間               00分10秒
              →アラーム出力               ON
              →ブザー音                   ON
              →設定CH     1  2  3  4
```

3　の上下キーで通常記録へ移動し 決定 を押します。

```
設定メニュー
情報  記録  表示  制御  ネット  時刻  初期化
              設定番号    ：1
通常記録      記録モード  ：通常        アラーム
記録動作      →画質         B           A
タイマー予約  →音声         OFF         ON
基本動作      →記録間隔     1／5秒      1／30秒
              →動作         設定CH      インターリーブ
              →ホールド時間               00分10秒
              →アラーム出力               ON
              →ブザー音                   ON
              →設定CH     1  2  3  4
```

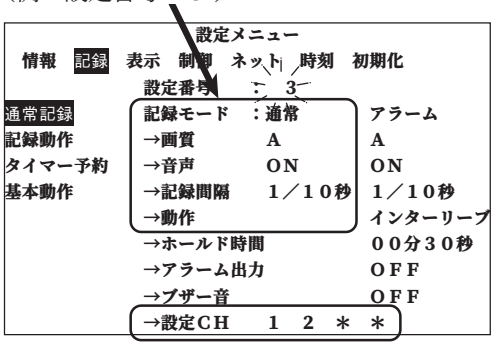
！ ご注意

設定番号の 1 ～10 は、事前に記録動作を登録しておく必要があります。
詳しくは“基本操作：手動記録の前に”（☞ 22 ページ）を参照してください。

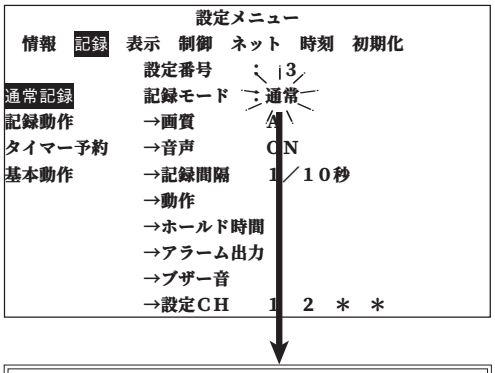
記録方法　手動操作で記録　その2

4　設定番号で 決定 を押します。

の上下キーで設定番号１～10の記録動作をプレビュー表示で確認し、目的の記録動作で 決定 を押して確定します。
（例　設定番号：３）



5　記録モードで 決定 を押して通常を選択してください。



の上下キーで

通常 → 通常　アラーム

２種類の設定から選択できます。通常を選択したら 決定 を押して反転表示にしてください。

＜通常＞
通常記録のみでアラーム入力端子が接地しアラームが入力された時でもアラーム記録を行わない設定です。

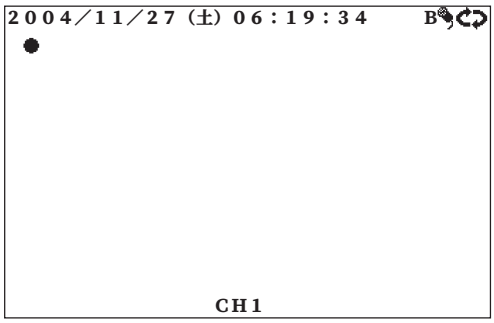
＜通常　アラーム＞（☞ 34 ページ）
通常記録とアラーム記録の２種類の記録方法で動作する設定です。
通常記録中ならアラーム記録に切り替え、停止中ならアラーム記録のみをすることができます。

6　設定 を押します。設定メニューが消え設定内容が保存されます。

7　プリアラーム と タイマー のLEDが消灯していることを確認してください。LEDが点灯していたら、プリアラーム と タイマー を押してLEDを消灯してください。

記録の開始

8　● を押して画面上に●が表示されると4 5 で設定した記録方法で記録が開始します。



記録の停止

9　■ の**長押し（２秒以上）**で記録が停止します。

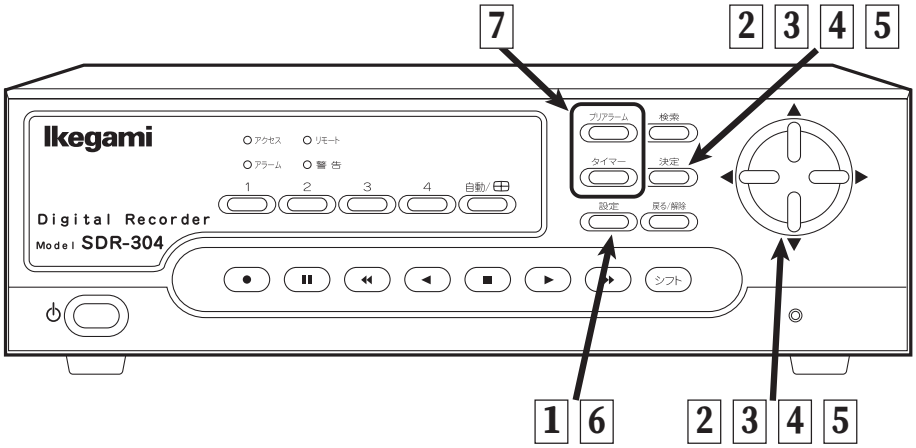
＜便利機能＞
◎プレビュー表示の内容を変更したいときは、シフト と 決定 の同時押しで記録動作設定画面へ簡単に移動でき、設定内容を変更できます。
◎変更後再度、シフト と 決定 の 同時押しで元の通常記録画面4に戻ります。

記録方法　アラーム入力で記録　その１

アラーム入力で記録

アラーム入力端子が接地しアラームが入力したとき、記録の開始や記録動作を変更したりする方法です。

アラーム入力端子への接続は、“ 接続：アラームと入出力端子の接続 ”（☞ 8ページ）を参照してください。



“ 基本設定：アラーム記録の前に ”（☞ 24ページ）で設定した設定番号：3 をアラーム動作に設定する方法です。

1　設定 を押して設定メニューを表示します。

```
設定メニュー
 情報  記録  表示  制御  ネット  時刻  初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク
```

2　の左右キーで 記録 へ移動し 決定 を押します。

```
設定メニュー
 情報  記録  表示  制御  ネット  時刻  初期化
          設定番号    ：1
通常記録  記録モード  ：通常      アラーム
記録動作  →画質       B          A
タイマー予約 →音声     OFF        ON
基本動作  →記録間隔   1／5秒     1／30秒
          →動作      設定CH     インターリーブ
          →ホールド時間          00分10秒
          →アラーム出力          ON
          →ブザー音              ON
          →設定CH    1  2  3  4
```

3　の上下キーで 通常記録 へ移動し 決定 を押します。

```
設定メニュー
 情報  記録  表示  制御  ネット  時刻  初期化
          設定番号    ：1
通常記録  記録モード  ：通常      アラーム
記録動作  →画質       B          A
タイマー予約 →音声     OFF        ON
基本動作  →記録間隔   1／5秒     1／30秒
          →動作      設定CH     インターリーブ
          →ホールド時間          00分10秒
          →アラーム出力          ON
          →ブザー音              ON
          →設定CH    1  2  3  4
```

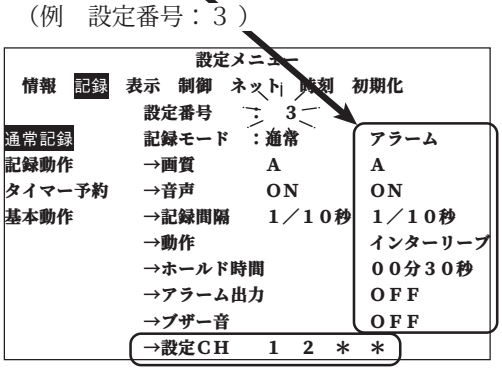
ご注意

設定番号の 1 ～ 10 は、事前に記録動作を登録しておく必要があります。
詳しくは“基本操作：アラーム記録の前に”（☞ 24 ページ）を参照してください。

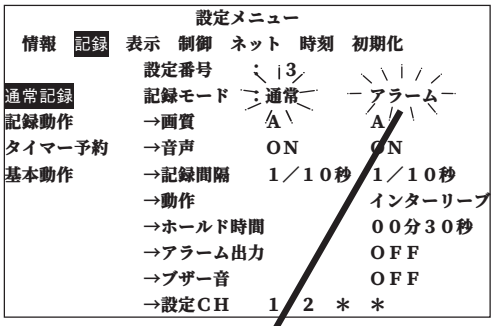
記録方法　アラーム入力で記録　その2

4　設定番号で 決定 を押します。

の上下キーで設定番号1～10の記録動作をプレビュー表示で確認し、目的の記録動作で 決定 を押して確定します。
（例　設定番号：3）



5　記録モードで 決定 を押して通常　アラーム を選択してください。



の上下キーで

通常 → 通常　アラーム

2種類の設定から選択できます。
通常　アラーム を選択したら 決定 を押して反転表示にしてください。

＜通常　アラーム＞
通常記録とアラーム記録の2種類の記録方法で動作する設定です。
通常記録中ならアラーム記録に切り替え、停止中ならアラーム記録のみをすることができます。

＜通常＞（☞33ページ）
通常記録のみでアラーム入力端子が接地しアラームが入力された時でもアラーム記録を行わない設定です。

アラーム記録の設定完了

6　設定 を押します。設定メニューが消え設定内容が保存されます。

7　プリアラーム と タイマー のLEDが消灯していることを確認してください。LEDが点灯していたら、プリアラーム と タイマー を押してLEDを消灯してください。

アラーム入力端子への接続

8　アラーム入力端子へ接続を行います。
詳しくは、“接続：アラームと入出力端子の接続”（☞8ページ）を参照してください。

外部出力端子への接続

9　記録動作を行っている時間だけアラーム出力をすることもできます。
詳しくは、“応用操作：外部出力端子について”（☞70ページ）を参照してください。

アラーム入力で記録開始

10　アラーム入力端子が接地しアラームが入力したときにアラーム動作を行います。

＜便利機能＞
◎プレビュー表示の内容を変更したいときは、シフト と 決定 の同時押しで記録動作設定画面へ簡単に移動でき、設定内容を変更できます。
◎変更後再度、シフト と 決定 の 同時押しで元の通常記録画面4に戻ります。

図解：通常記録動作とプリアラームの記録動作について

記録するチャンネルが①②③の場合

＜通常とプリアラームの場合＞

手動操作・タイマー（通常）・プリアラーム・通信制御・ネットワーク制御のときの記録動作です。

記録動作設定画面のＣＨの項目で表示されいてるカメラを順番に記録します。
①②③　①②③　①②③　①②③　①②③　①②③　①②③・・・

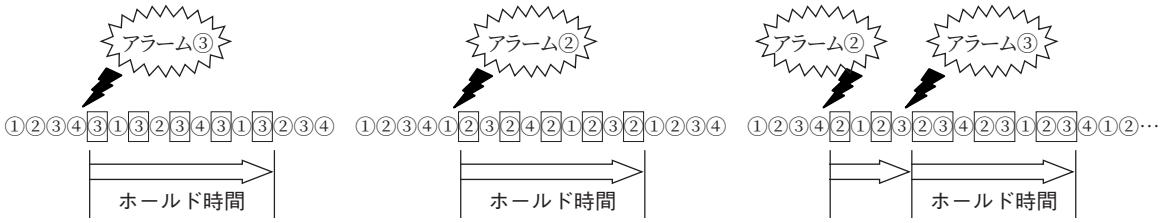
図解：アラームの記録動作について

記録するチャンネルが①②③④場合

＜アラームの場合＞

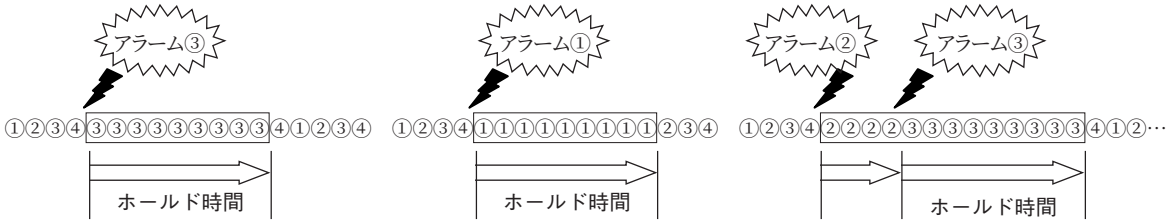
◎インターリーブの記録動作

アラーム入力チャンネルを優先的に記録します。



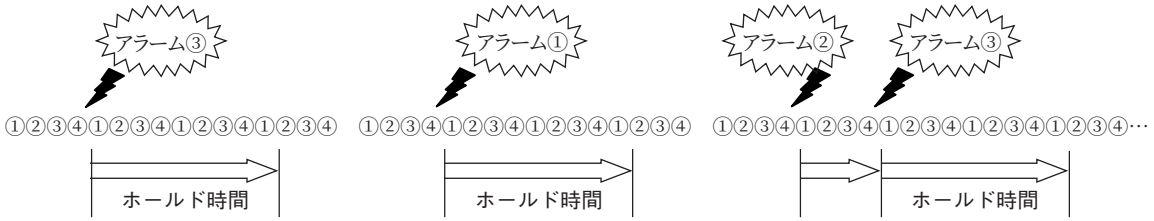
◎アラーム CH の記録動作

アラームが入力した単一チャンネルを後優先で記録します。



◎設定 CH の記録動作

記録動作設定画面の CH の項目で表示されているチャンネルを順番に記録します。
記録するチャンネルは通常記録動作と同じですが、記録方法はアラーム記録となります。

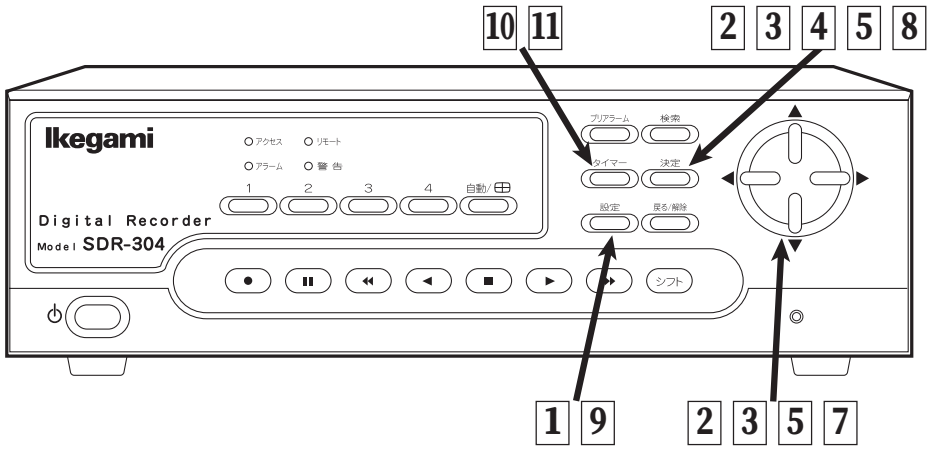


プリアラーム記録とアラーム記録の記録対象チャンネルは、映像が入力している全チャンネルです。
＜例えば：①②チャンネルを記録動作の CH に設定して、④チャンネルにアラームが入力した場合＞
④チャンネルに映像が入力されている場合は､アラーム記録されます｡映像入力がない場合は記録されません。

記録方法　タイマーで記録　その１

タイマーで記録

タイマーで自動的に記録を行う方法です。タイマーは10プログラムを登録可能です。記録モードを事前に登録した設定番号から選択できますので、簡単に予約の設定をすることができます。



1　設定 を押して設定メニューを表示します。

設定メニュー

情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク

2　の左右キーで記録へ移動し 決定 を押します。

設定メニュー

情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

	設定番号	：1	
通常記録	記録モード	：通常	アラーム
記録動作	→画質	B	A
タイマー予約	→音声	ＯＦＦ	ON
基本動作	→記録間隔	１／５秒	１／３０秒
	→動作	設定ＣＨ	インターリーブ
	→ホールド時間		００分１０秒
	→アラーム出力		ON
	→ブザー音		ON
	→設定ＣＨ	１　２　３　４	

3　の上下キーでタイマー予約へ移動し 決定 を押します。

タイマー予約

曜日	開始		終了	設定番号	記録モード
	:	～	:		
	:	～	:		
	:	～	:		
	:	～	:		
	:	～	:		
	:	～	:		
	:	～	:		
	:	～	:		
	:	～	:		
	:	～	:		

4　曜日で 決定 を押します。

タイマー予約

曜日	開始		終了	設定番号	記録モード
	:	～	:		
	:	～	:		
	:	～	:		
	:	～	:		
	:	～	:		
	:	～	:		
	:	～	:		
	:	～	:		
	:	～	:		
	:	～	:		

記録方法　タイマーで記録　その2

5　の上下キーで希望の曜日を表示させ 決定 で曜日を確定すると反転表示が開始の時間に移動します。

タイマー予約

曜日	開始	終了	設定番号	記録モード
水	00：－	～－	－	－
	：	～ ：		
	：	～ ：		
	：	～ ：		
	：	～ ：		
	：	～ ：		
	：	～ ：		
	：	～ ：		
	：	～ ：		
	：	～ ：		

の上下キーを押すと

→■→日→月→火→水→木→金→土

月ー金→月ー土→土ー日→毎日

の 11 種類の曜日を選択できます。■を選択し決定するとそのプログラムは削除されます。

6　4～5の方法を記録モードまで繰り返すことによってタイマー予約を設定します。

タイマー予約

曜日	開始	終了	設定番号	記録モード
日	08：00～	20：00	5	アラーム
毎日	08：00～	17：00	1	通常
毎日	17：00～	20：00	3	通常・アラーム
	：	～ ：		
	：	～ ：		
	：	～ ：		
	：	～ ：		
	：	～ ：		
	：	～ ：		
	：	～ ：		
	：	～ ：		

7　予約内容を変更したい時は、変更したい場所まで の上下左右キーで移動し4～5の方法で変更してください。

タイマー予約

曜日	開始	終了	設定番号	記録モード
日	08：00～	20：00	5	アラーム
毎日	08：00～	17：00	1	通常
毎日	17：00～	20：00	3	通常・アラーム
	：	～ ：		
	：	～ ：		
	：	～ ：		
	：	～ ：		
	：	～ ：		
	：	～ ：		
	：	～ ：		
	：	～ ：		

＜記録モードとは？＞

◎“基本動作　　：記録動作の詳細設定”（☞ 28 ページ）で設定した内容です。

＜例えば＞

◎通常　　：記録動作のみです。アラームが入力しても無視されます。

◎通常・アラーム：アラームが入力されたらアラーム動作をします。それ以外は通常の記録動作です。

◎アラーム　　：アラームが入力されると記録します。それ以外は待機状態です。

◎プリアラーム　：アラームが入力された数秒前から記録されます。それ以外は待機状態です。

＜便利機能＞

◎設定番号の内容を確認したいときや変更したいときは、 シフト と 決定 の同時押しで記録動作設定画面に簡単に移動することができます。

ご注意

記録動作設定でホールド時間を 0 秒に設定している場合
（基本操作：記録動作の詳細設定8 ☞ 30 ページ）、一度アラーム記録動作を行うと、 タイマー を長押し（2 秒以上）タイマーモードを解除するまで、アラーム記録動作を行い続けます。
リピート記録（基本操作：リピート記録 ☞ 16 ページ）で運用している場合は、自動で記録停止を行いませんので注意が必要です。

記録方法　タイマーで記録　その3

8　決定 を押して反転表示が隣に移動したら修正完了です。

タイマー予約

曜日	開始	終了	設定番号	記録モード
日	08：00	～20：00	5	アラーム
毎日	08：00	～17：00	1	通常
毎日	17：00	～20：00	10	通常・アラーム
	：	～ ：		
	：	～ ：		
	：	～ ：		
	：	～ ：		
	：	～ ：		
	：	～ ：		
	：	～ ：		

9　設定 を押します。設定メニューが消え設定内容が保存されます。

タイマー待機

10　タイマー を押して LED を点灯させます
画面右上に ♩ が表示されタイマー動作になります。タイマー時刻になると設定されている記録動作で動作します。

＜タイマー動作の制限事項＞
◎(●) (▶) (■) 検索 の動作はしません。ただし、タイマー待機中であれば 設定 は可能です。
◎設定中にタイマー記録時刻になった時は、設定画面を抜けてからタイマー動作を行います。

タイマー解除

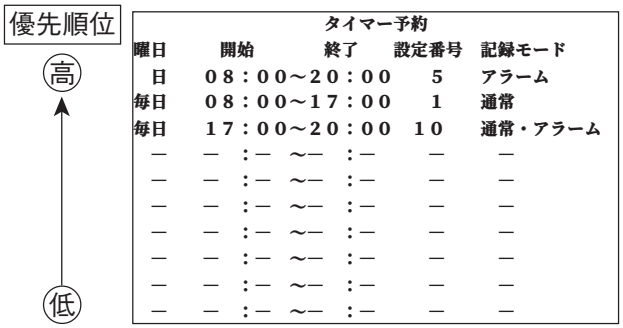
11　タイマー を押すと LED が消灯し、画面右上の ♩ が消えます。

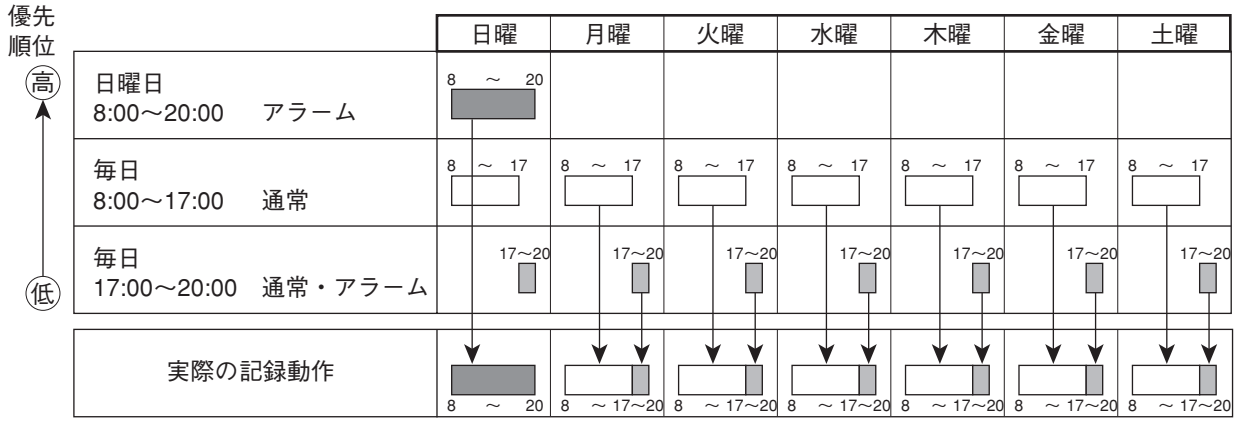
＜タイマー解除について＞
タイマー記録中は タイマー を**長押し（2秒以上）**してタイマーを解除（LED消灯）してください。

＜記録中や再生中に タイマー を押したときの動作＞
◎再生中（一時停止再生含む）は、再生を停止してタイマー動作をします。
◎記録中（手動記録、アラーム記録、プリアラーム記録）は、タイマー動作を行いません。
記録を停止してから タイマー を押してください。
＜電源の OFF や停電などで本機の電源を落としたときのタイマー動作＞
◎電源投入や停電が復帰して本機が立ち上がったときは、タイマー待機状態（タイマー の LED 点灯）は解除されます。
タイマー動作を継続させたい場合は、“便利機能：電源 ON 時の記録動作を設定する”（☞ 97 ページ）を参照して、停電復帰を ON にしてください。

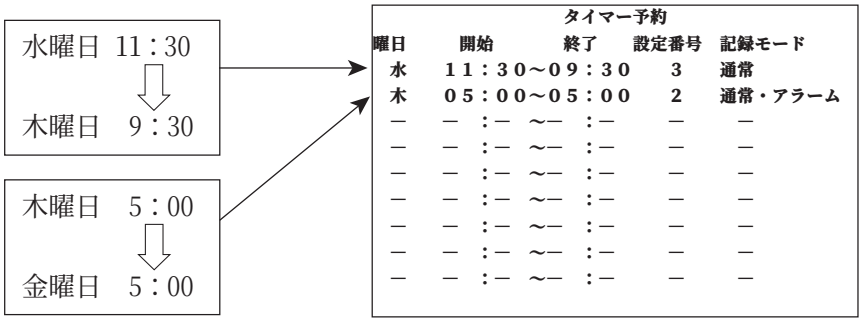
タイマーの詳しい動作について

◎タイマー予約で記録時間が重なっている場合は、上の方にプログラムされている時刻が優先的に記録されます。



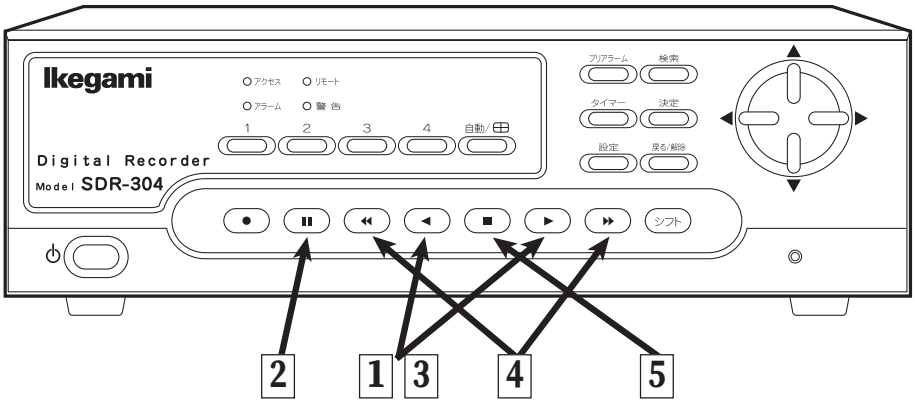


◎タイマー予約で日付をまたぐ予約は、開始時刻より早い終了時刻または同じ時刻を設定すると翌日の時刻になります。



再生と特殊再生

ハードディスクに記録した映像を再生する方法です。



再生と逆再生

1　(▶) を押すと再生し (◀) を押すと逆再生を開始し LED が点灯します。

一時停止

2　再生中に (⏸) を押すと再生を一時停止し LED が点灯します。一時停止中に再度押すと LED が消灯し通常再生になります。

コマ送りとコマ戻し

3　一時停止中（(⏸) の LED 点灯中）に (▶) を押すとコマ送り、(◀) を押すとコマ戻しができ LED が点灯します。

早送りと巻き戻し

4　再生中（(▶) の LED 点灯中）に (⏩) を押すと早送りし、(⏪) を押すと巻き戻しができます。

◎早送りや巻き戻し中に再度ボタンを押すと、再生速度が変わります。
- 早送り：　再生中に (⏩) を押すと下記のように再生速度が順方向に速くなります。
  ▶×1 →▶×2 →▶×5 →▶×10 →▶×MAX
- 巻き戻し：再生中に (⏪) を押すと下記のように再生速度が逆方向に速くなります。
  ◀×1 →◀×2 →◀×5 →◀×10 →◀×MAX

停止

5　再生中や一時停止中に (■) を押すと停止し、ライブの監視画面が表示されます。

＜チャンネル変更時の動作説明＞
◎一時停止中にチャンネルを変えると、一時停止を解除し順方向の再生を行います。

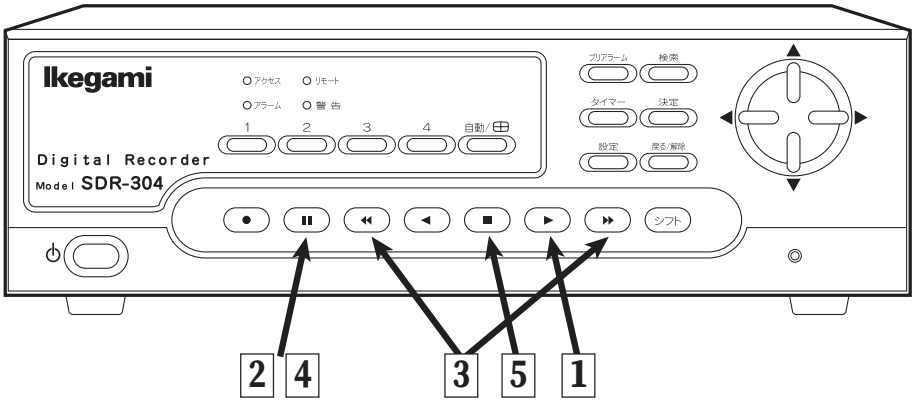
ご注意

一時停止中は、設定 自動/ プリアラーム 検索 の操作は無効となります。

再生方法　頭出し再生

頭出し再生

ハードディスクに記録した映像を頭出し再生する方法です。



頭出し再生

1　(▶) を押して再生を開始します。

2　再生中に(⏸) を押して再生を一時停止します。

3　一時停止状態で (⏩) を押すと順方向の頭出し、(⏪) を押すと逆方向の頭出しで一時停止表示されます。

4　(⏸) を 押すと一時停止が解除され再生が開始します。

停　止

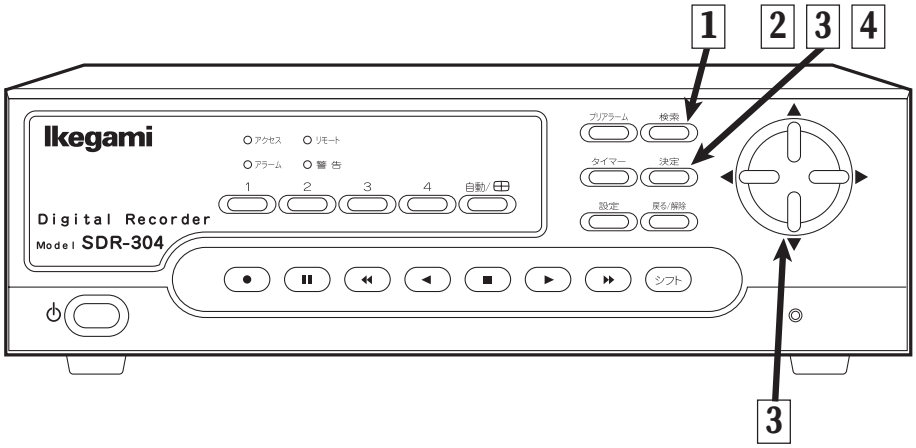
5　再生中や一時停止中に (■) を押すと停止し、ライブの監視画面が表示されます。

＜頭出しとは？＞
◎記録を開始した先頭を表示することです。
◎頭出しの時刻一覧を表示するには、検索 →頭出し検索で確認できます。
◎詳しくは、“基本操作：頭出し検索”（☞ 43 ページ）を参照してください。

検索方法　頭出し検索　その1

頭出し検索

ハードディスクに記録した映像の頭出し検索をする方法です。



1　検索 を押して検索メニューを表示します。

検索メニュー

1．頭出し検索
2．時刻検索
3．アラーム検索

2　1．頭出し検索 で 決定 を押します。

頭出し検索

〈前へ〉 〈次へ〉

年	月	日	時	分	秒	
04／	11／	28	11：	32：	46	フロントSW
04／	11／	28	09：	02：	57	アラーム1
04／	11／	27	15：	30：	00	タイマー
04／	11／	27	08：	35：	18	プリアラーム2
04／	11／	27	06：	19：	32	ネットワーク
04／	11／	26	23：	00：	00	通信
04／	11／	26	19：	45：	11	アラーム3
04／	11／	26	09：	37：	31	通信

1／3

「日付」「時刻」「記録動作」「ページ数」

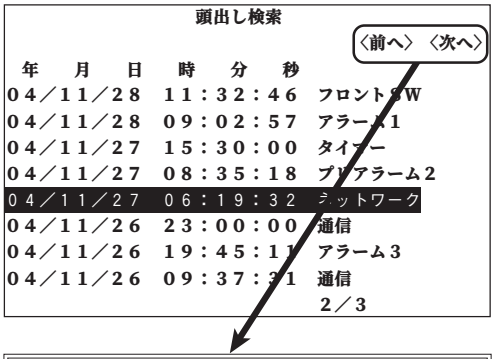
戻る/解除 を押すと1の検索メニューへ戻ります。

＜頭出し検索画面の説明＞
1）日付：記録した西暦／月／日の表示
2）時刻：記録した時：分：秒の表示
3）記録動作
◎フロントSW　：手動で記録
◎通信　：RS-232Cのリモート記録
◎ネットワーク　：LANのリモート記録
◎タイマー　：タイマーによる記録
◎アラーム＊　：外部入力端子からの入力で動作するアラーム記録。＊はアラームの入力したCH1～CH4の番号。
詳しくは、“基本操作：アラーム入力で記録”（☞ 34 ページ）
◎プリアラーム＊：アラームが入力される最大 5 秒前から記録されるアラーム記録。＊はアラームの入力したCH1 ～ CH4 の番号。
詳しくは、“応用操作:アラームが入力される前を記録”（☞ 52 ページ）
4）ページ数：現在のページ／総ページ数

一覧表示されているリストは、最新時刻が一番上に表示されます。

検索方法　頭出し検索　その2

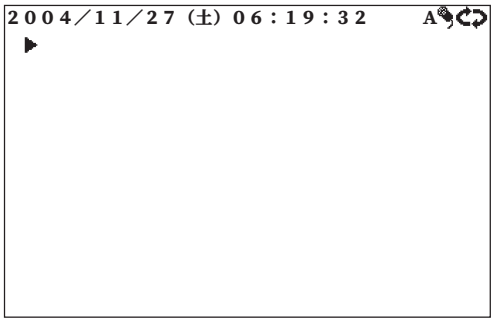
3　希望の日時まで の上下キーで移動し 決定 を押します。



ページが複数ある場合（1/1以外のとき）決定を押すと下記の動作をします。
◎＜前へ＞：一つ前のページに戻ります。
◎＜次へ＞：次のページを表示します。

頭出し検索の実行

4　一覧表示されている時刻で 決定 を押すと選択した時刻を頭出し再生します。

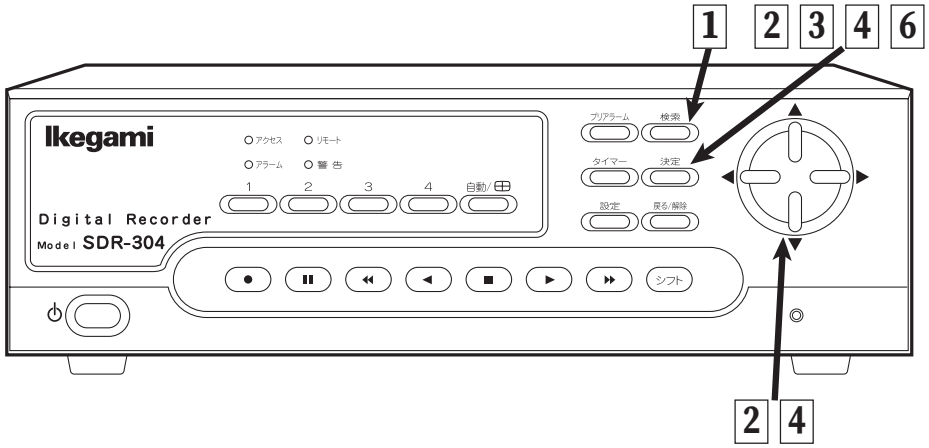


＜頭出し検索の説明＞
◎頭出し検索の再生画面（表示モード）は、検索 を押した直前の画面と同じ表示モードで再生されます。
＜例えば＞
◎1画面のときに検索を押して検索を実行したら、1 画面で再生されます。CH2～CH4 を記録していない場合、CH2を表示しているときに検索を実行すると記録されている時刻を再生するまで黒表示になります。
＜ハードディスクに何も記録されていないとき＞
◎検索メニューを表示すると“記録映像がありません。”というメッセージが表示されます。

検索方法　時刻検索　その1

時刻検索

ハードディスクに記録した映像の時刻検索をする方法です。



1　検索 を押して検索メニューを表示します。

検索メニュー

1．頭出し検索
2．時刻検索
3．アラーム検索

2　2．時刻検索まで の上下キーで移動し 決定 を押します。

時刻検索

〈実行〉

年　月　日　時　分
2004／12／24　17：25

始めは現在時刻が表示されています。

戻る/解除 を押すと1の検索メニューへ戻ります。

3　決定 を押します。

時刻検索

〈実行〉

年　月　日　時　分
2004／12／24　17：25

4　の上下キーで年を設定し 決定 を押して反転表示が隣へ移動したら確定されます。
（例　2004年）

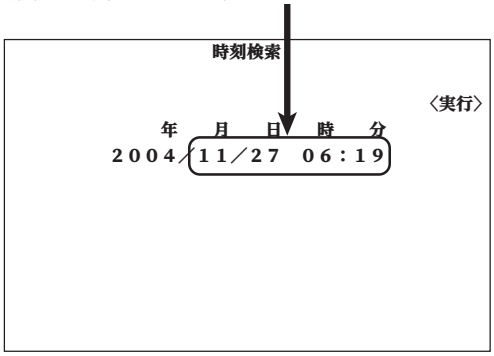
時刻検索

〈実行〉

年　月　日　時　分
2004／12／24　17：25

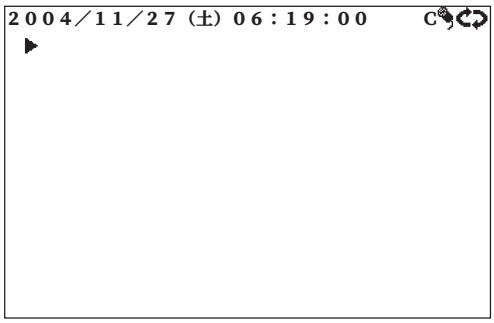
検索方法　時刻検索　その2

5　3〜4の方法で月日時分を設定します。
（例　11月27日06時19分）



時刻検索の実行

6　実行で 決定 を押すと設定した時刻が再生します。

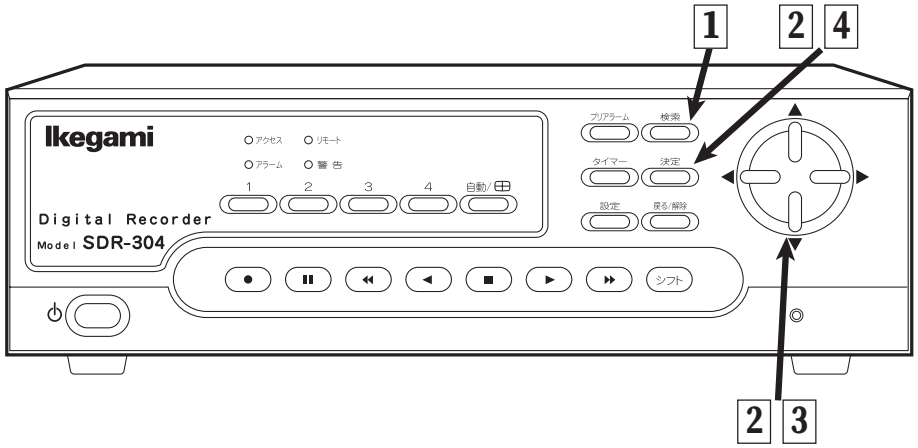


＜時刻検索の説明＞
◎時刻検索の再生画面（表示モード）は、検索 を押した直前の画面と同じ表示モードで再生されます。
＜例えば＞
◎１画面のときに検索を実行したら１画面で再生されます。CH2〜CH4を記録していない場合、CH2を表示しているときに検索を実行すると記録されている時刻を再生するまで黒表示になります。
＜該当時刻がなかったとき＞
◎設定された時刻がない場合は、設定した時刻より後の最も近い時刻が再生されます。
＜ハードディスクに何も記録されていないとき＞
◎検索メニューを表示すると“記録映像がありません。”というメッセージが表示されます。

検索方法　アラーム検索　その1

アラーム検索

ハードディスクに記録した映像のアラーム検索をする方法です。



1　検索 を押して検索メニューを表示します。

```
検索メニュー

1．頭出し検索
2．時刻検索
3．アラーム検索
```

2　3．アラーム検索 まで ✣ の上下キーで移動し 決定 を押します。

```
アラーム検索
                    〈前へ〉 〈次へ〉
 年   月   日   時   分   秒
04／11／28  11：32：46  アラーム3
04／11／28  09：02：57  アラーム1
04／11／27  15：30：00  アラーム3
04／11／27  08：35：18  アラーム2
04／11／27  06：19：32  プリアラーム3
04／11／26  23：00：00  プリアラーム1
04／11／26  19：45：11  プリアラーム3
04／11／26  09：37：31  プリアラーム2
                    1／3
```

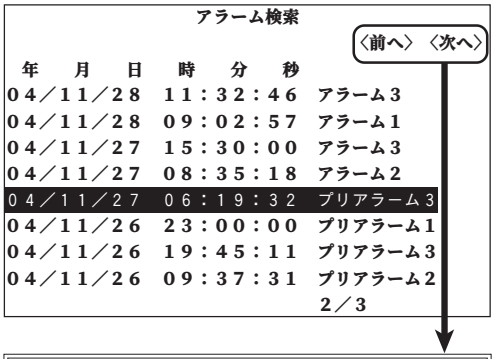
「日付」「時刻」「記録動作」「ページ数」

戻る/解除 を押すと 1 の検索メニューへ戻ります。

＜アラーム検索画面の説明＞
1）日付：記録した西暦／月／日の表示
2）時刻：記録した時：分：秒の表示
3）記録動作
◎アラーム＊　：外部入力端子からの入力で動作するアラーム記録。＊はアラーム入力したCH1～4の番号。詳しくは、“基本操作：アラーム入力で記録”（☞ 34 ページ）
◎プリアラーム＊：アラームが入力される最大 5 秒前から記録されるアラーム記録。＊はアラーム入力したCH1 ～ 4 の番号。詳しくは、“応用操作：アラームが入力される前を記録”（☞ 52 ページ）
4）ページ数：現在のページ／総ページ数（最大 20 ページ）

検索方法　アラーム検索　その2

3　希望の時刻まで の上下キーで移動します。



ページが複数ある場合（1/1以外のとき）決定を押すと下記の動作をします。
◎＜前へ＞：一つ前のページに戻ります。
◎＜次へ＞：次のページを表示します。

アラーム検索の実行

4　決定 を押すと選択した時刻を頭出し再生します。

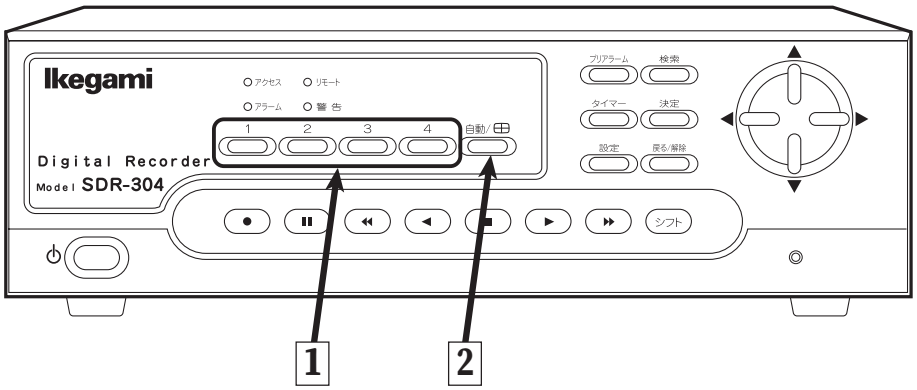
＜アラーム検索の説明＞
◎アラーム検索の再生画面（表示モード）は、検索 を押した直前の画面と同じ表示モードで再生されます。
＜例えば＞
◎１画面のときに検索を実行したら１画面で再生されます。CH2～CH4を記録していない場合、CH2を表示しているときに検索を実行すると記録されている時刻を再生するまで黒表示になります。
＜ハードディスクに何も記録されていないとき＞
◎検索メニューを表示すると“記録映像がありません。”というメッセージが表示されます。

ご注意

◎ホールド時間内に連続してアラーム入力があった場合、二番目以降のアラームは一番最初のアラームに含まれてホールド時間が延長されます。
途中のアラーム記録（二番目以降のアラーム記録）を検索したい場合は、情報→ログ→アラーム（便利機能：ログで詳細な動作確認 ☞ 91 ページ）でアラーム発生時刻を確認し、時刻検索（基本機能：時刻検索 ☞ 45 ページ）を行うことで確認が可能です。

画面操作

現在の監視映像（ライブ映像）や再生映像を１画面、４画面、自動切替で見る方法です。



１画面表示

1　待機中・記録中・再生中に 1 ～ 4 を押すと１画面表示したいチャンネルが表示されます。

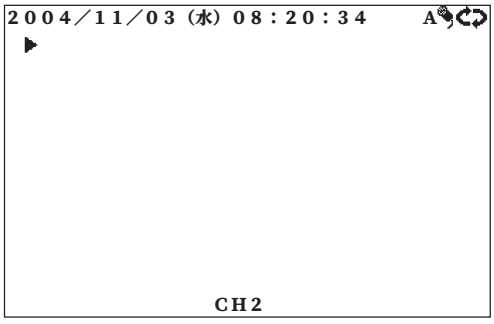
（例：CH2）

現在の監視映像（ライブ映像）や再生映像を１画面表示します。記録や再生の方法は、

“ 基本操作：記録方法 ”（☞ 32 ～ 40 ページ）

“ 基本操作：再生方法 ”（☞ 41 ～ 42 ページ）

を参照してください。



４画面表示と自動切替表示

2　１画面表示中に 自動/ を押すと自動切替を行い、自動切替中に 自動/ を押すと４画面表示になります。

（例）

１ 画面表示→ 自動/ →自動切替表示→ 自動/ →４画面表示→ 自動/ →

自動切替表示→・・・

＜画面のチャンネル切替の説明＞

◎再生の一時停止中にチャンネルを変えると、一時停止を解除し順方向の再生を行います。

＜自動切替動作の説明＞

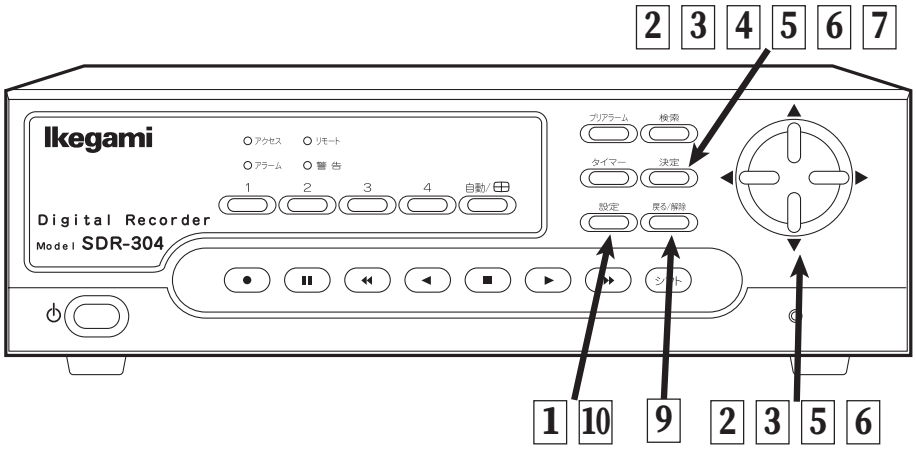
◎詳しい切替動作の設定は、“応用操作：画面の切替時間を変更”（☞ 61 ページ）

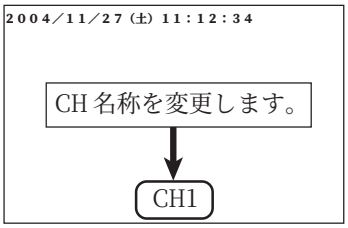
映像の表示　CH名称を設定　その1

CH名称を設定

各チャンネルごとに、チャンネルの名称を最大16文字まで入れることができます。CH名称を入れることでカメラが設置されている場所の確認がしやすくなります。CH名称などの文字がじゃまなときは、(シフト)の長押し（2秒以上）で簡単に表示のON/OFFができます。

4画面表示の操作方法は、“基本操作：画面操作”（☞49ページ）、CH名称のON/OFFは、“便利機能：シフトによる便利機能”（☞100ページ）を参照してください。





1　(設定)を押して設定メニューを表示します。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク

2　の左右キーで表示へ移動し(決定)を押します。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

文字表示	時刻	：ON1	年／月／日
表示位置	画質	：ON	A　B　C
CH名称	音声	：ON	
画面制御	記録状態	：ON	
	モード	：ON	
	キー操作	：ON	
	異常	：ON	
	ロック	：ON	
	CH名称	：ON	

3　の上下キーでCH名称へ移動し(決定)を押してください。

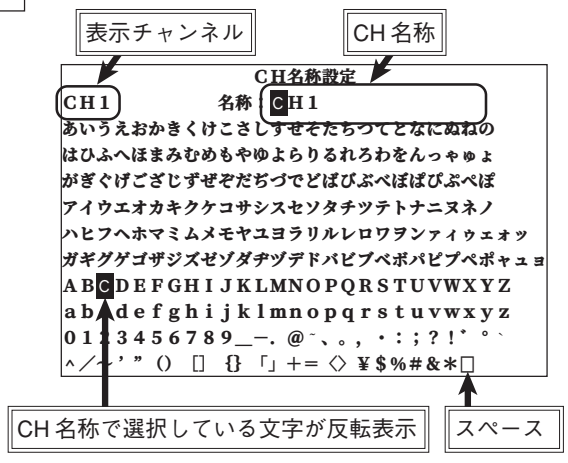
設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

文字表示	CH	
表示位置	1	：CH1
CH名称	2	：CH2
画面表示	3	：CH3
	4	：CH4

① ②

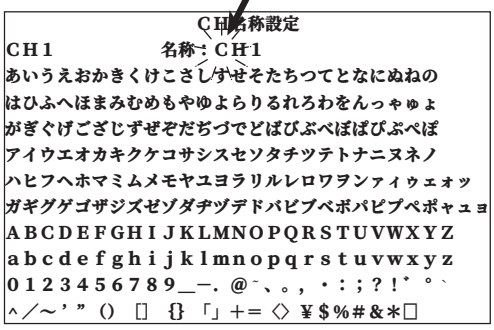
① チャンネル番号
② 現在設定されているCH名称が表示されます。

4　変更したいチャンネルで(決定)を押してください。

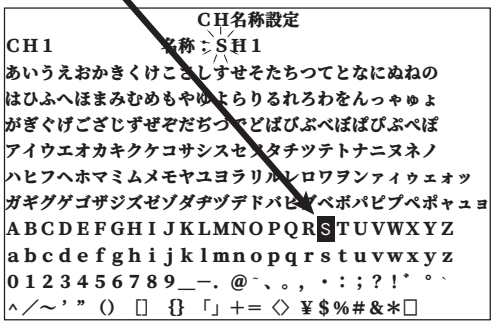


映像の表示　CH名称を設定　その2

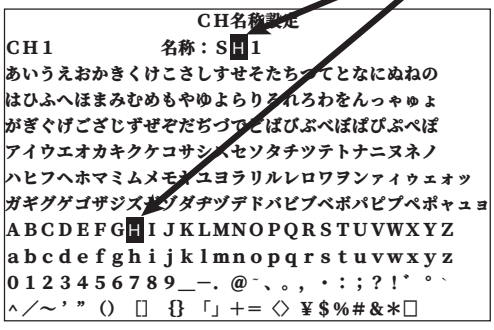
5　修正したい文字まで ✣ の左右キーで移動し 決定 を押して点滅表示にしてください。



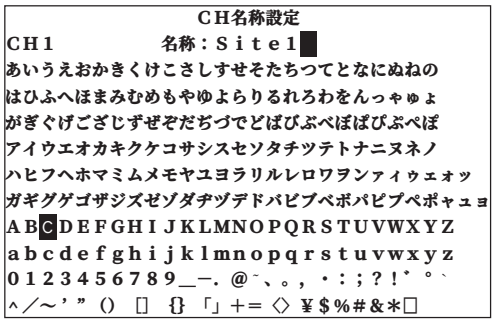
6　設定したい文字まで ✣ の上下左右キーで反転表示を移動させてください。
（例　Site1）



7　決定 を押して確定すると反転表示が隣の文字へ移動します。



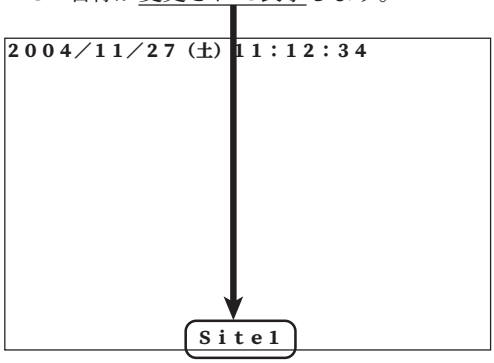
8　5～7を繰り返してCH名称を入力してください。



9　他のチャンネルのCH名称を変更したい場合は、戻る/解除 を押して3の画面に戻りチャンネルを選択してください。

10　CH名称の変更が完了したら 設定 を押します。設定メニューが消え設定内容が保存されます。

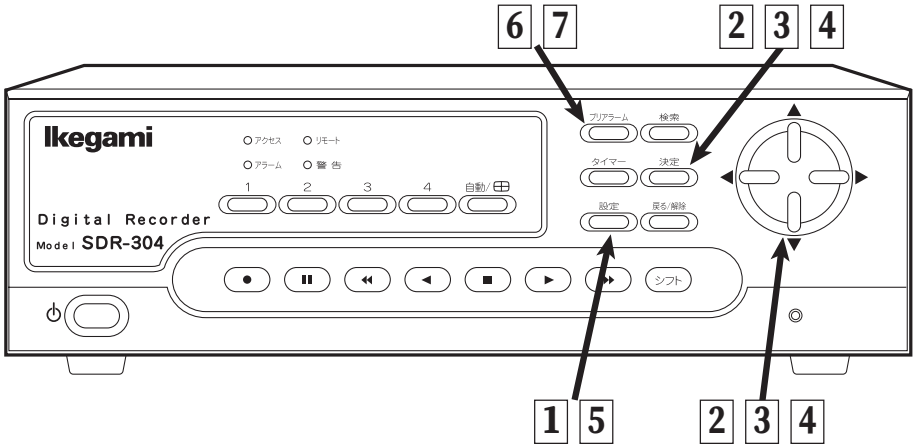
11　CH 名称が変更されて表示します。



＜CH 名称＞
CH名称は、一覧表示されている、ひらがな・カタカナ・英数字・記号から選択し最大16文字の設定ができます。

アラームが入力される前を記録（プリアラーム記録）

プリアラームはアラーム発生時から最大５秒前の映像と音声を記録することができます。



1　設定 を押して設定メニューを表示します。

```
設定メニュー
 情報  記録  表示  制御  ネット  時刻  初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク
```

2　の左右キーで記録へ移動し 決定 を押します。

```
設定メニュー
 情報  記録  表示  制御  ネット  時刻  初期化
                設定番号     ：1
通常記録        記録モード   ：通常        アラーム
通常動作        →画質          B           A
タイマー予約    →音声          OFF         ON
基本動作        →記録間隔      1／5秒      1／30秒
                →動作                      インターリーブ
                →ホールド時間              00分10秒
                →アラーム出力              ON
                →ブザー音                  ON
                →設定CH     1  2  3  4
```

3　の上下キーで通常動作へ移動し 決定 を押します。

```
記録動作設定
設定番号：  1
記録モード    通常        アラーム        プリアラーム
画質          ：B         ：A             ：←
音声          ：OFF       ：ON            ：←
記録間隔      ：1／5秒    ：1／30秒       ：←
      動作                ：インターリーブ
      ホールド時間        ：00分10秒      ：←
      アラーム出力        ：ON            ：←
      ブザー音            ：ON            ：←
      プリアラーム時間                    ：5秒
設定CH      ：1  2  3  4
```

4　の上下キーと 決定 でプリアラーム時間の設定を行います。

```
記録動作設定
設定番号：  1
記録モード    通常        アラーム        プリアラーム
画質          ：B         ：A             ：←
音声          ：OFF       ：ON            ：←
記録間隔      ：1／5秒    ：1／30秒       ：←
      動作                ：インターリーブ
      ホールド時間        ：00分10秒      ：←
      アラーム出力        ：ON            ：←
      ブザー音            ：ON            ：←
      プリアラーム時間                    ：5秒
設定CH      ：1  2  3  4
```

画質　　：アラームと同じ動作です。
音声　　：アラームと同じ動作です。
記録間隔：アラームと同じ動作です。
動作　　：アラームと同じ動作です。
（基本操作：図解：アラームの記録動作について☞ 36 ページ）
プリアラーム時間：1秒～5秒の範囲で選択します。

5　設定 を押します。設定メニュー画面が消え設定内容が保存されます。

プリアラーム機能の実行

6　プリアラーム待機状態にするため プリアラーム を押して LED を点灯させます。

プリアラーム機能の解除

7　プリアラーム機能（アラーム待機状態）を解除するため プリアラーム を押してLEDを消灯させます。

＜プリアラーム解除について＞
記録中は プリアラーム を **長押し（2秒以上）**してプリアラームを解除（LED消灯）してください。

＜プリアラーム機能とは？＞
◎アラームが入力されると、最大 5 秒前からの映像を記録することができます。
アラーム入力後、ホールド時間を過ぎると記録が停止し、再びプリアラーム待機状態となります。
＜プリアラーム記録の停止＞
◎手動記録と同じようにの ■ の長押し（2秒以上）でプリアラーム記録を停止します。
また プリアラーム の長押し（2秒以上）でプリアラームを解除しても記録を停止します。
＜電源の OFF や停電などで本機の電源を落としたときのプリアラーム動作＞
◎電源投入や停電が復帰して本機が起動したときは、プリアラーム待機状態（プリアラーム のLED点灯）は解除されます。
プリアラーム動作を継続させたい場合は、“便利機能：電源ON時の記録動作を設定する”（☞ 97ページ）を参照して、停電復帰を ON にしてください。

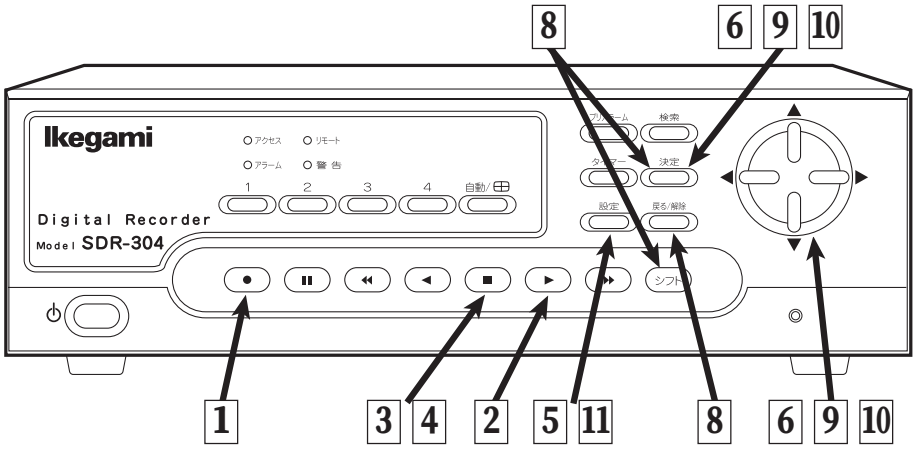
ご注意

◎プリアラーム機能実行中は、マニュアル操作での ● と ► は行えません。
マニュアルで ● と ► を操作する場合はプリアラーム機能を上記7で解除してから行ってください。
◎プリアラーム記録は、アラーム LED が消灯してからプリアラーム時間だけ記録します。したがって、アラーム LED が消灯していても、● の LED とアクセス LED はプリアラーム時間だけ点灯し記録を続けます。

記録しながらの再生（同時録再）

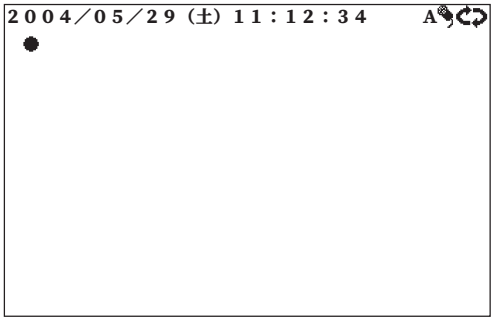
記録を止めることなく任意のカメラ映像を再生できます。ただし、音声は再生しません。

記録しながらの再生は、1/5 秒～ 10 秒で記録しているときに可能です。1/30 秒・1/15 秒・1/10 秒で記録中、タイマー記録（待機）中、プリアラーム記録（待機）中、アラーム記録（待機）中には動作しません。



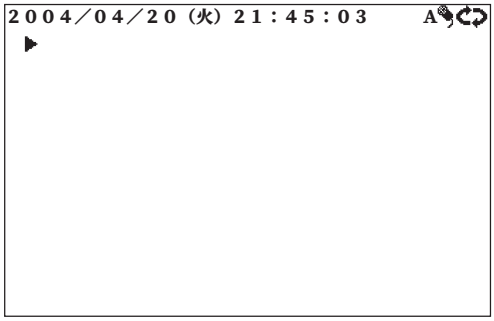
記録の開始

1　（●）を押します。画面上に●が表示され記録が開始します。



再生の開始

2　（►）を押します。画面上に▶が表示され再生が開始します。



フロントパネルの（●）と（►）の LED が両方点灯します。

◎ 1、2 の操作は順不同ですので記録しながらの再生は「記録中に再生を開始」「再生中に記録を開始」のどちらでも動作します。
◎記録しながらの再生は、（●）の LED と（►）の LED が両方ともに点灯します。
◎記録を停止する場合は、はじめに（■）で再生を停止してください。記録だけ停止することはできません。
◎動作中の画面表示は、全て再生画面になります。時計表示も再生の時刻になります。

再生の停止

3　（■）を押します。再生が停止します。

記録の停止

4　再生が停止状態のとき、（■）を長押し（2 秒以上）すると記録が停止します。

再生　記録しながらの再生（同時録再）　その２

記録しながらの再生ができないときは、以下の手順で記録間隔を確認、変更してください。
記録間隔が 1/30 秒、1/15 秒、1/10 秒のときは記録しながらの再生はできませんので、記録間隔を 1/5 秒～ 10 秒に設定してください。

記録間隔の確認

5　設定 を押して設定メニューを表示します。

```
設定メニュー
情報 記録 表示 制御 ネット 時刻 初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク
```

6　の左右キーで記録へ移動し 決定 を押してください。

```
設定メニュー
情報 記録 表示 制御 ネット 時刻 初期化
          設定番号     ：4
通常記録  記録モード   ：通常        アラーム
記録動作  →画質          A           A
タイマー予約 →音声        ON          ON
基本動作  →記録間隔      1／30秒     1／15秒
          →記録動作                  インターリーブ
          →ホールド時間              00分10秒
          →アラーム出力              ON
          →ブザー音                  ON
          →設定CH      1  2  3  4
```

7　通常の記録間隔を確認してください。
1/5 秒～ 10 秒になっていますか？
（例　設定番号：4）

```
設定メニュー
情報 記録 表示 制御 ネット 時刻 初期化
          設定番号     ：4
通常記録  記録モード   ：通常        アラーム
記録動作  →画質          A           A
タイマー予約 →音声        ON          ON
基本動作  →記録間隔      1／30秒     1／15秒
          →記録動作                  インターリーブ
          →ホールド時間              00分10秒
          →アラーム出力              ON
          →ブザー音                  ON
          →設定CH      1  2  3  4
```

記録間隔の変更

8　戻る/解除 →記録動作→設定番号 と移動するかまたは シフト と 決定 を同時に押して設定番号まで移動してください。

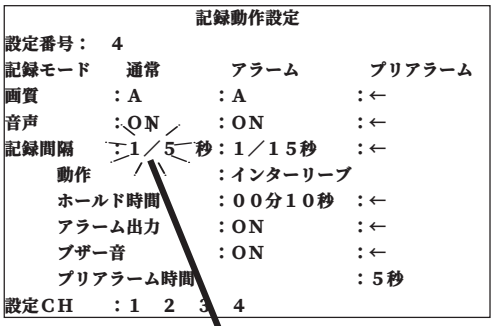
```
記録動作設定
設定番号：  4
記録モード    通常          アラーム        プリアラーム
画質          ：A           ：A             ：←
音声          ：ON          ：ON            ：←
記録間隔      ：1／30秒     ：1／15秒       ：←
      動作                  ：インターリーブ
      ホールド時間          ：00分10秒      ：←
      アラーム出力          ：ON            ：←
      ブザー音              ：ON            ：←
      プリアラーム時間                      ：5秒
設定CH      ：1  2  3  4
```

9　の上下キーと 決定 で設定番号を4にしてください。

```
記録動作設定
設定番号：  4
記録モード    通常          アラーム        プリアラーム
画質          ：A           ：A             ：←
音声          ：ON          ：ON            ：←
記録間隔      ：1／30秒     ：1／15秒       ：←
      動作                  ：インターリーブ
      ホールド時間          ：00分10秒      ：←
      アラーム出力          ：ON            ：←
      ブザー音              ：ON            ：←
      プリアラーム時間                      ：5秒
設定CH      ：1  2  3  4
```

再生　記録しながらの再生（同時録再）　その3

10　記録間隔 まで移動し の上下キーと 決定 で1/5秒～10秒の間で設定してください。



記録間隔：1/5秒～10秒の範囲で選択します。
（1/30秒、1/15秒、1/10秒を選択した場合記録しながらの再生動作は行いません。）

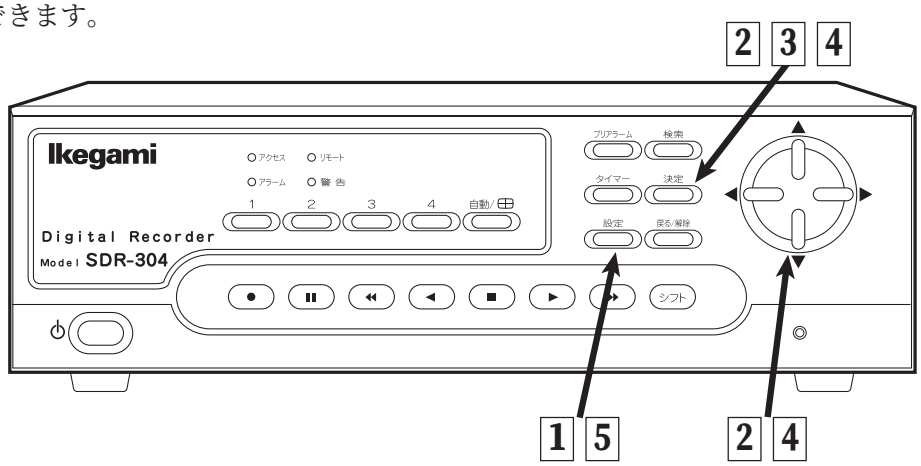
11　設定 を押します。設定メニュー画面が消え設定内容が保存されます。

ご注意

◎記録しながらの再生は、「記録間隔」の設定が1/5秒～10秒までとなります。記録しながらの再生スピードは、記録中の記録間隔によって遅くなる場合があります。
例えば、「記録間隔」を1/5秒に設定して記録しながらの再生を行ったときは、再生する映像が1/30秒で記録されていても1/20秒で再生します。
◎記録しながらの再生中の音声は、音声が記録されていても出力しません。

アイコンと文字の表示と非表示

ライブ画面と再生画面に表示されているアイコン・時刻・カメラ名称などをそれぞれ表示／非表示することができます。



1　設定 を押して設定メニューを表示します。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク

2　の左右キーで表示へ移動し 決定 を押してください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

文字表示	時刻	：ON1	年／月／日
表示位置	画質	：ON	A　B　C
CH名称	音声	：ON	
画面制御	記録状態	：ON	
	モード	：ON	
	キー操作	：ON	
	異常	：ON	
	ロック	：ON	
	CH名称	：ON	

3　文字表示 で 決定 を押してください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

文字表示	時刻	：ON1	年／月／日
表示位置	画質	：ON	A　B　C
CH名称	音声	：ON	
画面制御	記録状態	：ON	
	モード	：ON	
	キー操作	：ON	
	異常	：ON	
	ロック	：ON	
	CH名称	：ON	

4　表示例を参考にしながら の上下キーと 決定 で制御文字の表示・非表示の設定を行います。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

文字表示	時刻	：ON1	年／月／日
表示位置	画質	：ON	A　B　C
CH名称	音声	：ON	
画面制御	記録状態	：ON	
	モード	：ON	
	キー操作	：ON	
	異常	：ON	
	ロック	：ON	
	CH名称	：ON	

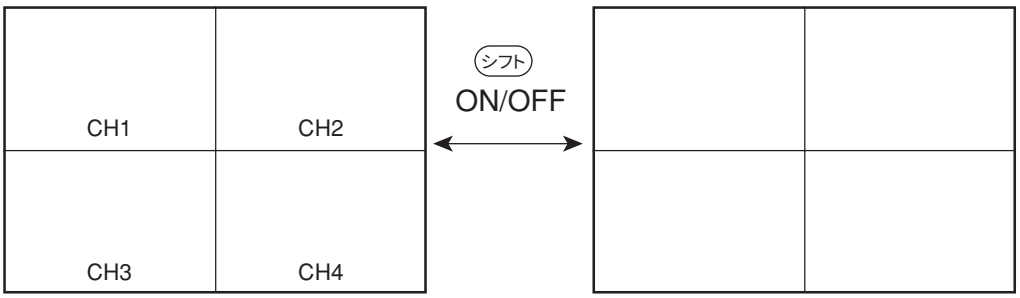
時刻	：時刻表示が ON/OFF します。 1・2・3 の数字によって時刻が表示される全ての画面の表示方法が変わります。 1…年／月／日 2…月／日／年 3…日／月／年
画質	：画質表示が ON/OFF します。
音声	：音声表示のアイコンが ON/OFF します。
記録状態	：ワンパス記録・リピート記録表示のアイコンが ON/OFF します。
モード操作	：タイマー・プリアラーム表示のアイコンが ON/OFF します。
キー操作	：記録・再生・一時停止表示のアイコンが ON/OFF します。
異常	：アラーム・ビデオロス表示のアイコンが ON/OFF します。
ロック	：ロック表示のアイコンが ON/OFF します。
CH 名称	：CH 名称が ON/OFF します。

5　設定 を押します。設定メニュー画面が消え設定内容が保存されます。

＜簡単に全てのアイコンと文字表示を ON/OFF する方法＞

4 画面表示で、文字表示がじゃまで監視映像（ライブ映像）や再生映像が見づらいときなどは、シフト を長押し（2 秒以上）すると簡単に表示の ON/OFF ができます。そのときは シフト の LED は点灯しません。

1 画面と 4 画面表示中に ON/OFF が可能です。



ご注意

〈時刻表示について〉

時刻表示は

ON1 → ON2 → ON3 → OFF1 → OFF2 → OFF3

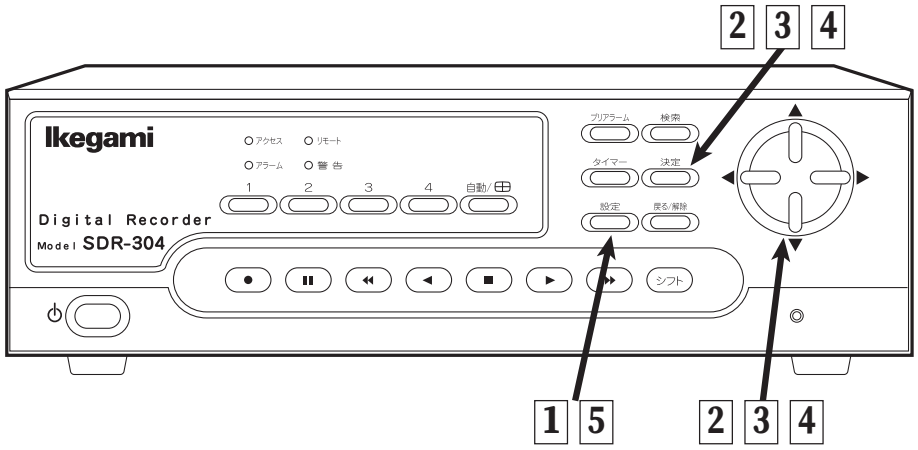
の 6 種類から選択できます。

この時刻表示の設定は時刻が表示される、ライブ画面・再生画面・ログ画面・現在時刻設定画面・検索画面に適用されます。

◎ON1　：ライブ画面・再生画面の時刻を表示して、年／月／日にします。
◎ON2　：ライブ画面・再生画面の時刻を表示して、月／日／年にします。
◎ON3　：ライブ画面・再生画面の時刻を表示して、日／月／年にします。
◎OFF1 ：ライブ画面・再生画面の時刻を非表示にして、年／月／日にします。
◎OFF2 ：ライブ画面・再生画面の時刻を非表示にして、月／日／年にします。
◎OFF3 ：ライブ画面・再生画面の時刻を非表示にして、日／月／年にします。

アイコンと文字の表示位置を変更

画面に表示されているアイコン・時刻・CH 名称などの表示位置を変更することができます。



1　設定 を押して設定メニューを表示します。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク

2　の左右キーで表示へ移動し 決定 を押してください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

文字表示	時刻	：ON1　年／月／日
表示位置	画質	：ON　A　B　C
CH名称	音声	：ON
画面制御	記録状態	：ON
	モード	：ON
	キー操作	：ON
	異常	：ON
	ロック	：ON
	CH名称	：ON

3　の上下キーで表示位置へ移動し 決定 を押してください。

2004／01／01（木）23：59：59　A
●99時間99分
表示位置設定番号：1
CH名称表示位置CH名称表示位置

4　表示位置設定番号1～8の8種類から の上下キー選択し 決定 で確定してください。

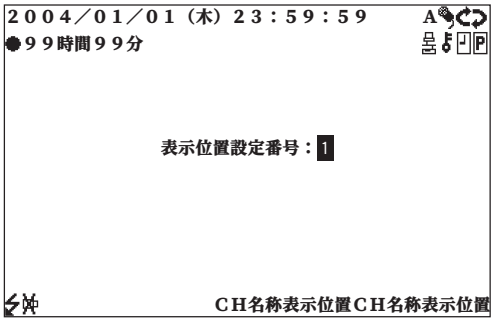
2004／01／01（木）23：59：59　A
●99時間99分
表示位置設定番号：1
CH名称表示位置CH名称表示位置

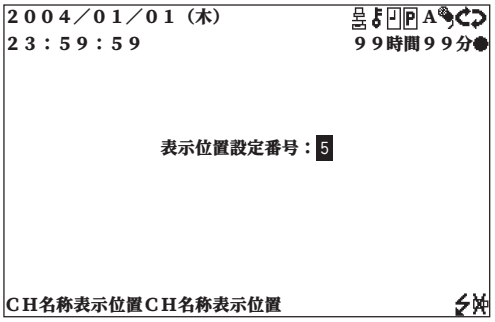
5　設定 を押します。設定メニュー画面が消え設定内容が保存されます。

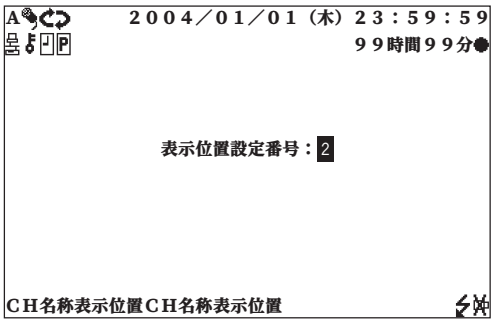
＜表示位置設定画面の説明＞
設定番号 1 ～ 8 の表示位置の画面例は、“応用操作：アイコンと文字の表示位置一覧”（☞ 60 ページ）を参照してください。

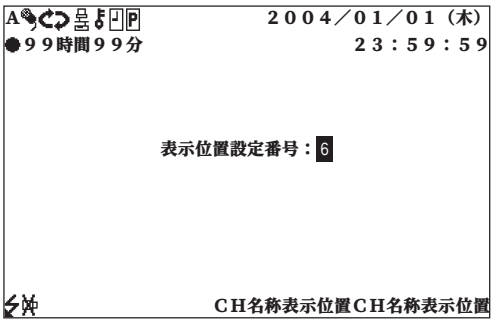
アイコンと文字の表示位置一覧

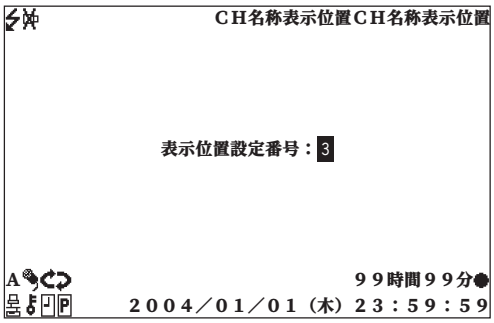
表示位置は設定番号１～８の８種類から選択できます。工場出荷設定の設定番号は**1**です。

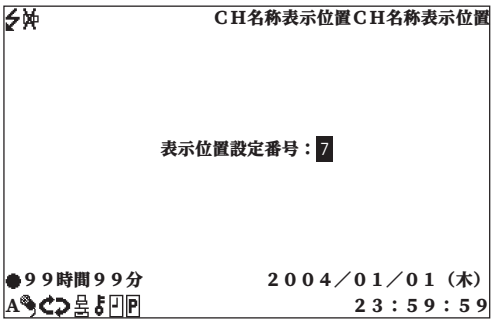


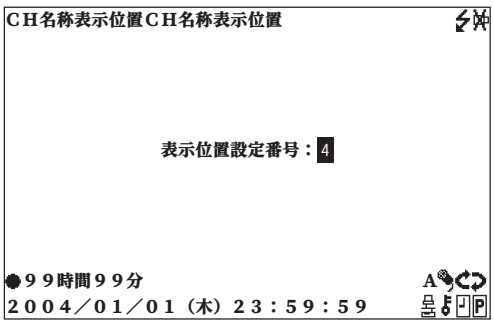


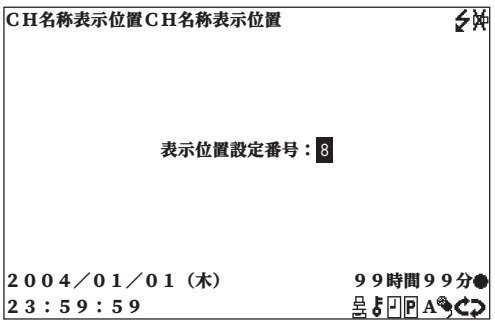








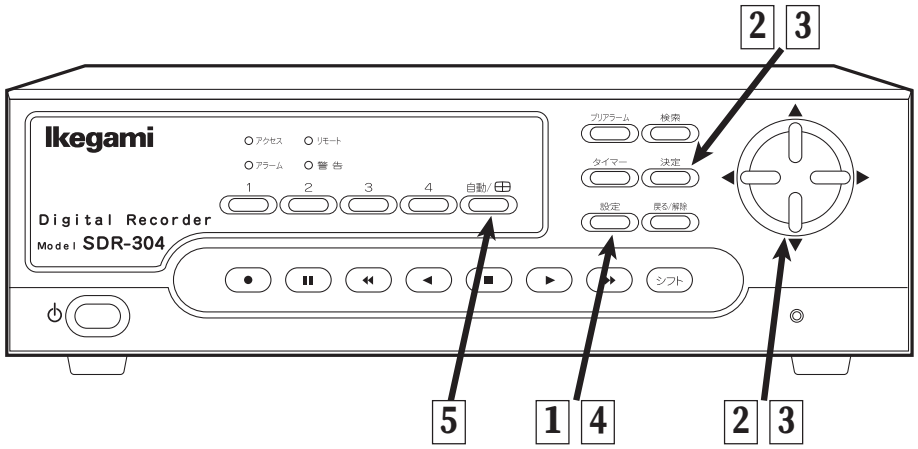




表示　画面の切替時間を変更　その１

画面の切替時間を変更

４画面表示のときに 自動/⊞ を押したときに行われる１画面表示の自動切替時間を設定します。



1　設定 を押して設定メニューを表示します。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク

2　の左右キーで表示へ移動し 決定 を押してください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

文字表示　時刻　：ON1　年／月／日
表示位置　画質　：ON　A　B　C
CH名称　音声　：ON
画面制御　記録状態：ON
モード　：ON
キー操作：ON
異常　：ON
ロック　：ON
CH名称：ON

3　の上下キーと 決定 で画面制御→自動切替時間と進んで自動切替時間を設定してください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

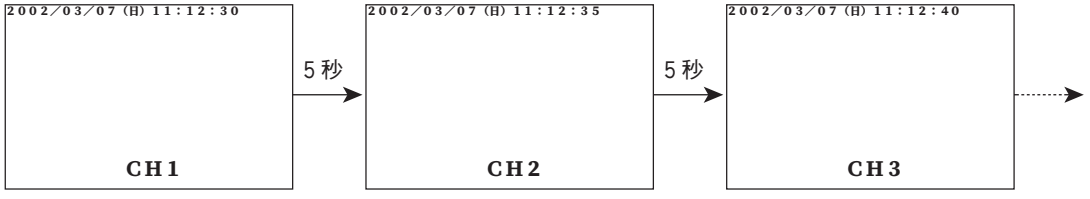
文字表示　自動切替時間　：２秒
表示位置　マスクCH　：OFF
CH名称　アラーム表示　：最新アラーム
画面制御　ビデオロス表示：OFF
ホールド時間：００分３０秒
初期表示　：CH1
スポット出力　：CH1

1秒～60秒の範囲で選択します。

4　設定 を押します。設定メニュー画面が消え設定内容が保存されます。

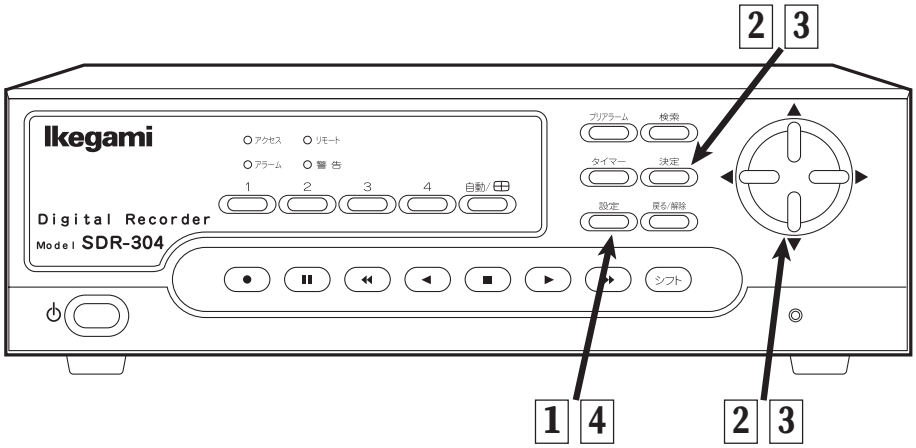
5　１画面表示または４画面表示になっていることを確認して 自動/⊞ を押します。設定した時間で１画面表示が自動的に切り替わります。

＜自動切替動作の説明＞
◎例えば、自動切替時間を５秒にすると動作は下図のようになります。



見せたくないチャンネルを非表示（マスクチャンネルの設定）

マスクチャンネルを設定することで、普段は見せたくない映像を画面から消すことができます。マスクチャンネルだけが画面から非表示になり記録は通常どおりに動作しますので、再生時には記録していた全てのチャンネルが表示されます。



1　設定 を押して設定メニューを表示します。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク

2　の左右キーで表示へ移動し 決定 を押してください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

文字表示
表示位置
CH名称
画面制御

時刻　：ON１　年／月／日
画質　：ON　A　B　C
音声　：ON
記録状態：ON
モード　：ON
キー操作：ON
異常　：ON
ロック　：ON
CH名称：ON

3　の上下キーと 決定 で画面制御→マスクＣＨと進んでマスクＣＨを設定してください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

文字表示
表示位置
CH名称
画面制御

自動切替時間　：２秒
マスクCH　：CH1
アラーム表示　：最新アラーム
ビデオロス表示：ＯＦＦ
ホールド時間：００分３０秒
初期表示　：CH1
スポット出力　：CH1

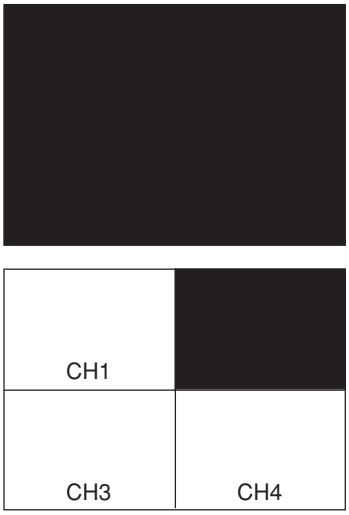
の上下キーを押すと
OFF → CH1 → CH2 → CH3 → CH4

の各チャンネルを設定できます。
OFFは、マスクチャンネルを無効にして全てのチャンネルを表示します。

4　設定 を押します。設定メニュー画面が消え設定内容が保存されます。

マスクチャンネルの動作

5　マスクチャンネルで設定したチャンネルは監視映像（ライブ映像）の１画面表示、４画面表示で黒表示になり映像を表示しません。
（例：２CHをマスクチャンネルに設定した場合）

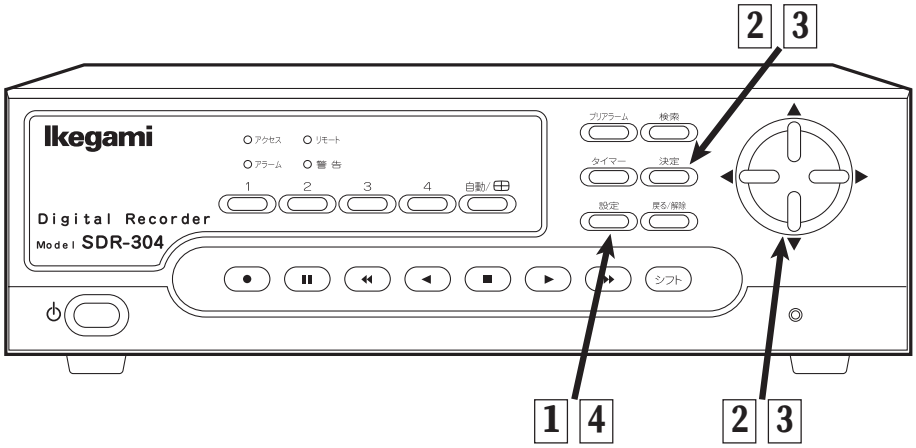


表示　アラーム発生時の表示方法を変更　その１

アラーム発生時の表示方法を変更

アラームが入力したときに、監視映像（ライブ映像）を表示する方法を設定します。

複数のアラーム入力を検出したときにアラーム入力したチャンネルを切り替えて表示(アラーム切替)したり、最新のアラームだけ表示（アラームCH）したり、表示動作をさせないようにすることができます。



1　設定 を押して設定メニューを表示します。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク

2　の左右キーで表示へ移動し 決定 を押してください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

文字表示	時刻	：ON	1 年／月／日
表示位置	画質	：ON	A B C
CH名称	音声	：ON	
画面制御	記録状態	：ON	
	モード	：ON	
	キー操作	：ON	
	異常	：ON	
	ロック	：ON	
	CH名称	：ON	

3　の上下キーと 決定 で画面制御→アラーム表示と進んでアラーム表示を設定してください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

文字表示	自動切替時間	：２秒
表示位置	マスクCH	：OFF
CH名称	アラーム表示	：最新アラーム
画面制御	ビデオロス表示	：OFF
	ホールド時間	：００分３０秒
	初期表示	：CH1
	スポット出力	：CH1

の上下キーを押すと

OFF→アラーム切替→最新アラーム

の３種類から表示動作を設定できます。

◎OFF　：アラーム入力時の切り替え表示はしません。

◎アラーム切替：複数のアラーム入力時に、アラーム入力チャンネルを切り替えて表示します。

◎最新アラーム：複数のアラーム入力時に、最新のアラーム入力チャンネルを表示します。

複数のアラーム入力が発生しない時は、アラーム切替でも最新アラームでも動作は一緒です。

4　設定 を押します。設定メニュー画面が消え設定内容が保存されます。

表示　アラーム発生時の表示方法を変更　その2

アラーム入力時の表示動作

5　アラームが入力したときに、アラーム記録動作とアラーム表示を行います。

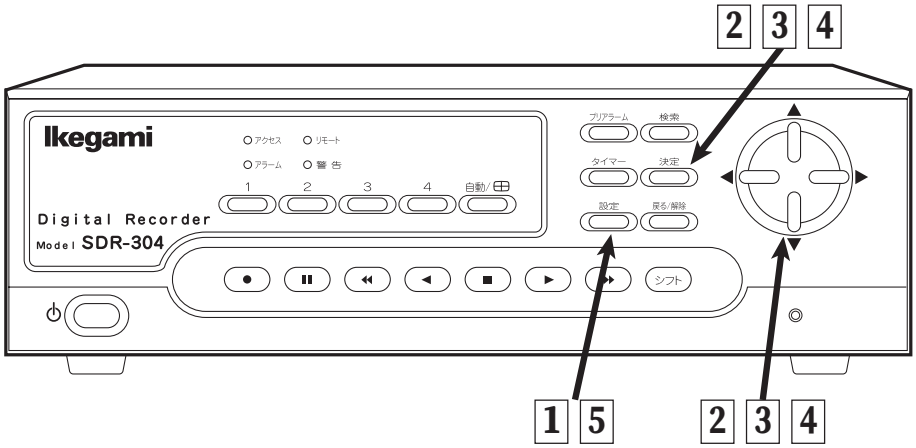
◎アラーム入力したときにアラーム記録したい場合は、“基本操作：アラーム入力で記録”（☞ 34 ページ）を参照してください。

ご注意

◎アラーム表示をする時間は、記録時間（アラーム入力した時間＋ホールド時間）だけアラーム表示を行います。ホールド時間の詳しい説明は、“基本操作：記録動作の詳細設定 8 ”（☞ 30 ページ）を参照してください。
◎表示→画面制御→アラーム表示のアラーム切替・最新アラーム・OFFの設定内容は、アラーム記録とは無関係にモニタへ表示するための設定です。アラーム記録の動作は、“基本操作：記録動作の詳細設定”（☞ 28 ページ）で設定した動作をします。

ビデオロス発生時の表示方法を変更

接続されているカメラの断線や故障などの理由で映像信号が入力されなくなった（ビデオロス発生）とき、ビデオロスしたチャンネルを記録対象からはずして画面に を表示します。



1　設定 を押して設定メニューを表示します。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク

2　の左右キーで表示へ移動し 決定 を押してください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

文字表示	時刻	：ON1　年／月／日
表示位置	画質	：ON　A　B　C
CH名称	音声	：ON
画面制御	記録状態	：ON
	モード	：ON
	キー操作	：ON
	異常	：ON
	ロック	：ON
	CH名称	：ON

ビデオロス発生時の動作

3　の上下キーと 決定 で画面制御→ビデオロス表示と進んでビデオロス表示をONにしてください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

文字表示	自動切替時間	：　2秒
表示位置	マスクCH	：OFF
CH名称	アラーム表示	：最新アラーム
画面制御	ビデオロス表示	：ON
	ホールド時間	：００分３０秒
	初期表示	：CH1
	スポット出力	：CH1

の上下キーを押すと

ON → OFF
↑　　↓

の２種類から設定できます。

◎ON　：ビデオロス発生時にホールド時間だけ１画面（青）表示します。
　　再生中は、再生を強制停止します。

◎OFF：ビデオロス発生時でも、変化しません。

◎ON/OFF に関係しない動作

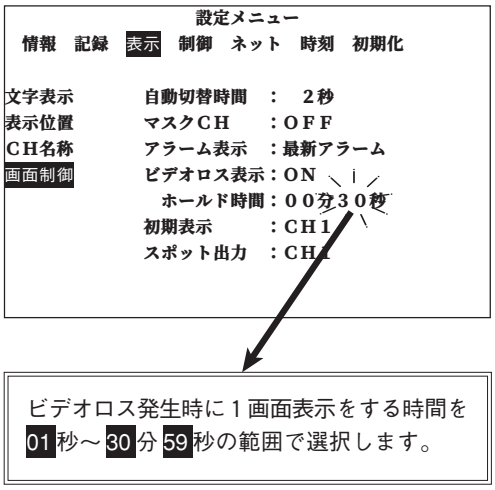
1）表示：
　映像信号が復帰するまで表示します。電源を再投入すれば表示されません。

2）ビデオロスしたチャンネルの記録停止：
　ビデオロスしたチャンネルは入力映像がないので記録を停止します。

表示　ビデオロス発生時の表示方法を変更　その２

１画面表示させる時間

4　の上下キーと 決定 でホールド時間を設定してください。

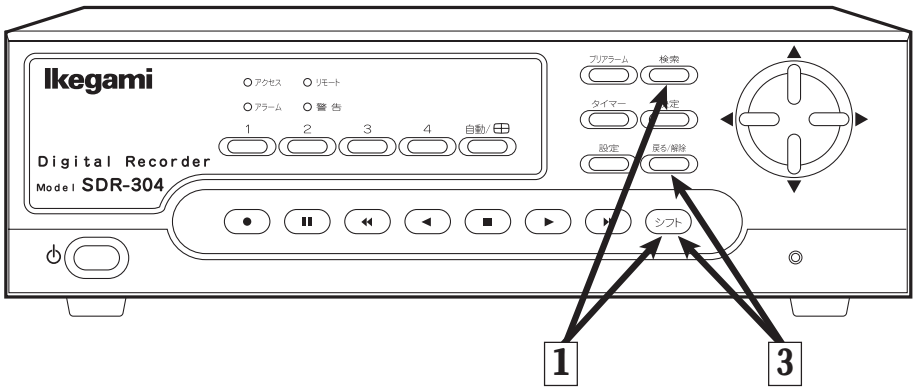


ビデオロス発生時に１画面表示をする時間を
01 秒～ 30 分 59 秒の範囲で選択します。

5　設定 を押します。設定メニュー画面が消え設定内容が保存されます。

操作スイッチのロックについて

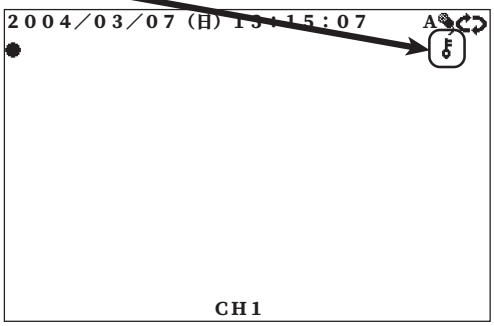
誤動作を防ぐために、フロントスイッチのロック機能があります。



フロントパネルロック

1　シフト と 検索 の同時押しで 戻る/解除 以外のフロントスイッチをロックします。

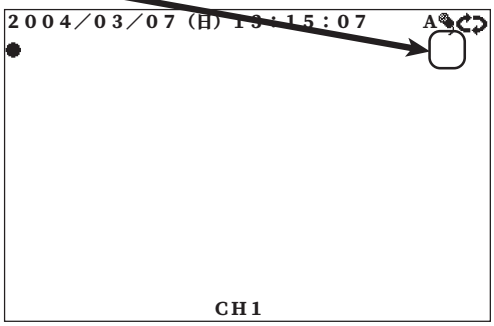
2　フロントスイッチがロック状態になり、画面に が表示されます。



フロントパネルロック解除

3　シフト と 戻る/解除 の同時押しでフロントスイッチのロックを解除します。

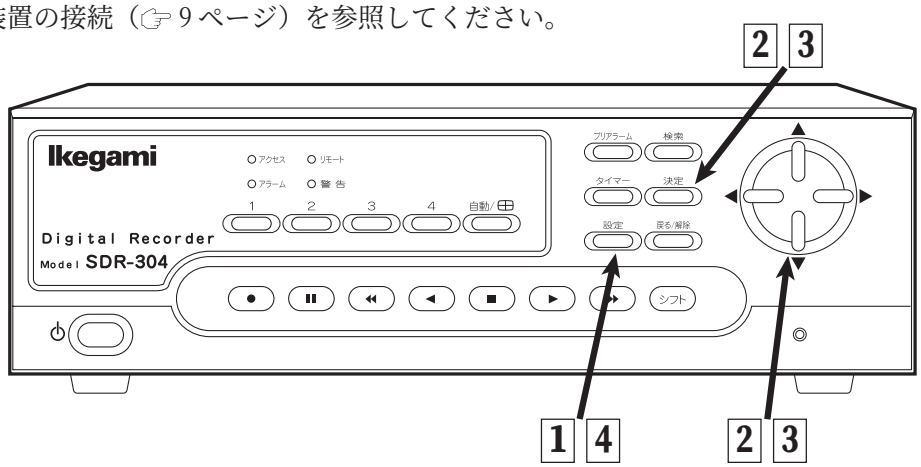
4　フロントスイッチのロックが解除され、画面の が消えます。



入出力端子　外部入力端子について

外部入力端子について

リアパネルの入出力端子に入力端子が２系統あります。この端子に時計合わせと無停電電源装置を割り当てて使用します。接続方法は、“ 接続：アラームと入出力端子の接続 ”（☞ 8 ページ）と “ 接続：無停電電源装置の接続（☞ 9 ページ）を参照してください。



1　設定 を押して設定メニューを表示します。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク

2　の左右キーで制御へ移動し 決定 を押してください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

通信　　機能　　：ON
外部入出力　　ボーレート：9600bps
　　ID　　：　1

3　の上下キーと 決定 で外部入出力→ IN1・IN2 と進んで外部入力端子の設定をしてください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

通信
外部入出力
OUT1：エラー1
OUT2：記録中
IN1：時計合わせ
IN2：無停電電源装置
アラーム：前エッジ

を押すと
時計合わせ→無停電電源装置
の２種類から設定できます。

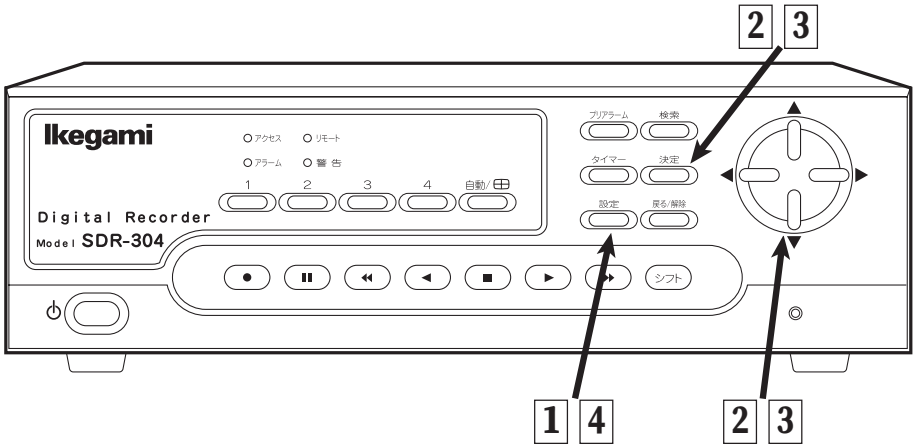
4　設定 を押します。設定メニュー画面が消え設定内容が保存されます。

＜ IN1 と IN2 の設定内容について＞
◎時計合わせ　：時刻で±30 分の範囲を 00 分にセットします。
（例）　時計合わせ時間が 15 時に設定されている場合
15:25:50 → 15:00:00
ただし、時計合わせ動作は、設定した時計合わせ時間に対して±30 分以外では受け付けません。
詳しくは、“便利機能：時刻を同期させる”（☞ 90 ページ）を参照してください。
◎無停電電源装置：無停電電源装置からの停電検出信号を検出して、記録動作を停止しファイルクローズを行ないます。

入出力端子　外部出力端子について

外部出力端子について

リアパネルの入出力端子に出力端子が２系統あります。この端子に機能を割り当てて使用します。
接続方法は、“ 接続：アラームと入出力端子の接続 ”（☞ 8 ページ）を参照してください。



1　設定 を押して設定メニューを表示します。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク

2　の左右キーで制御へ移動し 決定 を押してください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

通信　　機能　　：ON
外部入出力　ボーレート：9600bps
　　ID　　：　1

3　の上下キーと 決定 で外部入出力→ OUT1・OUT2 と進んで外部出力端子の設定をします。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

通信
外部入出力
OUT1：エラー1
OUT2：記録中
IN1　：時計合わせ
IN2　：無停電電源装置
アラーム：前エッジ

を押すと
エラー1 → エラー2 → 記録中
の 3 種類から設定できます。

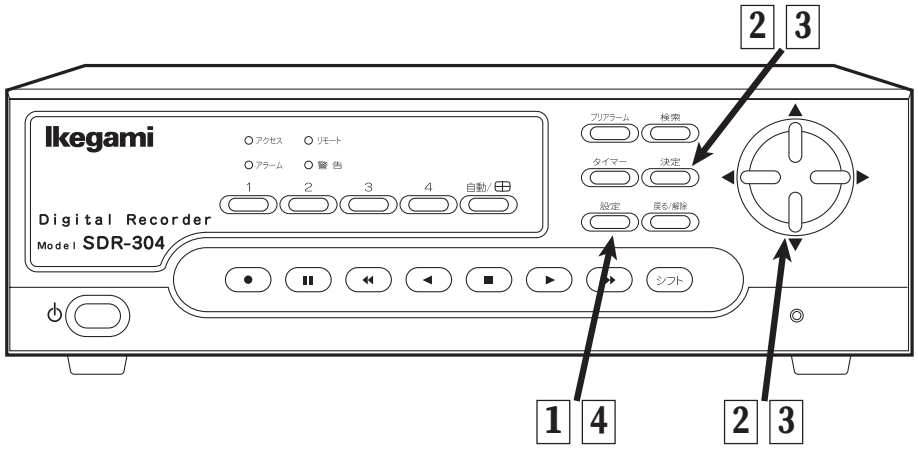
4　設定 を押します。設定メニュー画面が消え設定内容が保存されます。

＜ OUT1 と OUT2 の設定内容について＞
◎エラー 1 ：システムエラーと HDD エラーの警告出力です。
◎エラー 2 ：ワンパス警告出力です。
◎記録中　：記録中に出力を行います。

アラーム入出力信号のトリガー設定について

ホールド時間（アラーム信号入力が完了後に、記録が継続する時間）の始まる方法を設定します。詳しい動作説明は、“ 応用操作：図解：アラーム入力信号のトリガー設定とアラーム出力について ”（☞ 72 ページ）を参照してください。

アラーム信号の接続方法は、“ 接続：アラームと入出力端子の接続 ”（☞ 8 ページ）を参照してください。



1　設定 を押して設定メニューを表示します。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク

2　の左右キーで制御へ移動し 決定 を押してください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

通信　　機能　　：ON
外部入出力　　ポーレート：9600bps
　　ID　　：　1

3　の上下キーと 決定 で外部入出力→アラームと進んでエッジ処理の設定をします。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

通信　　OUT1：エラー1
外部入出力　　OUT2：記録中
　　IN1　：時計合わせ
　　IN2　：無停電電源装置
　　アラーム：前エッジ

を押すと

前エッジ→後エッジ

の 2 種類から設定できます。

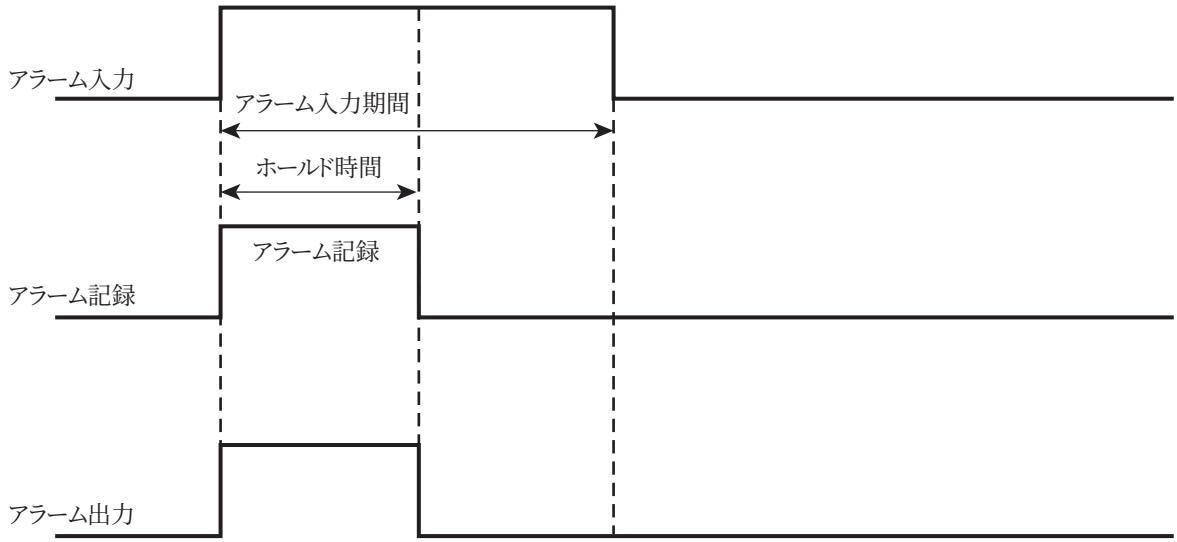
4　設定 を押します。設定メニュー画面が消え設定内容が保存されます。

＜アラームの設定内容について＞
◎前エッジ：アラーム信号の前エッジからホールド時間を起動します。
◎後エッジ：アラーム信号の後エッジからホールド時間を起動します。

図解：アラーム入力のトリガー設定とアラーム出力について

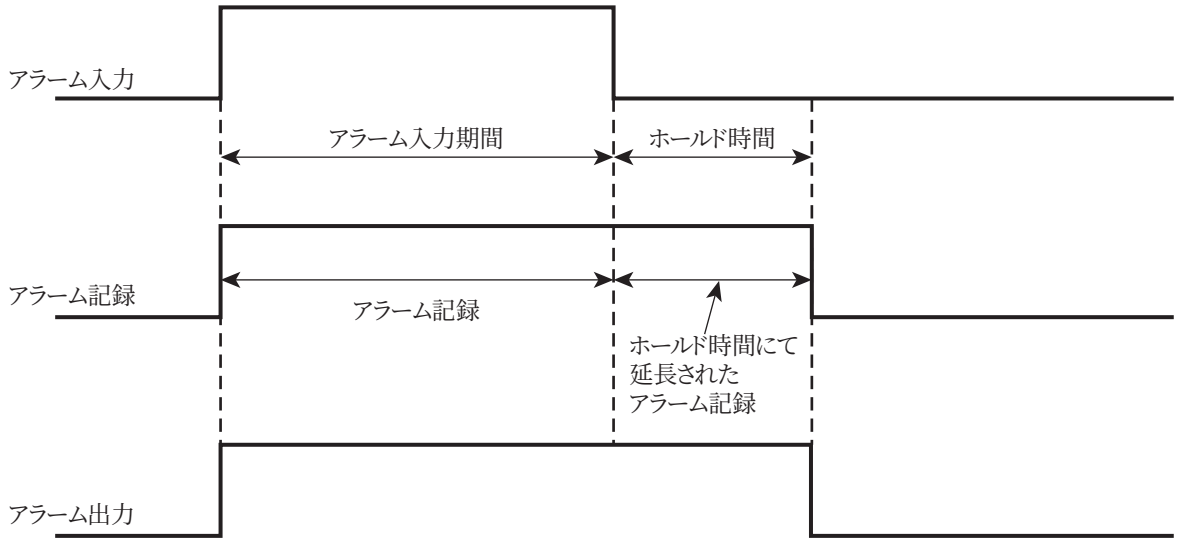
前エッジの場合

◎前エッジの場合、アラームが入力した時点からホールド時間のカウントが始まります。
ホールド時間がアラーム入力期間より短い場合、アラーム信号が終わる前にアラーム記録が終了してしまうので注意が必要です。



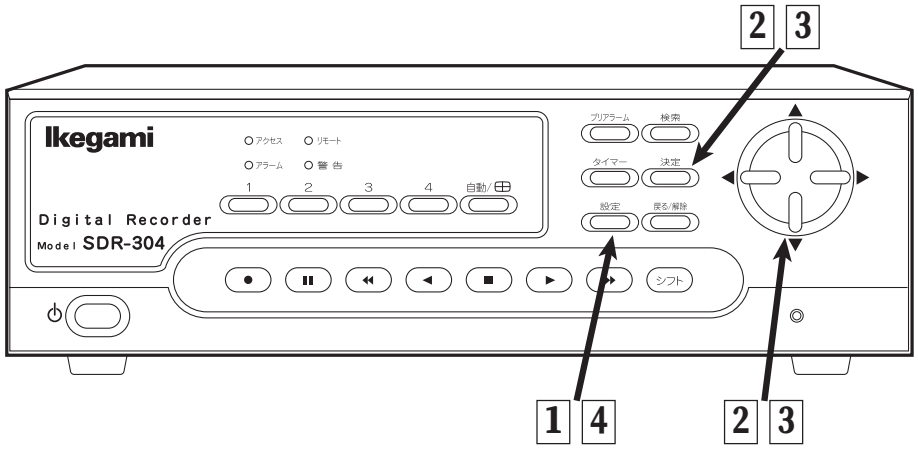
後エッジの場合

◎後エッジの場合、アラーム入力期間終了後に、ホールド時間のカウントが始まります。

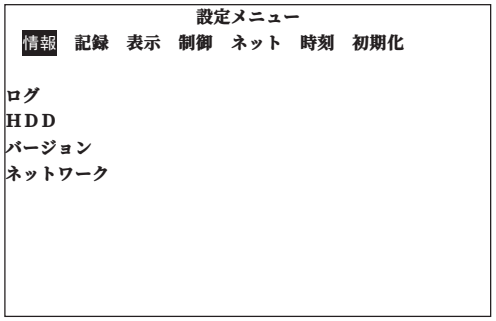


シリアル通信制御について

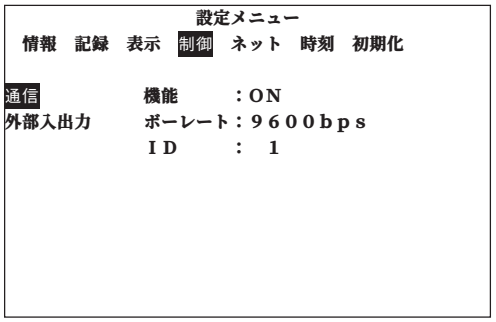
RS-232C による通信制御の設定を行います。
接続方法は、“ 接続：RS-232C の接続 ”（☞ 10 ページ）を参照してください。



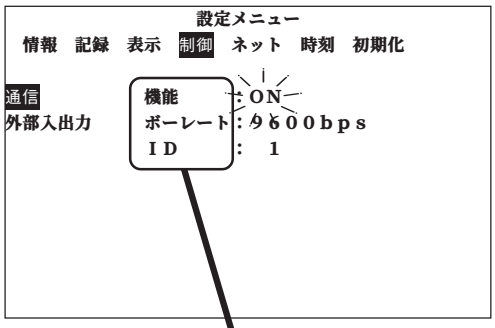
1　設定 を押して設定メニューを表示します。



2　の左右キーで制御へ移動し 決定 を押してください。



3　の上下キーと 決定 で通信→機能と進んで機能を ON にしてください。
その後ボーレート・ID を設定してください。



◎機能　：通信制御の ON ↔ OFF を選択します。
◎ボーレート：1200 ↔ 2400 ↔ 4800 ↔ 9600 ↔ 19200 ↔ 38400 の順に変わります。
◎通信 ID　：1～99 の範囲で選択します。

4　設定 を押します。設定メニュー画面が消え設定内容が保存されます。

シリアル通信仕様について

１．インターフェース仕様

項　　目	規　　格
ボーレート	1200, 2400, 4800, 9600, 19200, 38400 BPS
スタートビット	１ビット
データ	８ビット
パリティ	なし
ストップビット	１ビット
通信方式	RS-232C：全２重
同期方式	調歩同期方式
誤り検出 BCC	ビットごとの排他的論理和

２．通信フォーマット

（１）RS-232C

SOH	機種 ID	機器 ID	ｵﾌﾟｼｮﾝ 1	ｵﾌﾟｼｮﾝ 2	ｵﾌﾟｼｮﾝ 3	ｵﾌﾟｼｮﾝ 4	STX	コマンド	ETX	BCC

信号名称	規　　格
SOH (Start Of Header)	01h
機種 ID	53h ("S") 固定
機器 ID	30h ～ 93h（ID0 ～ ID99）ID0 コマンドは全機器受信
オプション 1	送信元機種 ID（特に指定がない場合は 50h ("P") 使用）
オプション 2	80h（応答なし）、81h（応答あり） ◎応答ありに設定した場合、BCC データ受信後、約 5ms 後に ACK (06h)を応答 ◎ BCC エラーの場合は、NAK (15h)を応答
オプション 3	80h
オプション 4	送信元機種ｻﾌﾞ ID（特に指定がない場合は 30h ("0") 使用）
STX (Start Of Text)	02h
コマンド	“ 応用操作：シリアル通信仕様について　その２ ” （☞ 75 ページ）を参照
ETX (End Of Text)	03h
BCC	SOH の次のバイトから ETX までの排他的論理和

［注］**h・・・数値は 16 進数です。

３．通信コマンド

３－１．フロントスイッチコマンド

コマンド	付加データ	内　　容	動　　作
CH01	なし	CHannel 1	カメラ１　　１画面表示
CH02	なし	CHannel 2	カメラ２　　１画面表示
CH03	なし	CHannel 3	カメラ３　　１画面表示
CH04	なし	CHannel 4	カメラ４　　１画面表示
PA	なし	PreAlarm	プリアラーム
TI	なし	TImer	タイマー
SE または M0	なし	SEt Menu0	メニュー
SC	なし	SearCh	検索
DC	なし	DeCision	決定
RN	なし	ReturN	戻る・解除
UP		UP	上
DW		DoWn	下
LF		LeFt	左
RT		Right	右
RD	なし	RecorD	記録
PS	なし	PauSe	再生一時停止
FR	なし	Fast Reverse	早戻し
RV	なし	Revers play	逆再生
ST	なし	STop	停止
PL	なし	PLay	再生（一時停止の解除）
FF	なし	Fast Forward	早送り
SI	なし	ShIft	シフト

３－２．機能コマンド

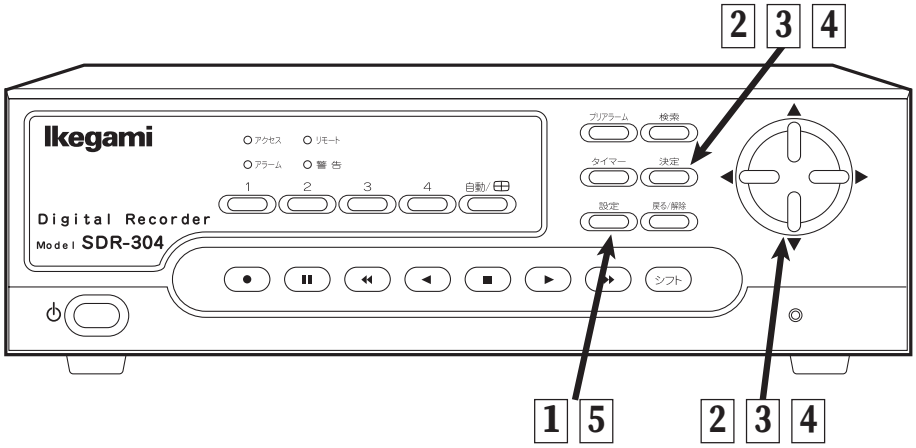
コマンド	付加データ	内　　容	動　　作
STPL	なし	Stop PLay	再生停止
STRD	なし	Stop RecorD	記録停止
DS01	01 ～ 04	DiSPlay full channel 1 ～ 16	１画面表示
DS04	A	DiSplay 4-multi	４画面表示（ライブ、再生は状態による）
SH	YYYYMMDDHHMM	SearcH Time	時刻検索
DS	OF ／ ON	character DiSplay	文字表示（インポーズ）のON/OFFを行う
DT	YYYYMMDDHHMMSS	Date adjust	日時合わせ動作
TM	なし	TiMe adjust	0 ～ 29 秒→ 0 秒 , 30 ～ 59 秒→分桁上がり

※ YYYY：年、MM：月、DD：日、HH：時、MM：分、SS：秒
（例）日時合わせの場合　２００４／０３／０９　１２：３４：５６
“ＤＴ２００４０３０９１２３４５６

ネットワーク機能　IPアドレスの設定　その１

IPアドレスの設定

ルーター等のDHCP機能を使用している場合は、工場出荷状態のままで本設定をする必要はありませんが、固定 IP アドレスを使用する場合には本設定をしてIP アドレスを割り当ててください。



1　設定 を押して設定メニューを表示します。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク

2　の左右キーでネットへ移動し 決定 を押してください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

ＩＰアドレス　ＩＰアドレス取得：自動
ＤＮＳサーバー　次のＩＰアドレスを使用
送信メール　ＩＰアドレス
宛先　．　．　．
クライアント　サブネットマスク
．　．　．
ゲートウェイ
．　．　．
切断時間：１０分

3　の上下キーと 決定 でIP アドレス→IP アドレス取得と進んでIP アドレス取得を手動にしてください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

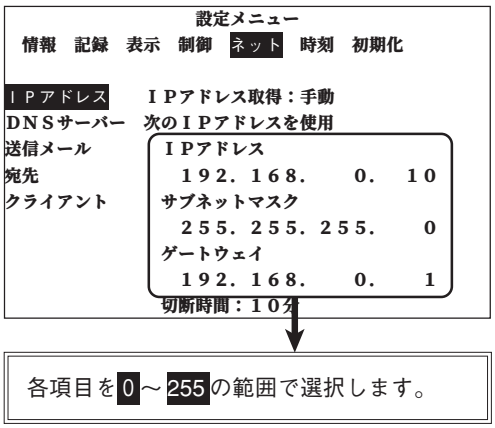
ＩＰアドレス　ＩＰアドレス取得：手動
ＤＮＳサーバー　次のＩＰアドレスを使用
送信メール　ＩＰアドレス
宛先　．　．　．
クライアント　サブネットマスク
．　．　．
ゲートウェイ
．　．　．
切断時間：１０分

の上下キーで
手動→自動
↑　└
の２種類から設定できます。

＜IP アドレス取得について＞
LAN上の機器に自動的にIP アドレスを割り当てるDHCP サーバーやルーターがある場合には、自動にしてください。
◎自動：DHCP サーバーにより自動的に IP アドレスが設定されます。
◎手動：DHCP サーバーがなく各機器に固定 IP アドレスを設定します。

ネットワーク機能　IPアドレスの設定　その2

4　の上下キーと 決定 でIPアドレス・サブネットマスク・ゲーウェイの設定をしてください。

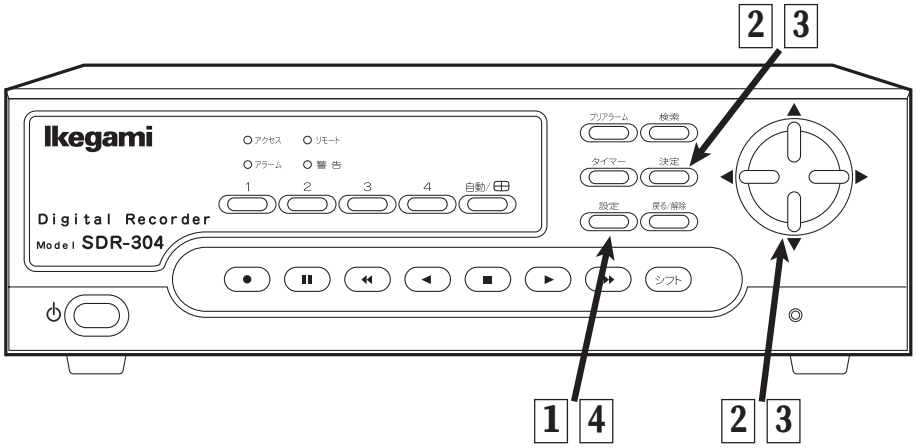


各項目を0～255の範囲で選択します。

5　設定 を押します。設定メニュー画面が消え設定内容が保存されます。

クライアントの切断時間の設定

クライアントPCが連続して接続可能な時間を設定します。設定時間経過後は強制的にネットワーク接続が切断されます。



1　設定 を押して設定メニューを表示します。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク

2　の左右キーでネットへ移動し 決定 を押してください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

ＩＰアドレス　ＩＰアドレス取得：自動
ＤＮＳサーバー　次のＩＰアドレスを使用
送信メール　ＩＰアドレス
宛先　．　．　．
クライアント　サブネットマスク
．　．　．
ゲートウェイ
．　．　．
切断時間：１０分

3　の上下キーと 決定 でIPアドレス→切断時間と進んで切断時間を設定してください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

ＩＰアドレス　ＩＰアドレス取得：自動
ＤＮＳサーバー　次のＩＰアドレスを使用
送信メール　ＩＰアドレス
宛先　．　．　．
クライアント　サブネットマスク
．　．　．
ゲートウェイ
．　．　．
切断時間：１０分

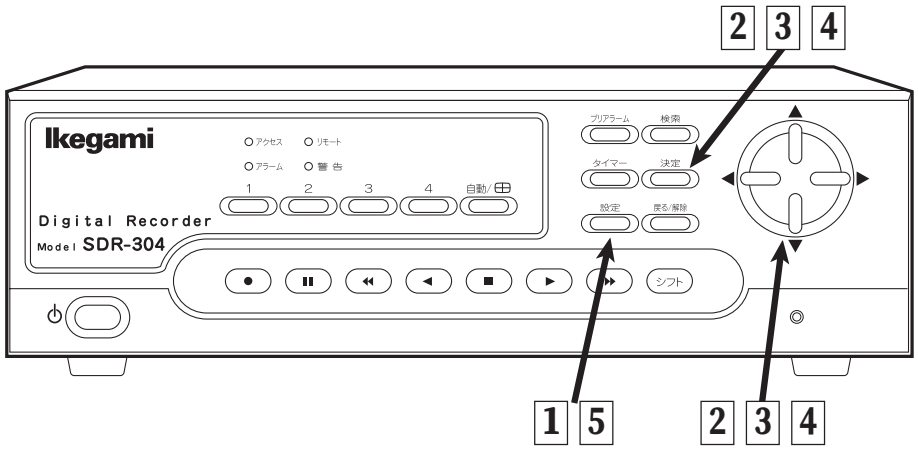
1～60分の範囲で選択します。

4　設定 を押します。設定メニュー画面が消え設定内容が保存されます。

ネットワーク機能　DNSサーバーの設定　その1

DNSサーバーの設定

ルーター等のDHCPを使用してDNSサーバーのIPアドレスを取得する場合は、工場出荷状態のままで本設定をする必要はありませんが、DNSサーバーに固定IPアドレスを使用する場合には本設定をしてIPアドレスを割り当ててください。



1　設定 を押して設定メニューを表示します。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク

2　の左右キーでネットへ移動し 決定 を押してください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

ＩＰアドレス　　ＩＰアドレス取得：自動
ＤＮＳサーバー　次のＩＰアドレスを使用
送信メール　　ＩＰアドレス
宛先　　．　．　．
クライアント　　サブネットマスク
　　．　．　．
　　ゲートウェイ
　　．　．　．
　　切断時間：１０分

3　の上下キーと 決定 でDNSサーバー→DNSサーバー取得と進んでDNSサーバーを手動にしてください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

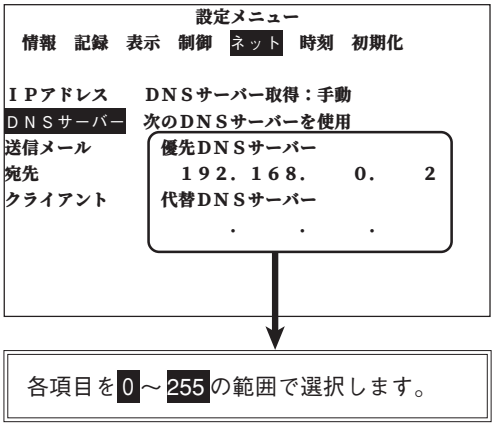
ＩＰアドレス　　ＤＮＳサーバー取得：手動
ＤＮＳサーバー　次のＤＮＳサーバーを使用
送信メール　　優先ＤＮＳサーバー
宛先　　．　．　．
クライアント　　代替ＤＮＳサーバー
　　．　．　．

の上下キーで
手動→自動
の２種類から設定できます。

＜IPアドレス取得について＞
DNSサーバーのIPアドレスを割り当てるDHCPサーバーやルーターがある場合には、自動にしてください。
◎自動：DHCPサーバーにより自動的にDNSサーバーのIPアドレスが設定されます。
◎手動：DNSサーバーのIPアドレスを手動で設定します。

ネットワーク機能　DNSサーバーの設定　その2

4　の上下キーと 決定 で優先 DNS サーバー・代替DNSサーバーを設定をしてください。

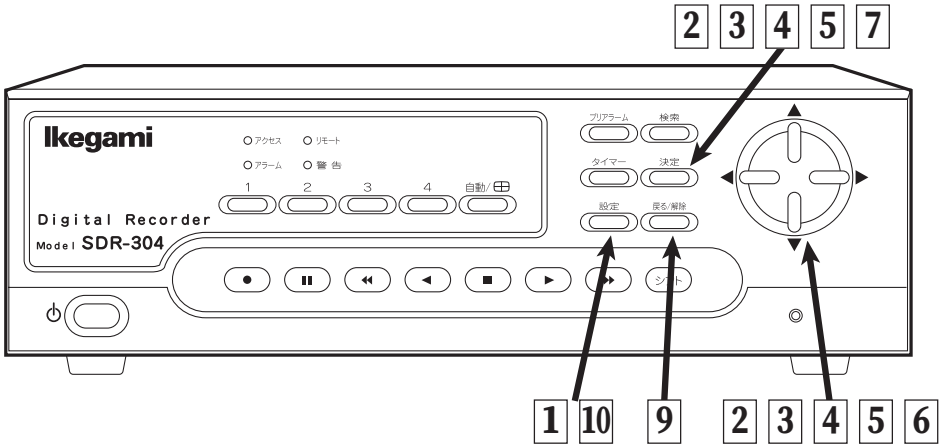


各項目を 0 ～ 255 の範囲で選択します。

5　設定 を押します。設定メニュー画面が消え設定内容が保存されます。

メール送信に関する設定（SMTPアカウント）

メール送信機能のSMTPに関する設定をします。本機能を利用するためには“応用操作：IPアドレスの設定”（☞76ページ）と“応用操作：DNSサーバーの設定”（☞79ページ）の設定がされている必要があります。メール送信機能を使用しない場合には、設定する必要はありません。



1　設定 を押して設定メニューを表示します。

```
設定メニュー
情報 記録 表示 制御 ネット 時刻 初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク
```

2　の左右キーでネットへ移動し 決定 を押してください。

```
設定メニュー
情報 記録 表示 制御 ネット 時刻 初期化

ＩＰアドレス    ＩＰアドレス取得：自動
ＤＮＳサーバー  次のＩＰアドレスを使用
送信メール      ＩＰアドレス
宛先                .   .   .
クライアント    サブネットマスク
                .   .   .
                ゲートウェイ
                .   .   .
                切断時間：１０分
```

3　の上下キーと 決定 で送信メール→機能と進んで機能をONにしてください。

```
設定メニュー
情報 記録 表示 制御 ネット 時刻 初期化

ＩＰアドレス    機能    ：ON
ＤＮＳサーバー  名前    ：
送信メール      アドレス：
宛先            ＳＭＴＰ：
クライアント    ポート：２５
                ヘッダ  ：ON
```

通常はポート・ヘッダの設定を変更しないでください。

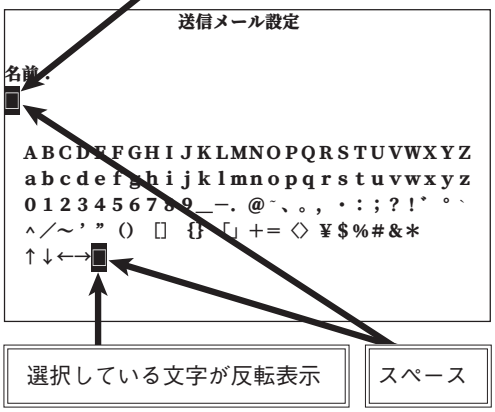
名前　　：メール送信元の名前を設定します。
アドレス：メール送信元のメールアドレスを設定します。
SMTP　：SMTPサーバー名を設定します。

設定した内容は、先頭15文字が表示されます。

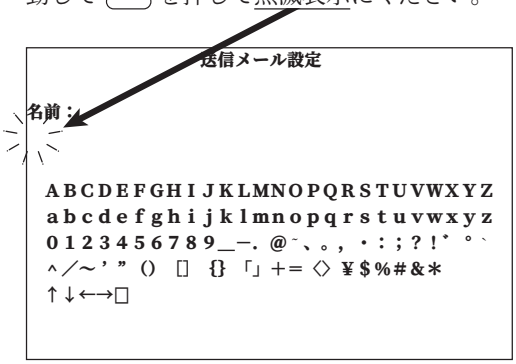
ネットワーク機能　メール送信に関する設定（SMTPアカウント）　その2

4　の上下キーで名前・アドレス・SMTPの設定したい項目に移動して 決定 を押してください。（例　名前）

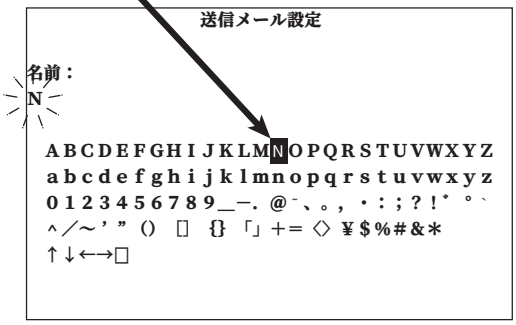
名前・アドレス・SMTPを英数記号から最大255文字まで設定可能です。



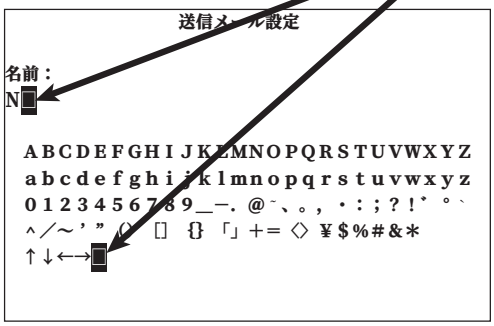
5　修正したい文字まで の左右キーで移動して 決定 を押して点滅表示にください。



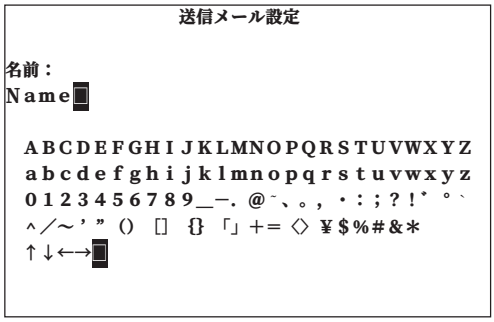
6　設定したい文字まで の上下左右キーで反転表示を移動させてください。
（例　Name）



7　決定 を押して確定すると反転表示が隣の文字へ移動します。



8　5～7を繰り返して入力してください。



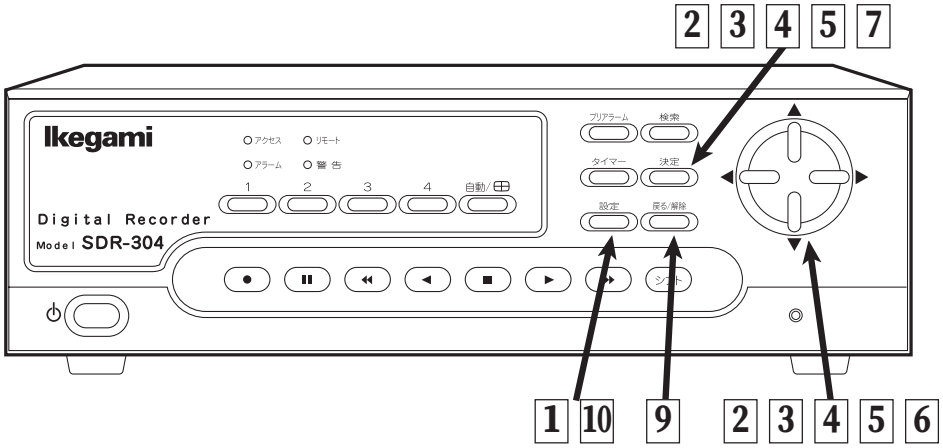
9　アドレス・SMTPを設定したい場合は 戻る/解除 を押して3の画面に戻り選択してください。

10　名前・アドレス・SMTPの設定が完了したら 設定 を押します。設定メニュー画面が消え設定内容が保存されます。

アラームメールを送信するメールアドレスの登録

アラーム発生時に、画像付きのメールを送信するメールアドレスを登録します。

本機能を利用するためには“応用操作：IPアドレスの設定”（☞ 76ページ）・“応用操作：DNSサーバーの設定”（☞ 79ページ）・“応用操作：メール送信に関する設定”（☞ 81ページ）の設定がされている必要があります。メール送信機能を使用しない場合には、設定する必要はありません。



1　設定 を押して設定メニューを表示します。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク

2　の左右キーでネットへ移動し 決定 を押してください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

IPアドレス　　IPアドレス取得：自動
DNSサーバー　次のIPアドレスを使用
送信メール　　IPアドレス
宛先　　．　．　．
クライアント　サブネットマスク
　　．　．　．
　　ゲートウェイ
　　．　．　．
　　切断時間：10分

3　の上下キーと 決定 で宛先→機能と進んで機能をONにしてください。

アカウント名（@より前）の先頭14文字が表示されます。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

IPアドレス　　機能　　アカウント名
DNSサーバー　1：ON
送信メール　　2：OFF
宛先　　3：OFF
クライアント　4：OFF

メールを送信するアドレスを選択します。
◎ON　：登録したメールアドレスにメールを送信します。
◎OFF：メールを送信しません。

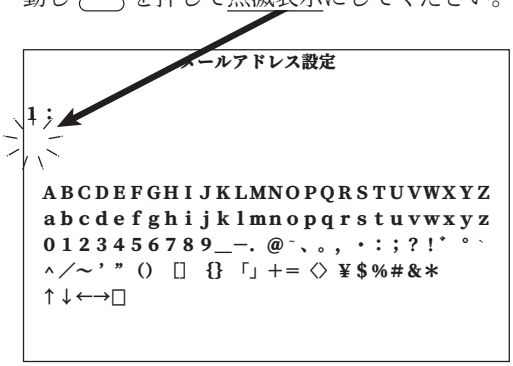
ネットワーク機能　アラームメールを送信するメールアドレスの登録　その２

4　の左右キーでアカウント名に移動して 決定 を押してください。
（例　１のメールアドレス登録）

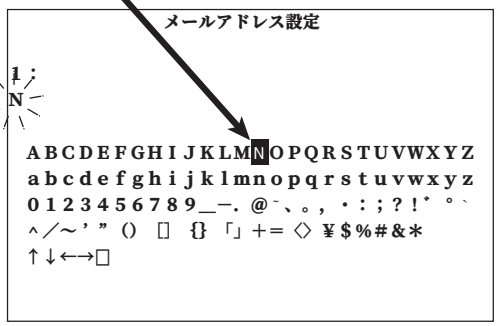
メールアドレスを英数記号から最大255文字まで設定可能です。

選択している文字が反転表示　　スペース

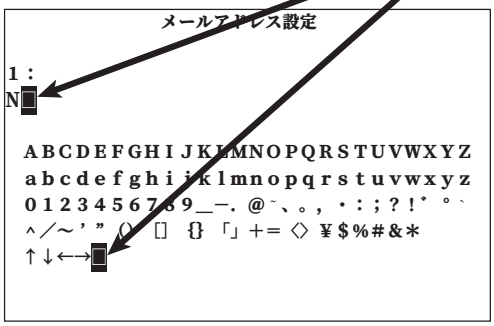
5　修正したい文字まで の左右キーで移動し 決定 を押して点滅表示にしてください。



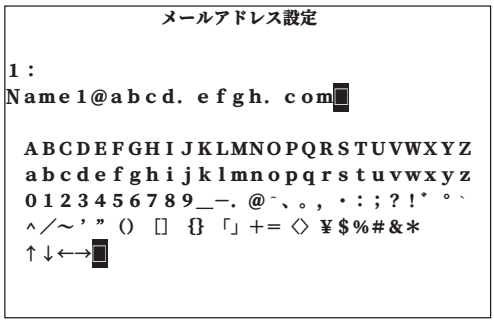
6　設定したい文字まで の上下左右キーで反転表示を移動させてください。
（例　Name1@abcd.efgh.com）



7　決定 を押して確定すると反転表示が隣の文字へ移動します。



8　5～7を繰り返して入力してください。



9　その他メールアドレスを設定したい場合は 戻る/解除 を押して3の画面に戻り選択してください。

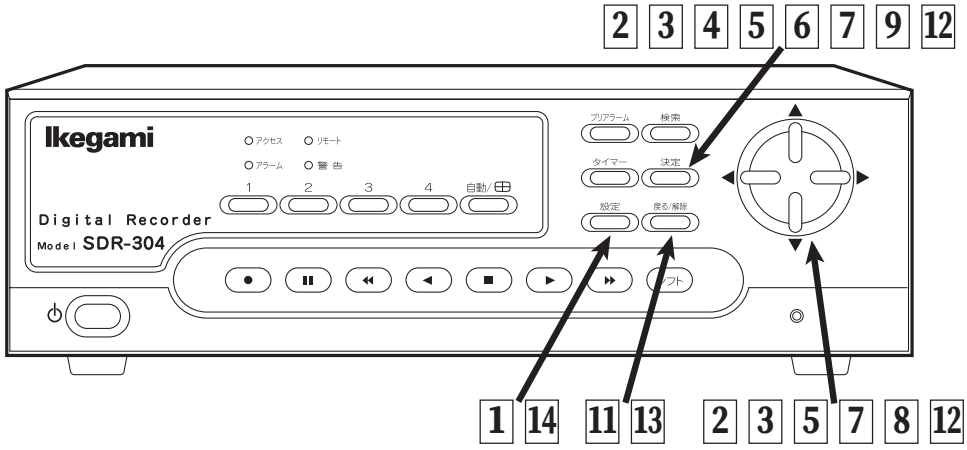
10　メールアドレスの設定が完了したら 設定 を押します。設定メニュー画面が消え設定内容が保存されます。

ネットワーク機能　ネットワーク遠隔監視ユーザーの登録　その１

ネットワーク遠隔監視ユーザーの登録

専用ビューワによりIPネットワークに接続されているPCでライブ映像や再生映像を見ることができます。またフロントスイッチと同等の操作も可能です。

専用ビューワによりネットワーク遠隔監視をするためには、ユーザー登録（最大８ユーザー）をする必要があります。本機能を利用するためには“応用操作：IPアドレスの設定”（☞76ページ）・“応用操作：DNSサーバーの設定”（☞79ページ）の設定がされている必要があります。



1　設定 を押して設定メニューを表示します。

```
設定メニュー
情報 記録 表示 制御 ネット 時刻 初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク
```

2　の左右キーでネットへ移動し 決定 を押してください。

```
設定メニュー
情報 記録 表示 制御 ネット 時刻 初期化

IPアドレス    IPアドレス取得：自動
DNSサーバー   次のIPアドレスを使用
送信メール      IPアドレス
宛先                 .    .    .
クライアント    サブネットマスク
                     .    .    .
                ゲートウェイ
                     .    .    .
                切断時間：10分
```

3　の上下キーでクライアントへ移動して 決定 を押してください。

```
設定メニュー
情報 記録 表示 制御 ネット 時刻 初期化

IPアドレス    設定画面へ
DNSサーバー   アドミニストレータ：1
送信メール    HTTP        ：80
宛先          HTTPS       ：443
クライアント
```

4　設定画面へで 決定 を押してください。

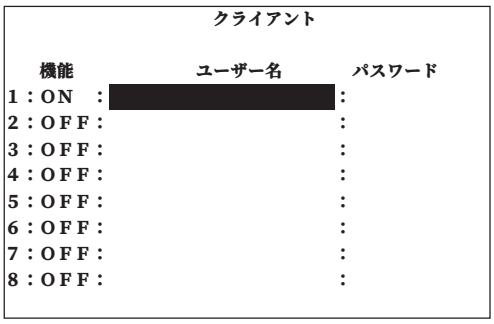
```
クライアント

 機能          ユーザー名        パスワード
1：OFF：                    :
2：OFF：                    :
3：OFF：                    :
4：OFF：                    :
5：OFF：                    :
6：OFF：                    :
7：OFF：                    :
8：OFF：                    :
```

① ② ③ ④

① クライアント番号　：ユーザー管理番号です。
② 機能　：設定したユーザーをネットワーク遠隔監視の対象にするかどうかをON/OFFで設定します。
③ ユーザー名　：最大 16 文字が登録可能で、先頭 13 文字が表示されます。
④ パスワード　：最大 8 文字が登録可能です。

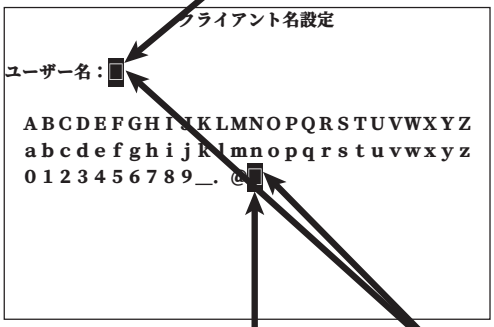
ネットワーク機能　ネットワーク遠隔監視ユーザーの登録　その２

5　の上下キーと 決定 で機能を ON にしてください。



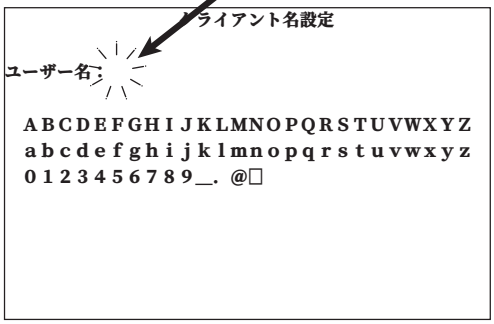
6　ユーザー名で 決定 を押してください。

ユーザー名を英数記号から最大 16 文字まで登録可能です。

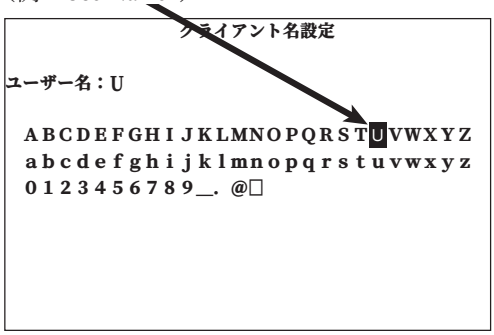


選択している文字が反転表示　／　スペース

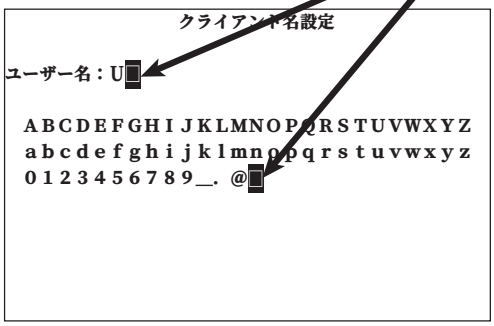
7　修正したい文字まで の左右キーで移動し 決定 を押して点滅表示にください。



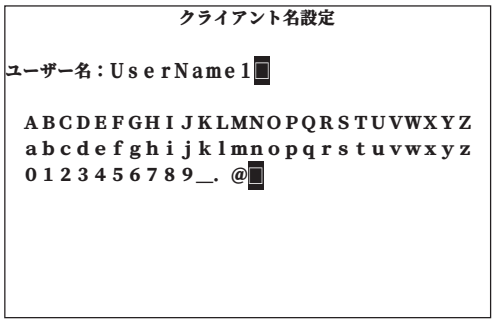
8　設定したい文字まで の上下左右キーで反転表示を移動させてください。
（例　UserName1）



9　決定 を押して確定すると反転表示が隣の文字へ移動します。



10　7～9を繰り返して入力してください。

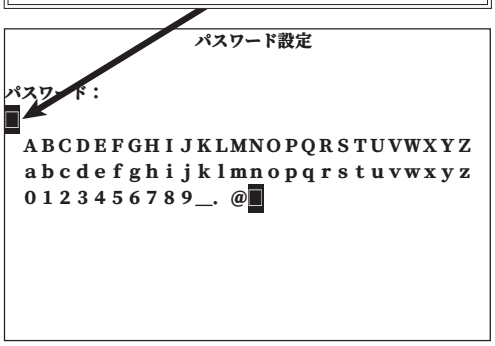


11　ユーザー名の設定が完了したら 戻る/解除 を押して5の画面まで戻ります。

ネットワーク機能　ネットワーク遠隔監視ユーザーの登録　その３

12　 の左右キーでパスワードに移動し決定を押して、ユーザー名と同じようにパスワードを設定してください。

パスワードを英数記号から最大８文字まで登録可能です。



13　その他のユーザー名を設定したい場合は戻る/解除を押して4の画面に戻り選択してください。

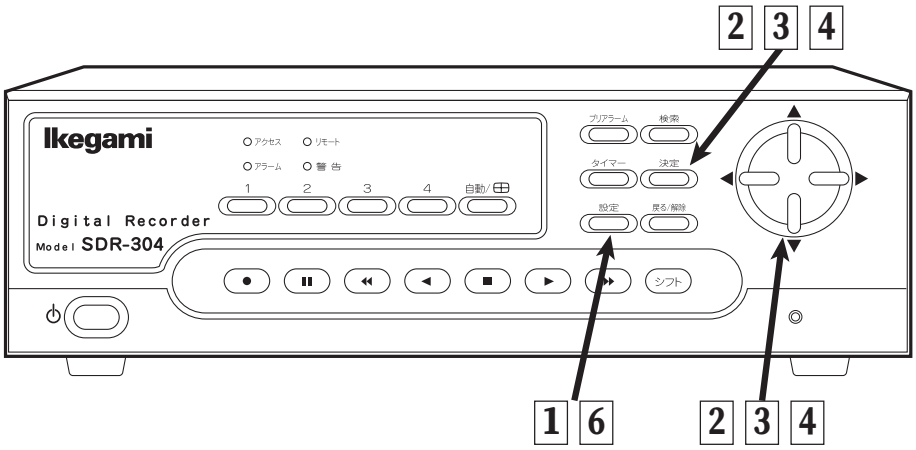
14　ユーザー名・パスワードの設定が完了したら設定を押します。設定メニュー画面が消え設定内容が保存されます。

＜専用ビューワについて＞
◎同梱されているSDR-300 Viewerインストールガイドに従って、インターネットに接続されているPCにインストールしてください。
◎専用ビューワの詳しい使い方は、SDR-300 Viewerをインストール後にヘルプのマニュアルを参照してください。
◎インターネットへの接続方法は、“接続：ネットワークへの接続”（☞ 11 ページ）を参照してください。

ネットワーク遠隔監視の管理者権限ユーザーの設定

専用ビューワにより管理者権限ユーザーは、IPネットワーク上から本機の様々な操作をすることが可能です。

管理者権限ユーザーの設定をするためには、ユーザー登録“ 応用操作：IPアドレスの設定 ”（☞ 76ページ）・“ 応用操作：DNS サーバーの設定 ”（☞ 79ページ）・“ 応用操作：ネットワーク遠隔監視ユーザーの登録 ”（☞ 85 ページ）の設定がされている必要があります。



1　設定 を押して設定メニューを表示します。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

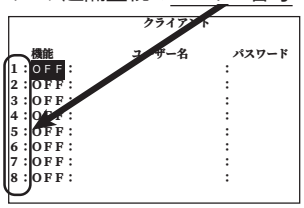
ログ
HDD
バージョン
ネットワーク

2　の左右キーでネットへ移動し 決定 を押してください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

ＩＰアドレス　ＩＰアドレス取得：自動
ＤＮＳサーバー　次のＩＰアドレスを使用
送信メール　ＩＰアドレス
宛先　．　．　．
クライアント　サブネットマスク
．　．　．
ゲートウェイ
．　．　．
切断時間：１０分

＜クライアント番号とは？＞
ネットワーク遠隔監視のユーザー番号のことです。



3　の上下キーと 決定 でクライアント→アドミニストレータと進んで点滅表示にしてください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

ＩＰアドレス　設定画面へ
ＤＮＳサーバー　アドミニストレータ：１
送信メール　ＨＴＴＰ　：８０
宛先　ＨＴＴＰＳ　：４４３
クライアント

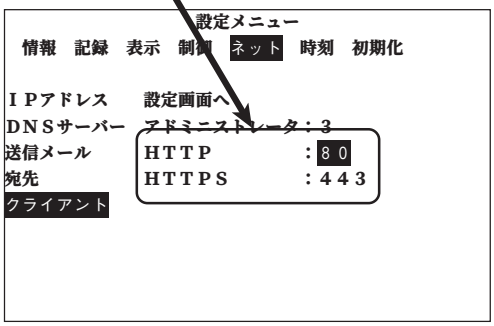
4　の上下キーで希望の番号を選択し 決定 を押してください。
（例　アドミニストレータ：３）

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

ＩＰアドレス　設定画面へ
ＤＮＳサーバー　アドミニストレータ：３
送信メール　ＨＴＴＰ　：８０
宛先　ＨＴＴＰＳ　：４４３
クライアント

ネット→クライアント→設定画面へのクライアント番号（１～８）から管理者権限にしたいユーザーを選択してください。

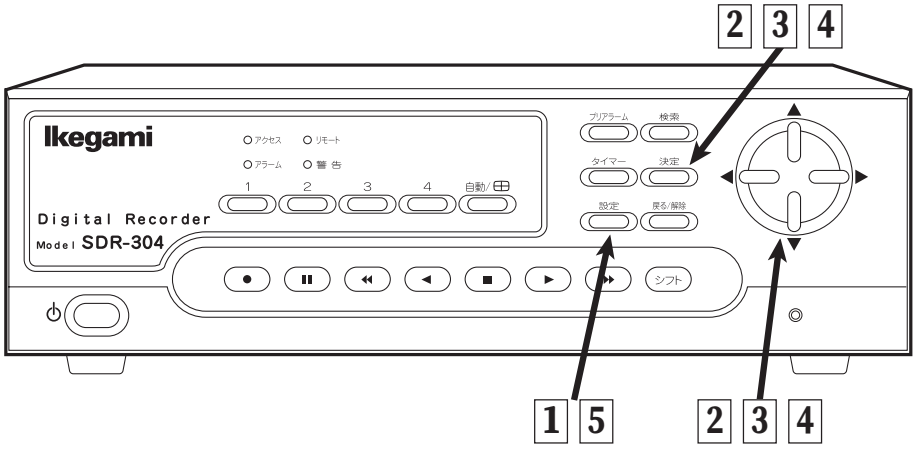
5　HTTP と HTTPS の項目は、通常変更しないでください。



6　設定 を押します。設定メニュー画面が消え設定内容が保存されます。

時刻を同期させる

外部入力により、内部時計を設定した時刻に合わせることができます。
外部入出力の接続は、“ 接続：アラームと入出力端子の接続 ”（☞ 8 ページ）を参照してください。



1　設定 を押して設定メニューを表示します。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク

2　の左右キーで時刻へ移動し 決定 を押します。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

時刻　　年　月　日　時　分
外部時刻　　2004／03／07　18：15

3　の上下キーと 決定 で外部時刻→時計合わせ時間と進んで点滅表示にしてください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

時刻　　時計合わせ時間：００時
外部時刻

4　の上下キーで内部時計を合わせたい時間に設定し 決定 を押します。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

時刻　　時計合わせ時間：０１時
外部時刻

00 時～ 23 時（24 時間制）で設定します。

5　設定 を押します。設定メニュー画面が消え設定内容が保存されます。

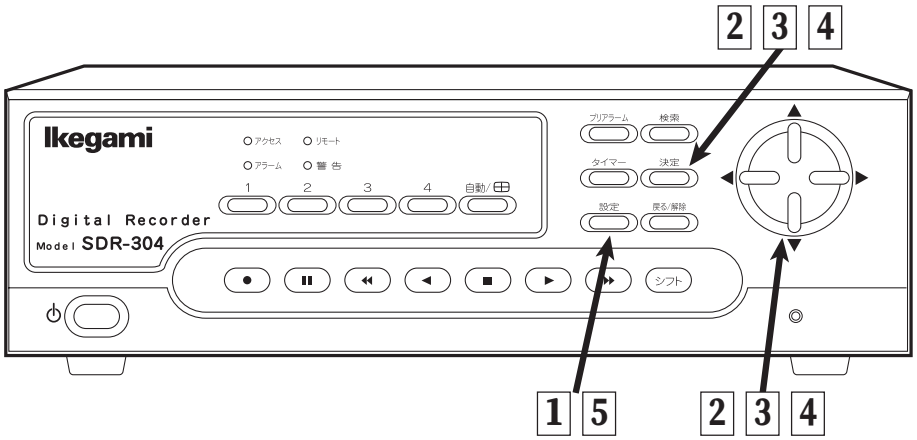
ご注意

◎ 外部入力により、本機の内部時計を設定した時刻に合わせる場合、設定メニューの制御→外部入出力でリアパネルの入力ピンを時計合わせに割り当てます。
◎ 工場出荷時は、入出力端子 3 が時計合わせ入力です。
◎ “応用操作：外部入力端子について”（☞69 ページ）時計合わせ入力信号（100ms 以上）が入力すると、設定した時計合わせ時間に内部時計を合わせます。
ただし、時計合わせ動作は、設定した時計合わせ時間に対して土 30 分以外では受け付けません。

ログで詳細な動作確認

様々な動作ログを文字情報で見ることができます。

設定メニューの情報→ログで、記録・アラーム・起動・制御・ネットワークの５種類のログを見ることができます。動作ログの詳細は、“ 便利機能：各種動作ログの内容 ”（☞ 92 ページ）



1　設定 を押して設定メニューを表示します。

```
設定メニュー
情報 記録 表示 制御 ネット 時刻 初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク
```

2　の左右キーで情報へ移動し 決定 を押します。

```
設定メニュー
情報 記録 表示 制御 ネット 時刻 初期化

ログ          記録
HDD稼働時間   アラーム
HDD情報       起動
バージョン     制御
              ネットワーク
```

＜ログ表示画面の説明＞
1）日付：動作の発生した「西暦／月／日」の表示
2）時刻：動作の発生した「時：分：秒」の表示
3）ページ数:「現在のページ／総ページ数」
4）動作ログ：各種動作の説明

3　の上下キーと 決定 でログ→記録と進んでください。（例　記録ログを見る方法）

```
記録ログ
                        〈前へ〉 〈次へ〉
 年  月  日  時  分  秒
03／11／03  22：00：00  終了  タイマー
03／11／03  18：00：00  開始  タイマー
03／11／03  17：30：00  終了  フロントSW
03／11／03  08：30：00  開始  フロントSW
03／11／02  22：00：00  終了  タイマー
03／11／02  18：00：00  開始  タイマー
03／11／02  12：00：00  終了  通信
03／11／02  08：00：00  開始  通信
                        1／12
```

「日付」「時刻」「ページ数」「動作ログ」

4　次のページへ移動する場合、 の左右キーで前へと次へまで移動し 決定 を押します。

```
記録ログ
                        〈前へ〉 〈次へ〉
 年  月  日  時  分  秒
03／11／03  22：00：00  終了  タイマー
03／11／03  18：00：00  開始  タイマー
03／11／03  17：30：00  終了  フロントSW
03／11／03  08：30：00  開始  フロントSW
03／11／02  22：00：00  終了  タイマー
03／11／02  18：00：00  開始  タイマー
03／11／02  12：00：00  終了  通信
03／11／02  08：00：00  開始  通信
                        1／12
```

ページが複数ある場合（1/1 以外のとき）にクリックすると下記の動作をします。
◎〈前へ〉：一つ前のページに戻ります。
◎〈次へ〉：次のページが表示されます。

5　設定 を押します。設定メニュー画面が消え設定内容が保存されます。

各種動作ログの内容

１）記録ログ：記録の動作記録（最大200件）

ログの種類	動作ログ	内　　容
記録	開始　フロントSW	フロントスイッチの操作で記録が開始
	終了　フロントSW	フロントスイッチの操作で記録が停止
	開始　タイマー	タイマーで記録が開始
	終了　タイマー	タイマーで記録が停止
	開始　アラーム	アラームの入力で記録が開始
	終了　アラーム	アラームのホールド時間経過後に記録が停止
	開始　通信	RS-232Cの制御で記録が開始
	終了　通信	RS-232Cの制御で記録が停止
	開始　ネットワーク	ネットワークの制御で記録が開始
	終了　ネットワーク	ネットワークの制御で記録が終了

２）アラームログ：アラーム記録の動作記録（最大500件）

ログの種類	動作ログ	内　　容
アラーム	アラーム１～４	外部端子へアラームが入力（CH1～CH4）
	プリアラーム１～４	プリアラームモード時に外部端子へアラームが入力（CH1～CH4）
	ビデオロス１～４	ビデオロス発生（CH1～CH4）

３）起動ログ：本体起動の動作記録（最大200件）

ログの種類	動作ログ	内　　容
起動	電源入力	本体フロントパネルの電源ON
	停電復帰	停電復帰記録開始 （手動記録中に電源OFFとなり、停電復帰時に記録を開始したり、タイマーモードやプリアラームモードを停電復帰後に継続したとき）

４）制御ログ：制御の動作記録（最大200件）

ログの種類	動作ログ	内　　容
	HDD初期化	本体のHDDを初期化
	設定データ変更	設定データを変更して設定モードを終了
	設定データ初期化	初期化画面にて設定データの初期化を実行
	通常モード	設定モード・プリアラームモード・タイマーモード以外のモード
	設定モード	設定モードに変更
	プリアラームモード	プリアラームモード（プリアラーム待機状態を含む）に変更
	タイマーモード	タイマーモード（タイマー待機状態を含む）に変更
	無停電電源　停電検出	UPSからの停電信号を20秒間受信
	無停電電源　停電復帰	UPSからの停電信号が停止 停電により本機の電源が切れた後、通電され停電が復帰
	ＨＤＤ電源入力	起動スイッチでHDDの電源を投入
	ＨＤＤ電源切断	起動スイッチでHDDの電源を切断

その他の動作　各種動作ログの内容　その２

５）ネットワークログ：ネットワークの動作記録（最大200件）

ログの種類	動作ログ	内　　容
ネットワーク	接続１～８	ネットワーク遠隔監視ユーザー１～８による接続
	接続エラー	認証エラー
	切断１～８	ネットワーク遠隔監視ユーザー１～８による切断
	切断	本機による強制回線切断
	回線断	回線エラーによる切断
	ライブ配信	ライブ配信開始
	HDD 配信	HDD 配信開始
	SDR 記録	SDR 記録指示
	通常モード	プリアラームモード・タイマーモード以外のモード
	プリアラームモード	プリアラームモード（プリアラーム待機状態を含む）に変更
	タイマーモード	タイマーモード（タイマー待機状態を含む）に変更
	頭出し検索取得	頭出し検索データ取得
	アラーム検索取得	アラーム検索データ取得
	検索実行	検索実行
	記録ログ取得	記録ログデータ取得
	アラームログ取得	アラームログデータ取得
	起動ログ取得	起動ログデータ取得
	制御ログ取得	制御ログデータ取得
	ネットワークログ取得	ネットワークログデータ取得
	装置異常ログ取得	装置異常ログデータ取得
	メール送信１～４	メール送信１～４

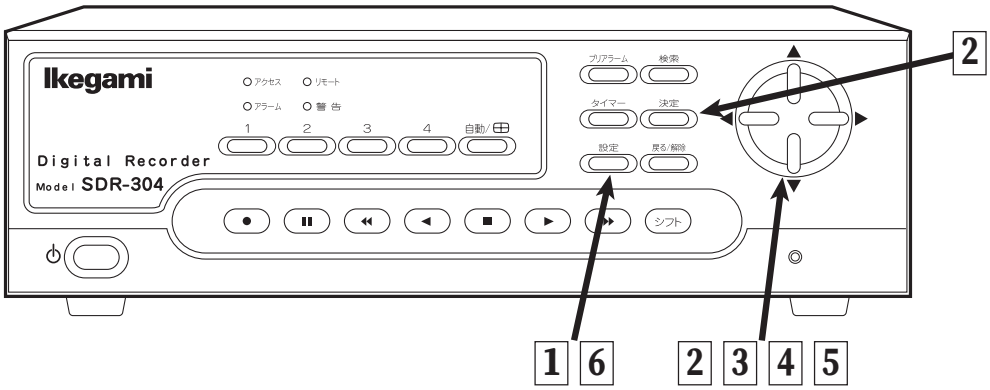
注意：

◎ 接続、切断の数字は、設定メニューのネット→クライアントにて設定したクライアント番号が表示されます。

◎ メール送信ログの数字は、設定メニューのネット→宛先にて設定したメールアドレスNoが表示されます。

システム情報

設定メニューでHDD稼働時間・システムバージョン・ネットワークの情報を見ることができます。



1　設定 を押して設定メニューを表示します。

```
設定メニュー
情報  記録  表示  制御  ネット  時刻  初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク
```

2　の左右キーで情報へ移動し 決定 を押します。

```
設定メニュー
情報  記録  表示  制御  ネット  時刻  初期化

ログ              記録
HDD稼働時間       アラーム
HDD情報           起動
バージョン        制御
                  ネットワーク
```

3　の上下キーで HDD へ移動します。

```
設定メニュー
情報  記録  表示  制御  ネット  時刻  初期化

ログ              稼働時間：******時間
HDD
バージョン
ネットワーク
```

内蔵されているHDDの累積稼働時間を表示します。約20,000時間を目安として交換してください。

4　の上下キーでバージョンへ移動します。

```
設定メニュー
情報  記録  表示  制御  ネット  時刻  初期化

ログ              プログラム  V****
HDD               OS          V****
バージョン        FPGA        V****
ネットワーク
```

本機のソフトウェアのバージョンを表示します。
◎プログラム　：アプリケーション
◎OS　　：オペレーティングシステム
◎FPGA　　：内蔵LSI

5　の上下キーでネットワークへ移動します。

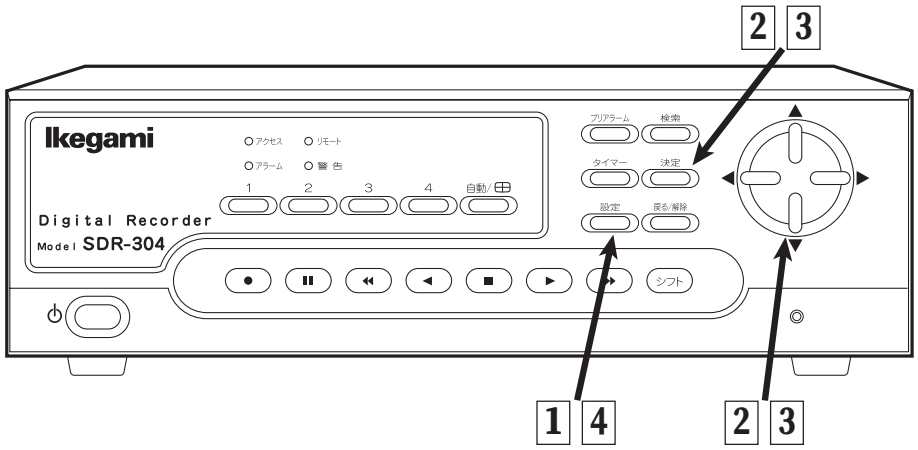
```
設定メニュー
情報  記録  表示  制御  ネット  時刻  初期化

ログ              IPアドレス  自動
HDD                   .     .     .
バージョン
ネットワーク
```

本機に設定してあるIPアドレスを表示します。
◎IPアドレス：本機に設定されているIPアドレス。

6　設定 を押します。設定メニュー画面が消え設定内容が保存されます。

電源ON時の初期表示画面を設定する

電源を ON したとき最初にモニタに表示される画面（初期表示画面）を設定します。



1　設定 を押して設定メニューを表示します。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク

2　の左右キーで表示へ移動し 決定 を押してください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

文字表示	時刻	：ON1　年／月／日
表示位置	画質	：ON　A　B　C
CH名称	音声	：ON
画面制御	記録状態	：ON
	モード	：ON
	キー操作	：ON
	異常	：ON
	ロック	：ON
	CH名称	：ON

3　の上下キーと 決定 で画面制御→初期表示と進んで初期表示を設定します。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

文字表示	自動切替時間	：　2秒
表示位置	マスクCH	：OFF
CH名称	アラーム表示	：最新アラーム
画面制御	ビデオロス表示	：OFF
	ホールド時間	：00分30秒
	初期表示	：CH1
	スポット出力	：CH1

の上下キーを押すと

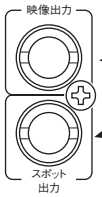
CH1 ～ CH4 → 自動切替 → 4 画面

↑

の 6 種類から初期表示を設定できます。

4　設定 を押します。設定メニュー画面が消え設定内容が保存されます。

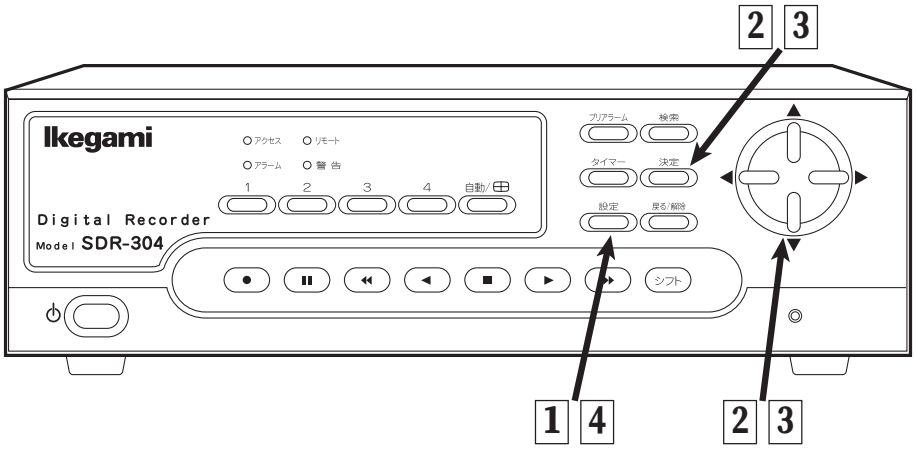
リアパネルのスポット出力を設定する



リアパネルにあるスポット出力端子に出力される映像を設定します。

映像出力端子からは、フロントパネルで操作している表示方法で映像が出力されます。

スポット出力端子からは、フロントパネルの操作とは無関係に設定された方法で出力される映像出力端子です。スポット出力端子は、カメラ名称のみ表示します。（時刻・画質等の表示はしません）また、表示のON/OFFと表示位置は、映像出力端子と同じになります。詳しい設定方法は“応用操作：アイコンと文字の表示と非表示（☞57ページ）”と“応用操作：アイコンと文字の表示位置を変更（☞59ページ）”を参照してください。



1　設定 を押して設定メニューを表示します。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク

2　の左右キーで表示へ移動し 決定 を押してください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

文字表示	時刻	：ON1　年／月／日
表示位置	画質	：ON　A　B　C
CH名称	音声	：ON
画面制御	記録状態	：ON
	モード	：ON
	キー操作	：ON
	異常	：ON
	ロック	：ON
	CH名称	：ON

3　の上下キーと 決定 で画面制御→スポット出力と移動しスポット出力を設定します。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

文字表示	自動切替時間	：　2秒
表示位置	マスクCH	：OFF
CH名称	アラーム表示	：最新アラーム
画面制御	ビデオロス表示	：OFF
	ホールド時間	：00分30秒
	初期表示	：CH1
	スポット出力	：CH1

の上下キーを押すと

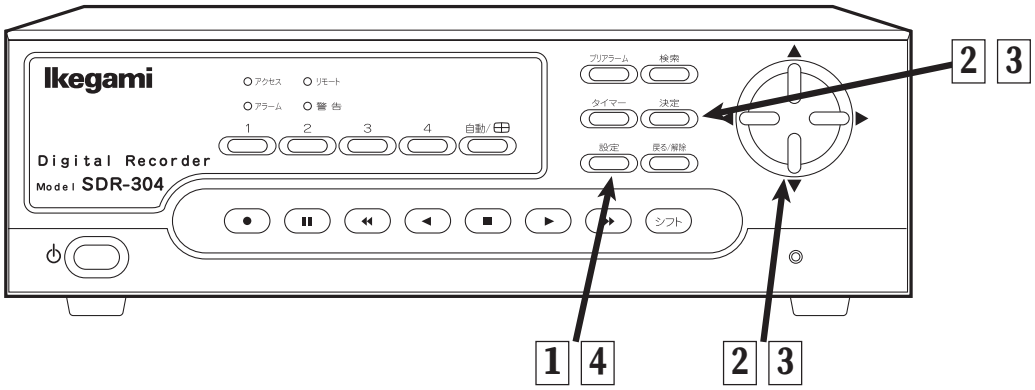
CH1 ～ CH4 → 自動切替

の5種類からスポット出力を設定できます。自動切替は、映像出力端子と同じ設定の時間で切り替わります、詳しくは、“応用操作：画面の切替時間を変更”（☞61ページ）を参照してください。

4　設定 を押します。設定メニュー画面が消え設定内容が保存されます。

電源ON時の記録動作を設定する

電源ON時の記録動作（停電復帰）とは、手動操作の記録中に停電などで一旦記録が停止したとき電源復帰後に自動的に記録を再開したり、タイマーモードやプリアラームモードの各モードを停電復帰後に継続させる機能です。



1　設定 を押して設定メニューを表示します。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク

2　の左右キーで記録へ移動し 決定 を押してください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

	設定番号	：1	
通常記録	記録モード	：通常	アラーム
記録動作	→画質	B	A
タイマー予約	→音声	OFF	ON
基本動作	→記録間隔	1／5秒	1／30秒
	→動作		インターリーブ
	→ホールド時間		00分10秒
	→アラーム出力		ON
	→ブザー音		ON
	→設定CH	1 2 3 4	

3　の上下キーと 決定 で基本動作→停電復帰と進んで停電復帰をONに設定します。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

通常記録　　リピート記録：ON
通常動作　　停電復帰　：ON
タイマー予約
基本動作

◎停電復帰：ONで電源復帰後に、手動記録の再開やタイマーモード、プリアラームモードを継続します。

4　設定 を押します。設定メニュー画面が消え設定内容が保存されます。

停電復帰がOFF（工場出荷状態）ですと停電が発生し電源が復帰したときには下記の様な動作になります。
◎手動記録中　　：記録は再開されません。
◎タイマーモード中　：タイマーモードが解除（タイマー のLED消灯）されタイマー記録を行いません。
◎プリアラームモード中：プリアラームモードが解除（プリアラーム のLED消灯）されプリアラーム記録を行いません。

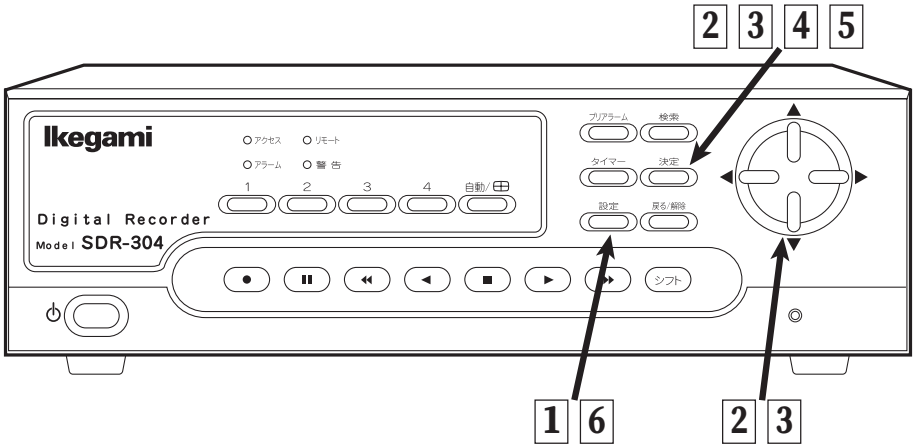
ご注意

記録中に停電した場合、停電直前（最大1分間）の映像、音声は記録されないことがあります。停電直前の記録を残すには、外部に無停電電源装置（UPS）を接続する必要があります。
無停電電源装置の接続は、“接続：無停電電源装置の接続”（☞9ページ）を参照してください。

その他の動作　設定メニューの全データを工場出荷状態にする　その１

設定メニューの全データを工場出荷状態にする

設定メニューの情報と現在時刻を除く、全ての設定内容を工場出荷状態に戻します。
一度データを工場出荷状態に戻してしまうと、元には戻せませんので注意してください。



1　設定 を押して設定メニューを表示します。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

ログ
HDD
バージョン
ネットワーク

2　の左右キーで初期化へ移動し 決定 を押してください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

設定データ
HDDデータ

3　の上下キーで設定データに移動し 決定 を押してください。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

設定データ　　設定データを初期化しますか？
HDDデータ
はい　いいえ

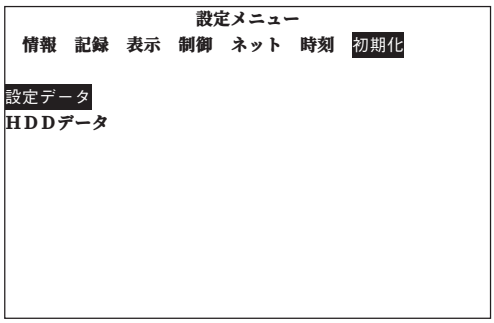
4　はい で 決定 を押します。

設定メニュー
情報　記録　表示　制御　ネット　時刻　初期化

設定データ　　実行しますか？
HDDデータ
はい　いいえ

その他の動作　設定メニューの全データを工場出荷状態にする　その2

5　もう一度、はいで 決定 を押すとピッと音が鳴り、設定メニューの情報と現在時刻を除く全てのデータを工場出荷状態に戻します。



6　設定 を押します。設定メニュー画面が消えます。

〈項目別に工場出荷状態に戻す〉
工場出荷状態に戻したい項目にカーソルを移動して シフト と 戻る/解除 を同時に押すとピッと音が鳴り、カーソルのある項目のみ工場出荷状態に戻します。
詳しくは“設定：初期化について”（☞ 115 ページ）を参照してください。

シフトによる便利機能

シフト機能には、下記の３つの操作方法があります。

１．(シフト) を２秒以上長押ししたときのシフト機能

便利機能	【文字表示の表示／非表示】 再生中やライブの監視中に (シフト) を長押し（２秒以上）すると、カメラ名称などの文字表示を簡単に ON/OFF できます。
参照ページ	“ 応用操作：アイコンと文字の表示と非表示 ”（☞ 57 ページ）

２．(シフト) と 決定 を同時に押したときのシフト機能

便利機能	【設定メニューの項目間の移動】 ①設定メニューの記録で通常記録と記録動作設定画面間をメニューの上の階層へ戻らないで直接ジャンプできます。 ②タイマー予約と記録動作設定画面間を直接ジャンプできます。
参照ページ	“ 設定：画面一覧　その１　記録メニュー ”（☞ 103 ページ）

３．(シフト) と 戻る/解除 を同時に押したときのシフト機能

便利機能	【設定内容を工場出荷状態へ戻す】 ①設定メニューの設定内容を一括して工場出荷状態に戻します。 ②設定メニューを項目ごとに工場出荷状態に戻します。
参照ページ	“ 設定：初期化について ”（☞ 115 ページ）の を参照

４．(シフト) と 検索 を同時に押したときのシフト機能

便利機能	【フロントパネルのロック】 戻る/解除 以外の全てのフロントスイッチの操作を無効にし を画面に表示します。
参照ページ	“ 応用操作：操作スイッチのロックについて ”（☞ 68 ページ）

５．(シフト) と 戻る/解除 を同時に押したときのシフト機能

便利機能	【フロントパネルのロック解除】 ロックされたフロントスイッチの操作を有効にし を画面から非表示にします。
参照ページ	“ 応用操作：操作スイッチのロックについて ”（☞ 68 ページ）

アラーム動作の便利機能

1．アラームの発生したCHを多く記録したい

便利機能	記録→記録動作→記録モードのアラームの記録動作設定でインターリーブを設定すると、アラーム発生時のアラーム記録を、アラームが発生していないチャンネルより、アラームが発生したチャンネルを多く優先的に記録します。
参照ページ	“ 基本操作：記録動作の詳細設定 8 ”（☞ 30 ページ） “ 基本操作：図解：アラームの記録動作について ”（☞ 36 ページ）

2．アラームの発生CHのみ記録したい

便利機能	記録→記録動作→記録モードのアラームの記録動作設定でアラームCHを設定すると、アラーム発生時のアラーム記録を、アラームが発生している CH のみを記録します。
参照ページ	“ 基本操作：記録動作の詳細設定 8 ”（☞ 30 ページ） “ 基本操作：図解：アラームの記録動作について ”（☞ 36 ページ）

3．アラーム発生の直前を記録したい

便利機能	プリアラーム機能を使用してアラーム発生時の最大５秒前から記録ができます。
参照ページ	“ 応用操作：アラームが入力される前を記録（プリアラーム記録）”（☞ 52 ページ）

4．アラーム音を出さないようにする

便利機能	【フロントパネルの 戻る/解除 で止める】 アラーム発生時のブザー音をフロントパネルの 戻る/解除 を押して止めることができます。ただし、アラーム記録は継続します。 【設定メニューであらかじめブザーを鳴らないようにする】 アラームが入力したときでも、ブザー音を出さないでアラーム記録をすることができます。
参照ページ	“ 基本操作：記録動作の詳細設定 8 ”（☞ 30 ページ）

5．アラーム記録中であることを外部の機器に知らせる

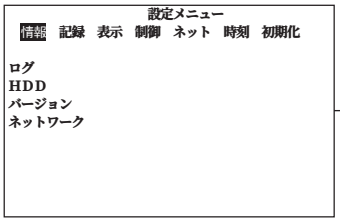
便利機能	アラーム出力端子を使用して、アラーム動作中であることを他の機器（回転灯やパンチルト）に知らせることができます。
参照ページ	“ 接続：アラームと入出力端子の接続 ”（☞ 8 ページ） “ 基本操作：アラーム入力で記録 ”（☞ 34 ページ）

設定メニュー

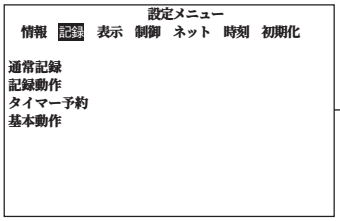
本機は、設定メニュー画面で各種動作の条件を設定します。
設定メニュー画面は階層構造化されています。（☞ 103 ページ～☞ 107 ページ）

トップメニュー画面

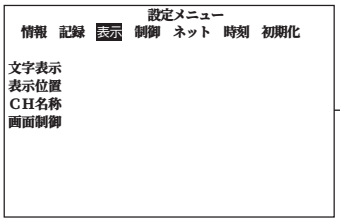
設定、確認内容



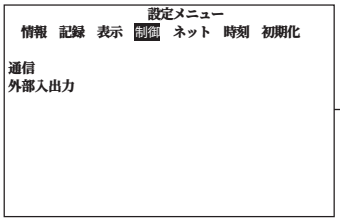
情報（☞ 103 ページ）
ログ　：各種ログ情報を確認できます。
HDD　：HDD の稼働時間を確認できます。
バージョン　：ソフトウェアのバージョンを確認できます。
ネットワーク　：設定されている IP アドレスを確認できます。



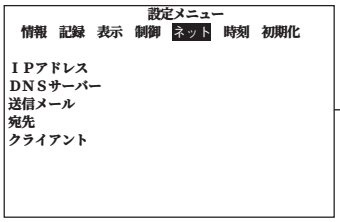
記録（☞ 103 ページ）
通常記録　：通常記録動作の設定番号を設定します。
記録動作　：記録動作を設定します。（最大 10 パターン）
タイマー予約　：タイマー予約を設定します。（最大 10 予約）
基本動作　：HDD のリピート記録と停電復帰動作を設定します。



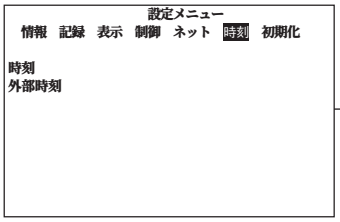
表示（☞ 104 ページ）
文字表示　：モニタ画面上の各種文字情報（日付など）の表示 ON/OFF を設定します。
表示位置　：モニタ画面上の文字情報の配置を 8 つのタイプから選択します。
CH 名称　：各 CH に対して名称を設定します。（最大 16 文字）
画面制御　：表示に関する詳細動作を設定します。



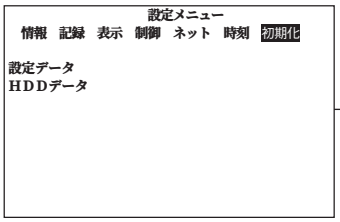
制御（☞ 104 ページ）
通信　：RS-232C の設定をします。
外部入出力　：リアパネルの入出力端子の機能とアラーム検出トリガーの設定をします。



ネット（☞ 105 ページ、106 ページ）
IP アドレス　：IP アドレスと切断時間の設定をします
DNS サーバー　：DNS サーバーの設定をします。
送信メール　：SMTP の設定をします。
宛先　：送信するメールアドレスの設定をします。
クライアント　：ネットワーク経由で本機をコントロール出来るユーザーなどを設定します。



時刻（☞ 107 ページ）
時刻　：日付、時刻を設定します。
外部時刻　：外部からの入力信号による時刻合わせ時刻を設定します。

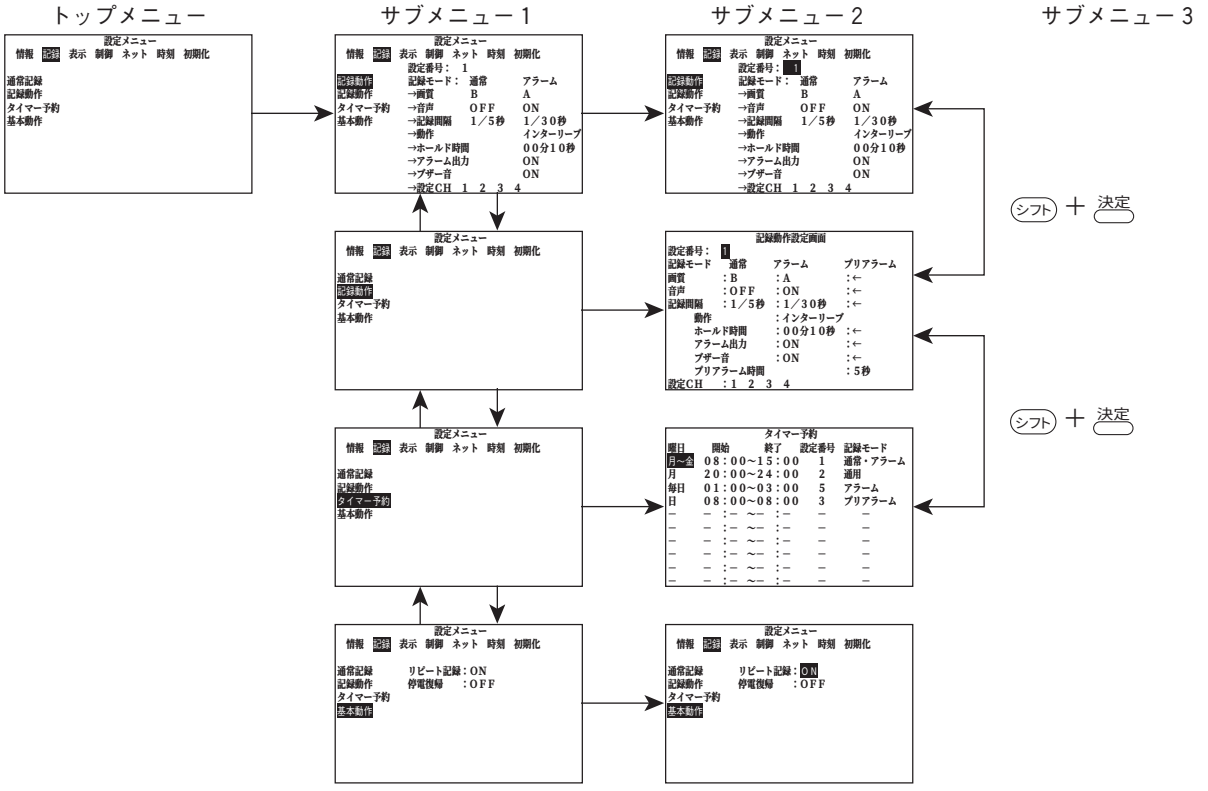


初期化（☞ 107 ページ）
設定データ　：設定メニューを工場出荷時に戻します。
HDD データ　：HDD のデータ（画像、音声）を全て消去します。

設定メニュー　画面一覧　その1（情報・記録）

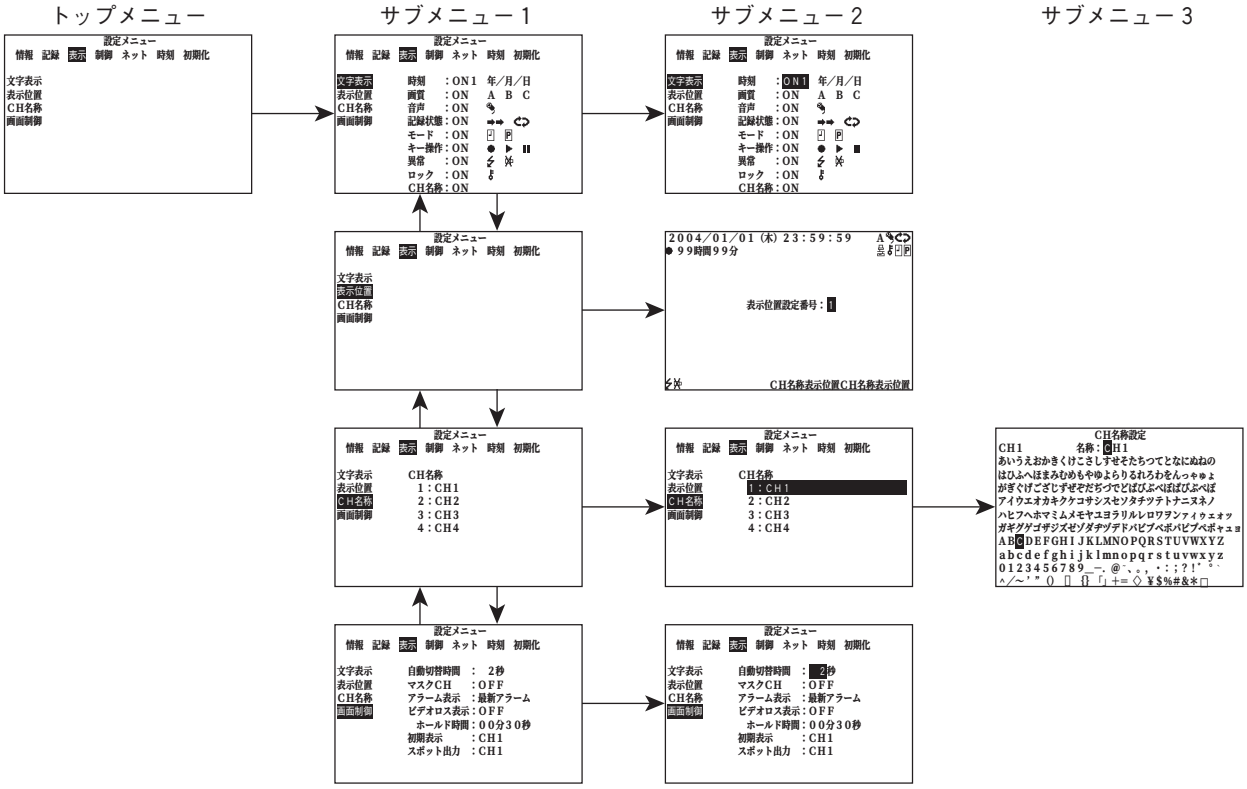
情報メニュー（☞ 108ページ）

記録メニュー（☞ 109ページ、110ページ）

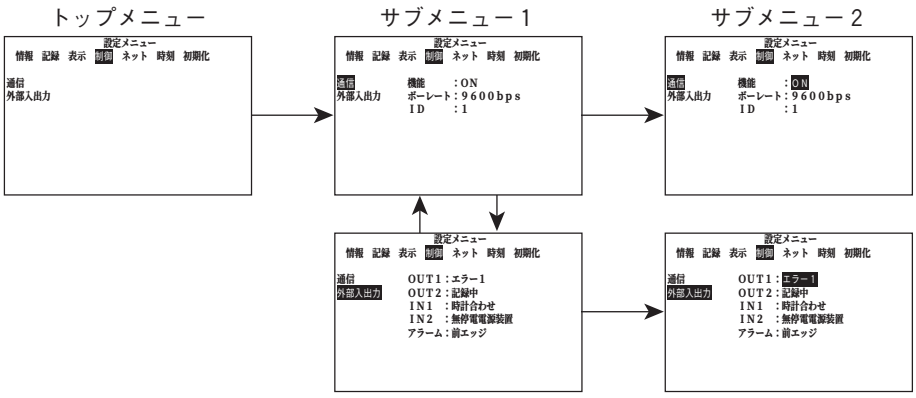


設定メニュー　画面一覧　その2（表示・制御）

表示メニュー（☞ 111ページ）

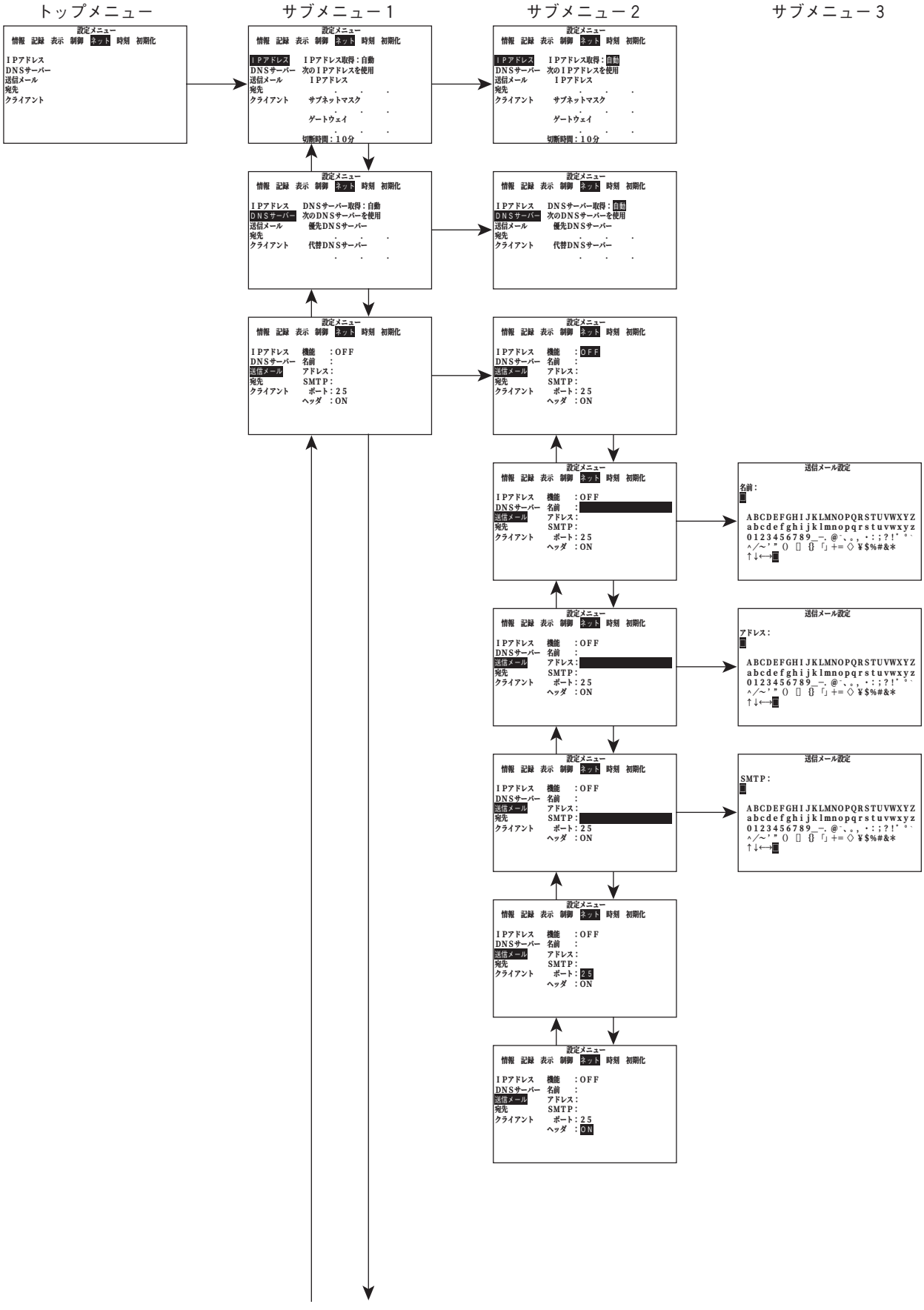


制御メニュー（☞ 112ページ）



設定メニュー　画面一覧　その3（ネットワーク）

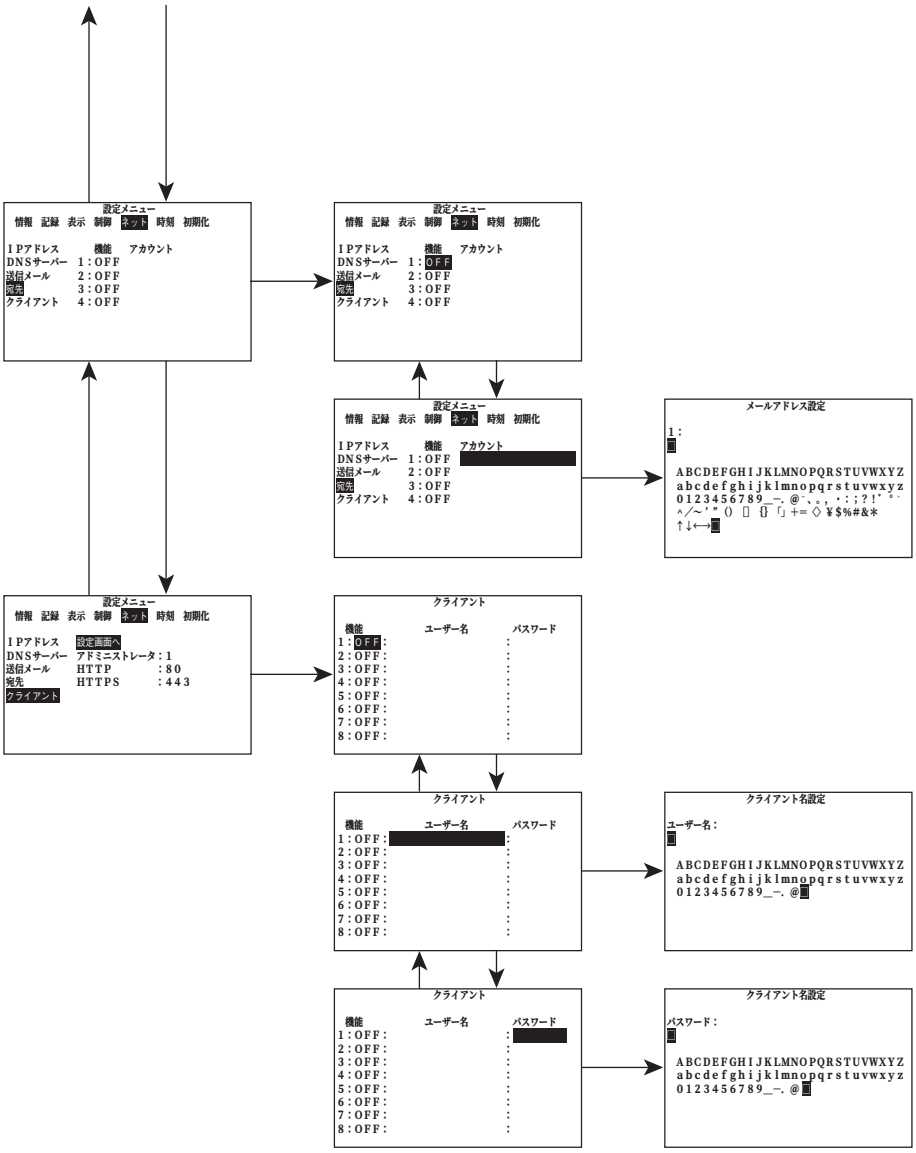
ネットワークメニュー（☞ 113ページ）



設定メニュー　画面一覧　その4（ネットワーク）

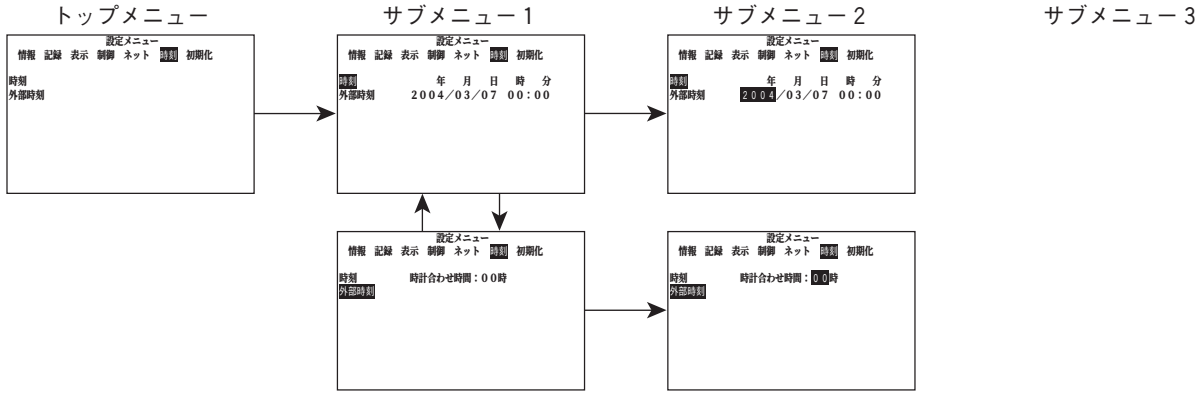
ネットワークメニュー（☞ 113ページ）

トップメニュー　サブメニュー1　サブメニュー2　サブメニュー3

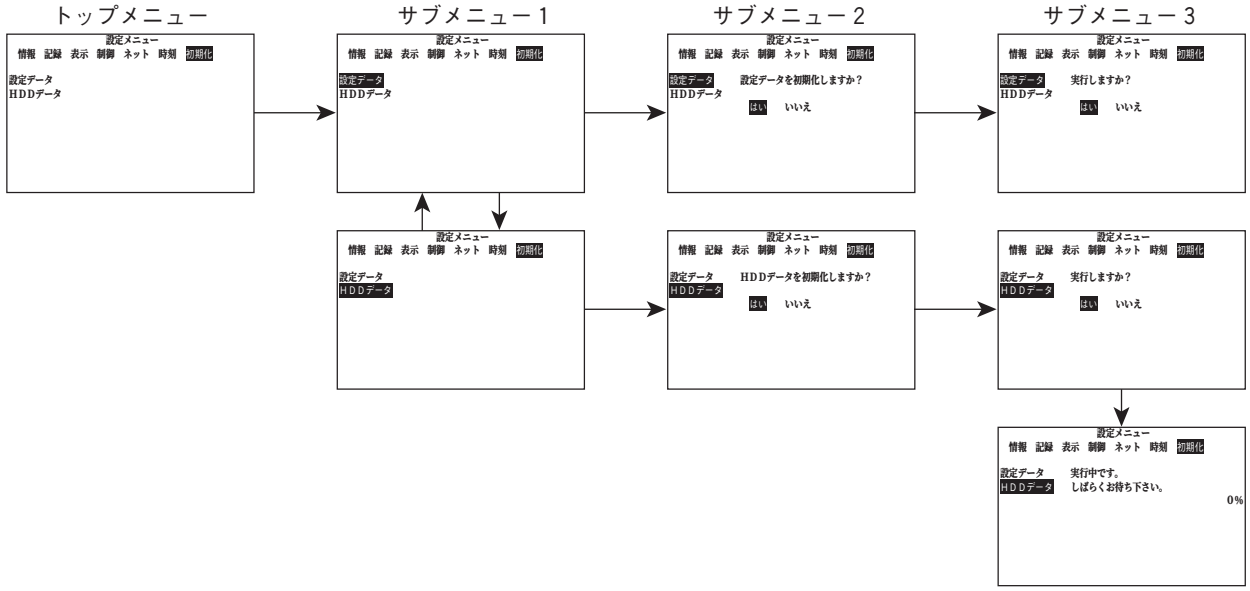


設定メニュー　画面一覧　その5（時刻・初期化）

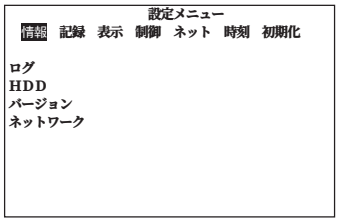
時刻メニュー（☞ 114ページ）



初期化メニュー（☞ 115ページ）



情報について（階層：☞ 103ページ）

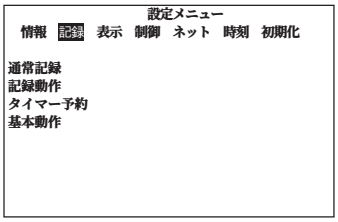


情報
ログ　　：各種ログ情報を確認できます。
HDD　　：HDD の稼働時間を確認できます。
バージョン　：ソフトウェアのバージョンを確認できます。
ネットワーク：登録されている IP アドレスを確認できます。

サブメニュー１	サブメニュー２	内容（【サブメニュー３】の表示内容）
ログ （☞ 92 ページ）	記録	【記録ログ】 記録（フロント SW、タイマー、アラーム、通信、ネットワーク）の動作ログ（開始時刻～終了時刻）を表示します。最大 200 件表示します。
	アラーム	【アラームログ】 アラーム記録（アラーム記録、プリアラーム記録、ビデオロス）の動作ログを表示します。最大 500 件表示します。
	起動	【起動ログ】 本体起動ログ（電源入力起動、停電復帰）を表示します。最大 200 件表示します。
	制御	【制御ログ】 制御（HDD 初期化、設定データの変更、設定データ初期化、各モードの変更、無停電電源の検出と復帰、HDD 電源入力と切断）の動作ログを表示します。最大 200 件表示します。
	ネットワーク	【ネットワークログ】 接続、接続エラー、切断、回線断、ライブ配信、HDD 配信、SDR 配信、タイマーモード、プリアラームモード、通常モード、頭出し検索取得、アラーム検索取得、検索実行、記録ログ取得、アラームログ取得、起動ログ取得、制御ログ、ネットワークログ取得、装置異常ログ、メール送受信ログを表示します。 最大 200 件表示します。
HDD	（☞ 94 ページ）	HDD（ハードディスク）の稼働時間を表示します。
バージョン	（☞ 94 ページ）	プログラム・OS（オペレーティングシステム）・FPGA のバージョンを表示します。
ネットワーク	（☞ 94 ページ）	設定されている IP アドレスを表示します。

設定メニュー　記録について　その1

記録について（階層：☞ 103ページ）

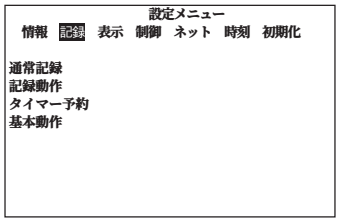


記録
通常記録　　：通常記録動作の設定番号を設定します。
記録動作　　：記録動作を設定します。（最大 10 パターン）
タイマー予約：タイマー予約を設定します。（最大 10 予約）
基本動作　　：HDD のリピート記録と停電復帰動作を設定します。

サブメニュー1	サブメニュー2	選択	内容（【サブメニュー３】の表示内容）
通常記録（☞ 32 ページ）			通常記録は、タイマー記録以外の記録動作（設定番号）を設定します。フロントパネルの (●) を押したときやアラームが入力したときの記録動作（設定番号）を選択します。
	設定番号	1 ～ 10	通常記録(タイマー記録以外)で使用する記録動作の設定番号を選択します。
	記録モード	通常 通常・アラーム	設定番号(サブメニュー２)で設定した記録動作の記録モードを選択します。 「通常」：フロントパネルの (●) を押したとき記録するモードです。アラーム動作はしません。 「通常・アラーム」：「通常」動作に加えてアラーム記録を行います。
	→画質 →音声 →記録間隔 →動作 →ホールド時間 →アラーム出力 →ブザー音 →設定 CH		**設定番号で選択した記録動作の設定状態（プレビュー表示）を表示します。** 記録動作の設定変更は「記録動作」(サブメニュー１)で設定してください。 (シフト) と (決定) の同時押しで(サブメニュー１)に戻らずに直接「記録動作」の設定メニューへジャンプします。再度 (シフト) と (決定) の同時押しで「通常記録」の設定メニューに戻ります。
記録動作 （☞ 22 ページ～ 31 ページ）			記録動作（画質、音声、記録間隔、動作、ホールド時間、アラーム出力、ブザー音、プリアラーム時間、設定 CH）の設定を行います。
	設定番号	1 ～ 10	記録動作の設定番号を選択します。（最大 10 パターンの記録動作を設定できます）
	画質	A, B, C	３段階の画質から選択します。（A：高画質、 B：標準画質、 C：長時間画質）
	音声	ON/OFF	音声記録の ON/OFF を設定します。
	記録間隔	1/30 ～ 10 秒	記録間隔を設定します。 最小記録間隔は、「1/30 秒」（約 0.03 秒間隔）の記録となります。 **ご注意** 同時記録再生機能は、「1/30 秒」「1/15 秒」「1/10 秒」では使用できません。
	動作	設定 CH アラーム CH インターリーブ	設定 CH　　：「設定 CH」（サブメニュー２）で設定した CH を記録します。 アラーム CH：アラーム記録時、アラーム発生 CH のみを記録します。複数のアラームが発生した場合は、後に発生したアラーム CH を記録します。（後優先 CH） インターリーブ：アラーム記録時、アラーム発生CHの記録間隔を短くします。
	ホールド時間	0 秒～ 30 分 59 秒	アラーム（プリアラーム含む）発生時、アラーム発生後の記録時間を設定します。設定した時間は、最後に発生したアラームからの時間になります。
	アラーム出力	ON/OFF	アラーム（プリアラーム含む）発生時のアラーム出力（リアパネル）の ON/OFF を設定します。
	ブザー音	ON/OFF	アラーム（プリアラーム含む）発生時のブザーの ON/OFF を設定します。

設定メニュー　記録について　その2

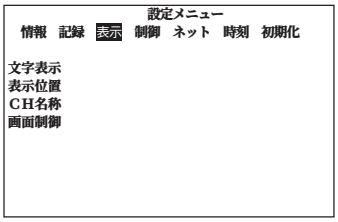
記録について（階層：☞ 103ページ）



記録
通常記録　　：通常記録動作の設定番号を設定します。
記録動作　　：記録動作を設定します。（最大 10 パターン）
タイマー予約：タイマー予約を設定します。（最大 10 予約）
基本動作　　：HDD のリピート記録と停電復帰動作を設定します。

サブメニュー1	サブメニュー2	選択	内容（【サブメニュー３】の表示内容）
記録動作（つづき） （☞ 30 ページ）			
	プリアラーム時間	１秒～５秒	プリアラーム機能を使用する場合、アラーム発生の前を何秒記録するかを設定します。（最大５秒） プリアラームは、フロントパネルの プリアラーム を押してLEDが点灯するとプリアラーム待機状態となります。プリアラーム待機中は、プリアラーム記録動作の設定が有効となります。また、 タイマー を押すとタイマー機能を優先しプリアラーム待機状態は解除され、タイマー待機状態になります。
	設定 CH	CH1 ～ CH4	動作で設定 CH を選択したときの記録する CH を選択します。 記録しない CH は、直接 CH 番号を押して＊表示にします。（ １ → ＊ ） 再度 CH 番号を押せば記録対象の CH となります。（ ＊ → １ ）
タイマー予約 （☞ 37 ページ）			タイマーが 10 プログラム予約できます。 **予約時間が重なった場合、タイマー予約の上のプログラムが優先されます。**
	タイマー予約		タイマー記録の予約をします。
基本動作	リピート記録 （☞ 16ページ）	ON/OFF	HDD の記録方法を設定します。リピート記録：ON の場合、HDD が一杯になったとき、自動的に古い記録から上書きします。 **ご注意** 大切な記録は、リピート記録：OFF（ワンパス記録：HDD が一杯になったら記録を停止）で記録してください。
	停電復帰 （☞ 97ページ）	ON/OFF	停電復帰 ON/OFF を設定します。 停電復帰 ON は、記録中に停電などで電源が OFF されたとき、停電が復帰後自動的に記録動作を開始します。**（ただし、停電直前の記録データは最大１分間消去されます）**

表示について（階層：☞ 104ページ）

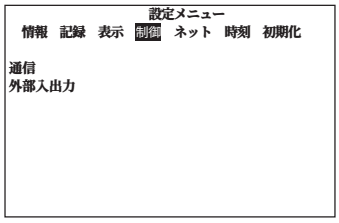


表示
文字表示　：モニタ画面上の各種文字情報（日付など）の表示 ON/OFF を設定します。
表示位置　：モニタ画面上の文字情報の配置を 8 つのタイプから選択します。
CH 名称　：各 CH に対して名称を設定します。（最大 16 文字）
画面制御　：表示に関する詳細動作を設定します。

サブメニュー1	サブメニュー2	選択	内容（【サブメニュー３】の表示内容）
文字表示 （☞ 57ページ）	時刻	ON ※/OFF ※	モニタ画面の「日付、時刻」表示 ON/OFF を設定します。 ※: １・２・３から時刻表示の順番を選択します。 （１：年月日　２：月日年　３：日月年）
	画質	ON/OFF	モニタ画面の「画質：A，B，C」表示 ON/OFF を設定します。
	音声	ON/OFF	モニタ画面の「音声：」表示 ON/OFF を設定します。
	記録状態	ON/OFF	モニタ画面の「記録状態：」表示 ON/OFF を設定します。
	モード	ON/OFF	モニタ画面の「モード：」表示 ON/OFF を設定します。
	キー操作	ON/OFF	モニタ画面の「キー操作：」表示 ON/OFF を設定します。
	異常	ON/OFF	モニタ画面の「異常：」表示 ON/OFF を設定します。
	ロック	ON/OFF	モニタ画面の「ロック：」表示 ON/OFF を設定します。
	CH 名称	ON/OFF	モニタ画面の「CH 名称」表示 ON/OFF を設定します。
表示位置 （☞ 59ページ）	表示位置設定画面	1 ～ 8	「日付、時刻、各種マーク、CH 名称など」の表示位置を８種類から選択します。
CH 名称 （☞ 50ページ）	CH 名称	CH1 ～ CH4	【CH 設定】 各 CH ごとに名称（最大 16 文字）を設定します。設定できる文字の種類は、ひらがな、カタカナ、英数字、記号です。
画面制御	自動切替時間 （☞ 61ページ）	1 ～ 60 秒	１画面表示の自動切替時間を設定します。
	マスク CH （☞ 62ページ）	OFF CH1 ～ CH4	モニタ画面に監視映像（ライブ映像）を表示させない CH を設定します。 **通常動作設定の設定 CH でマスク CH が選択されている場合、マスク CH の記録と再生が可能です。**
	アラーム表示 （☞ 64ページ）	OFF	アラーム入力時、モニタ画面表示は変化しません。
		アラーム切替	アラーム入力時、モニタ画面はアラーム発生 CH を１画面表示します。複数のアラームが発生した場合、そのアラーム発生 CH を１秒間隔で切り替えて表示します。
		最新アラーム	アラーム入力時、モニタ画面はアラーム発生 CH を１画面表示します。複数のアラームが発生した場合、最新のアラーム発生 CH を表示します。
	ビデオロス表示 （☞ 66ページ）	ON/OFF	ビデオロス表示の ON/OFF を設定します。 ビデオロス表示 ON 設定時、映像のビデオロスが発生した CH を青画で１画面表示します。 １画面（青画）の表示時間はホールド時間で設定した時間です。**再生動作中にビデオロスが発生した場合、再生は強制的に停止します。** ビデオロスについて 本機器は、接続されたカメラの同期信号を検出しています。カメラケーブルの切断やカメラ故障などにより同期信号が検出できなくなるとビデオロスが発生します。
	ホールド時間 （☞ 67ページ）	1 秒～ 30 分 59 秒	ビデオロス表示（１画面：青画）のホールド時間を設定します。
	初期表示 （☞ 95ページ）		本機電源 ON 時のモニタ表示画面を設定します。
		CH1 ～ CH4	設定した CH の１画面表示で起動します。
		４画面	４画面表示で起動します。
	スポット出力 （☞ 96ページ）	CH1 ～ CH4	リアパネルのスポット出力から各 CH 映像が出力されます。
		自動切替	リアパネルのスポット出力から自動切替映像が出力されます。

設定メニュー　制御について

制御ついて（階層：☞ 104ページ）

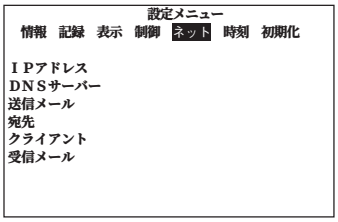


制御
通信　　：RS-232C の設定をします。
外部入出力　：リアパネルの入出力端子の機能とアラーム検出トリガーの設定をします。

サブメニュー1	サブメニュー2	選択	内容（【サブメニュー３】の表示内容）
通信 （☞ 74 ページ）			リアパネルの RS-232C コネクタでシリアル通信を行うための設定です。
	機能	ON/OFF	通信機能の ON/OFF を設定します。
	ボーレート	12,000bps ～ 38,400bps	通信のボーレートを設定します。 ボーレートは、1,200/2,400/4,800/9,600/19,200/38,400bps の６種類から選択します。
	通信 ID	1 ～ 99	機器ごとに識別番号の ID を設定します。
外部入出力			リアパネルの入出力端子の入力ピン（入力１、入力２）と出力ピン（出力１、出力２）の機能の割り当てなどを設定します。 **入力信号：TTL 負論理パルスまたはメイク接点（パルス幅 100mS 以上）** **出力信号：オープンコレクタ出力、DC ＋ 24V　50mA（Max）**
	OUT1, OUT2 （☞ 70ページ）	エラー 1	システムエラーと HDD エラーの警告出力です。
		エラー 2	ワンパス警告出力です。
		記録中	記録動作中常に出力します。
	IN1, IN2 （☞ 69ページ）	時計合わせ	外部からの時刻合わせ入力。 設定メニューの時刻－外部時刻で設定した時刻に内部時計を合わせます。 他の機器の時刻に、本機の時刻を合わせるときに使用します。（☞ 90 ページ）
		無停電電源装置	無停電電源装置からの停電検出信号入力。
	アラーム （☞ 71ページ）	前エッジ	アラーム入力時に、ホールド時間をアラーム信号の前エッジからの時間にします。
		後エッジ	アラーム検出時に、ホールド時間をアラーム信号の後エッジからの時間にします。

設定メニュー　ネットワークについて　その１

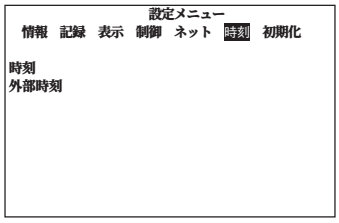
ネットワークについて（階層：☞ 105ページ、106ページ）



ネット
IP アドレス　：IP アドレスと切断時間の設定をします。
DNS サーバー：DNS サーバーの設定をします。
送信メール　：SMTP の設定をします。
宛先　　：送信するメールアドレスの設定をします。
クライアント：ネットワーク経由で本機をコントロール出来るユーザーなどを設定します。

サブメニュー1	サブメニュー2	選択	内容（【サブメニュー３】の表示内容）
IP アドレス（☞ 76 ページ）			ネットワークに接続するための各種 IP アドレスを設定します。**IP アドレス取得を自動にした場合は、IP アドレス・サブネットマスク・ゲートウエイの項目へ移動できなくなります。**
	IP アドレス取得	自動	DHCP サーバーから自動的に IP アドレスを取得する場合に選択します。
		手動	固定 IP アドレスを設定する場合に選択します。
	IP アドレス	0 ～ 255	IP アドレス取得を手動にした場合だけ、固定 IP アドレスを設定します。
	サブネットマスク	0 ～ 255	IP アドレス取得を手動にした場合だけ、サブネットマスクを設定します。
	ゲートウェイ	0 ～ 255	IP アドレス取得を手動にした場合だけ、デフォルトゲートウエイを設定します。
	切断時間（☞ 78ページ）	1 ～ 60 分	クライアントから接続されたときの強制切断時間を設定します。
DNS サーバ（☞ 79 ページ）			IPアドレスをドメイン名に変換するDNSサーバーのIPアドレスを設定します。**DNSサーバー取得を自動にした場合は、優先DNSサーバー・代替DNSサーバーの項目へ移動できなくなります。**
	DNS サーバー取得	自動	DHCP サーバーから自動的に DNS サーバーの IP アドレスを取得する場合に選択します。
		手動	DNS サーバーの IP アドレスを手動で設定する場合に選択します。
	優先 DNS サーバー	0 ～ 255	DNS サーバー取得を手動にした場合だけ、優先 DNS サーバーを設定します。
	代替 DNS サーバー	0 ～ 255	DNS サーバー取得を手動にした場合だけ、代替 DNS サーバーを設定します。
送信メール（☞ 81 ページ）			SMTP アカウントの設定をします。
	機能	ON/OFF	アラーム発生時にメールを配信するかしないかを設定します。
	名前	英数記号	【送信メール設定】 メール送信時の名前（英数記号から最大 255 文字）を設定します。
	アドレス	英数記号	【送信メール設定】 メール送信時の自分のメールアドレス（英数記号から最大 255 文字）を設定します。
	SMTP	英数記号	【送信メール設定】 SMTP のサーバー名（英数記号から最大 255 文字）を設定します。
	ポート	0 ～ 255	SMTPサーバーのポート番号を設定します。通常はデフォルトの25にしてください。
	ヘッダ	ON/OFF	メール送信時にヘッダを付けるか付けないかを設定します。 通常はデフォルトの ON にしてください。
宛先（☞ 83 ページ）			送信するメールの宛先を設定します。最大４ユーザーへアラーム発生時に、画像付きメールを送信することができます。
	機能	ON/OFF	メールを送信するかしないかの設定をします。
	アカウント名	英数記号	【メールアドレス設定】 送信したい相手のメールアドレス（英数記号から最大 255 文字）を設定します。
クライアント			リモート接続するクライアントの設定をします。
	設定画面へ（☞ 85 ページ）		【クライアント設定】 機能（ON/OFF）：リモート接続を許可するかしないかの設定をします。 ユーザー名　：リモート接続ユーザー名（英数記号から最大 16 文字）を設定します。 パスワード　：リモート接続時のパスワード（英数記号から最大８文字）を設定します。
	アドミニストレータ（☞ 88ページ）	1 ～ 8	クライアント設定画面にて設定したユーザーのいずれかを管理者ユーザーに設定します。
	HTTP（☞ 89ページ）	0 ～ 255	HTTP で接続する時のポート番号を設定します。 通常は、デフォルトの 80 にしてください。
	HTTPS（☞ 89ページ）	0 ～ 65535	HTTPS で接続する時のポート番号を設定します。 通常は、デフォルトの 443 にしてください。

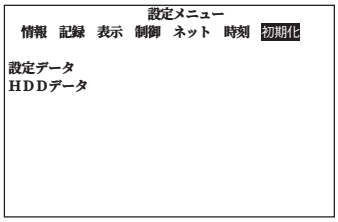
時刻について（階層：☞ 107ページ）



時刻
時刻　　：日付、時刻を設定します。
外部時刻　：外部からの入力信号による時刻合わせ時刻を設定します。

サブメニュー1	サブメニュー2	選択	内容（【サブメニュー３】の表示内容）
時刻 （☞ 14 ページ）			年日付、時刻を設定します。曜日は年月日より自動で設定されます。 戻る/解除 または 設定 を押した直後から時計はスタート（０秒）します。
	年	2001 ～ 2099	年を設定します。（西暦：４桁表示）
	月	１～ 12	月を設定します。
	日	１～ 31	日を設定します。
	時	０～ 23	時を設定します。（24 時間制）
	分	０～ 59	分を設定します。
外部時刻 （☞ 90 ページ）			外部入力の時計リセットに信号が入力したとき、内部時計を「時計合わせ時間」に合わせます。 **「時刻合わせ時間」の設定時間に対して内部時計時刻が± 30 分以内のとき合わせます。** 他の機器の時刻に、本機の時刻をを合わせるときに使用します。（☞ 69 ページ）
	時計合わせ時間	０～ 23 時	合わせたい時間を設定します。（24 時間制）

初期化について（階層：☞ 107ページ）



初期化
設定データ　：設定メニューを工場出荷時に戻します。
HDD データ　：HDD のデータ（画像・音声）を全て消去します。

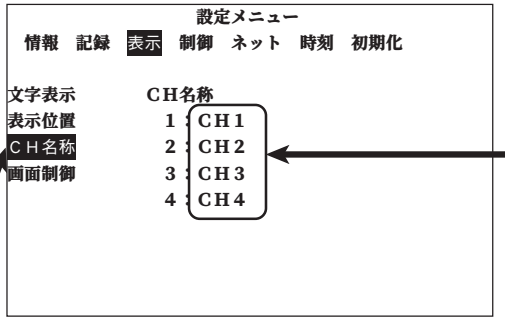
サブメニュー1	サブメニュー2	選択	内容（【サブメニュー３】の表示内容）
設定データ （☞ 98 ページ）			「設定メニュー」の設定内容を工場出荷時の設定に戻します。
	設定データを初期化しますか?	はい／いいえ	【実行しますか？　はい／いいえ】 「はい」を選択し決定すると**ピッと鳴り、設定メニューの全てのデータ**を工場出荷状態に戻します。 設定メニューの項目ごとに工場出荷状態に戻すことができます。
HDD データ （☞ 20 ページ）			「HDD データ」は HDD の記録データを初期化（消去）します。ワンパス記録モードで記録を消去するときなど使用します。
	HDD データを初期化しますか?	はい／いいえ	【実行しますか？　はい／いいえ】 「はい」を選択し決定すると、ハードディスクの記録データを初期化します。

〈設定メニューの項目ごとに工場出荷状態に戻す場合〉

◎ トップメニューとサブメニュー１で初期化できる項目は、情報と初期化を除く、記録、表示、制御、ネット、時刻（現在時刻を除く）です。
工場出荷状態に戻したい項目にカーソルを移動して シフト と 戻る/解除 を同時に押すとピッと鳴り、カーソルのある項目のみ工場出荷状態に戻ります。

〈例えば〉

◎ 表示ー CH 名称 の項目を工場出荷状態に戻す場合



ピッと鳴り、工場出荷状態に戻ります。

カーソルが表示とCH名称にある状態で シフト と 戻る/解除 を同時に押します。

困ったときには

おかしいときはログを確認

説明	本機の動作がおかしいときや記録されていないなど、意図していない動作や状態のときに、ログを確認すると原因が分かる場合があります。
参照ページ	“ 便利機能：ログで詳細な動作確認 ”（☞ 91 ページ）

タイマーの予約設定をしても記録されない

説明	タイマー予約で記録時間が重なっている場合は、上の方にプログラムされている時刻が優先的に記録されます。
参照ページ	“ 基本操作：タイマーの詳しい動作について ”（☞ 40 ページ）

全ての文字やアイコンが表示されなくなった

説明	(シフト) を長押し（２秒以上）してください。 本機には、監視映像（ライブ映像）表示中や再生中に (シフト) を長押し（２秒以上）すると（LED は点灯しない）、全ての文字やアイコンを簡単に非表示にするとこができる機能があります。
参照ページ	“ 応用操作：アイコンと文字の表示と非表示 ”（☞ 57 ページ）

タイマーを解除できない

説明	タイマー を長押し（２秒以上）してください。 タイマー記録中（タイマー待機中は除く）は、誤動作防止のため２秒以上の長押しでタイマーモードを解除し同時に記録も停止します。
参照ページ	“ 基本操作：タイマーで記録　その３ ”（☞ 39 ページ）

プリアラームを解除できない

説明	プリアラーム を長押し（２秒以上）してください。 プリアラーム記録中（プリアラーム待機中は除く）は、誤動作防止のため２秒以上の長押しでプリアラームモードを解除し同時に記録も停止します。
参照ページ	“ 応用操作：アラームが入力される前を記録（プリアラーム記録）　その２ ”（☞ 53ページ）

フロントパネルの操作ができなくなった

説明	(シフト) と 戻る/解除 を同時に押してください。フロントパネルのロックが解除され全てのスイッチが操作できます。
参照ページ	“ 応用操作：操作スイッチのロックについて ”（☞ 68 ページ）

システム異常で動作が停止したとき

説明	なんらかのシステム異常で、フロントパネルの操作が全く受け付けなくなったときや異常停止してしまったときなど（ハングアップしたとき）は、フロントパネルのリセットスイッチを先の尖った細長い物で押して再起動させてください。
参照ページ	“ はじめに：フロントパネル ”（☞ 4 ページ）

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、故障かな？と思ったらまず次の内容を確認してください。

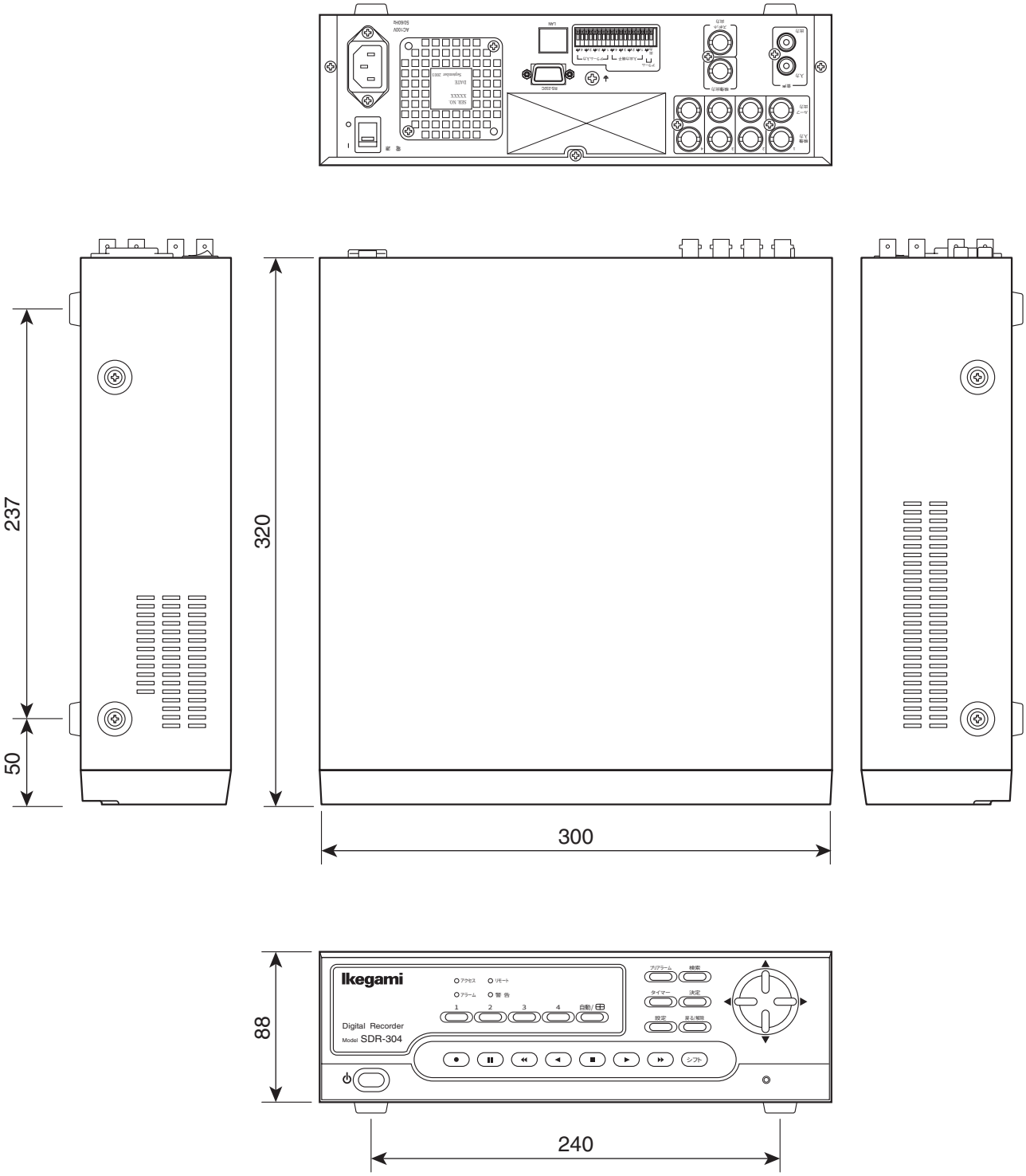
症　状	確認してください	参照ページ
電源が入らない	●電源プラグがコンセントから外れていませんか？	7
	●付属の電源コードが本機に確実に接続されていますか？	7
記録が停止しない	●記録の停止は、(■) を２秒以上の長押し（押し続ける）です。	33
	●フロントパネルのロック状態ではありませんか？ (シフト) と 戻る/解除 の同時押しでロックを解除します。	68
	●タイマーの記録中（タイマー のLED点灯）ではありませんか？ → タイマー を長押し（２秒以上）してタイマー記録を解除（タイマー のLED消灯）してください。同時に記録も停止します。	39
タイマー記録ができない	●日付、時刻は合っていますか？	14
	●タイマー予約は、合っていますか？	37
	● タイマー のLEDは点灯していますか？ → タイマー を押してタイマー待機状態（タイマー のLED点灯）にしてください。	39
再生できない（検索できない）	●タイマーの記録（待機）中（タイマー のLEDが点灯）ではありませんか？ → タイマー を長押し（２秒以上）してタイマー記録を解除（タイマー のLED消灯）してください。同時に記録も停止します。	39
	●プリアラーム記録（待機）中（プリアラーム のLED点灯）ではありませんか？ → プリアラーム を長押し（２秒以上）してプリアラームを解除（プリアラーム のLED消灯）してください。同時に記録も停止します。	53
	●フロントパネルのロック状態ではありませんか？ → (シフト) と 戻る/解除 の同時押しでロックを解除します。	68
	●記録間隔が1/30秒・1/15秒・1/10秒で記録中ではありませんか？	54
	●アラーム記録中ではありませんか？	—
フロントスイッチの操作ができない	●フロントパネルのロック状態ではありませんか？ → (シフト) と 戻る/解除 の同時押しでロックを解除します。	68
	●ネットワーク遠隔監視中でリモートLEDが点灯し、画面に“通信中は、フロントSWの操作はできません。”が表示されていませんか？ →メッセージが消えるまでしばらくお待ちください。	—
【警告LED】が点灯している	●「ワンパス記録」でHDDが一杯になっていませんか？ →ハードディスクのデータを消去（初期化）してください。	20
【警告LED】が点灯しブザーが停止しない	●画面に“ハードディスクリードアクセスエラー　電源を入れなおして下さい”“ハードディスクライトアクセスエラー　電源を入れなおして下さい”“コーデックアクセスエラー　電源を入れなおしてください”などが表示され 戻る/解除 を押してもブザーが停止しない場合 １）画面の指示にしたがって電源を入れなおしてください。 ２）電源を再投入しても現象が改善されない場合は、電源をOFFして担当サービスマンへ連絡してください。	—

仕様

No.	項目		仕様
1	映像	入力	RS-170A 準拠（カラー）または RS-170 準拠（B/W） コンポジット　1.0Vp-p ／ 75 Ω不平衡 ４系統：BNC、自動終端ループスルー付
		出力	RS-170A 準拠（カラー）または RS-170 準拠（B/W） コンポジット　1.0Vp-p ／ 75 Ω不平衡 ２系統：BNC（映像出力、スポット出力）
2	音声	入力	-10dBV（316mV）／ 10kΩ 不平衡 １系統（モノラル）：RCA
		出力	-10dBV（316mV）／ 600 Ω不平衡 １系統（モノラル）：RCA
3	デジタル処理	映像	Motion-JPEG サンプリンク画素数：720 (H)× 240(V)（有効画素数 704 × 240）
		音声	PCM 7.35kHz
4	記録	画質	３種類（A，B，C）
		間隔	最小：1/30 秒 （同時記録再生時最小：1/5 秒） 最大：10 秒 （アラーム・プリアラーム：１秒）
		プリアラーム	最大５秒
5	HDD		容量は記録時間表を参照してください。（☞ 120 ページ） ※ HDD の容量は、今後 HDD の容量増加にともない仕様が変更になる場合があります。
6	外部端子	パラレル入出力端子	アラーム入力：４系統　端子台 アラーム出力：１系統　端子台 その他 I/O　：４系統　端子台 任意に設定利用可能（時刻合わせ、エラーなど）
		パラレル入出力仕様	入力：TTL レベル負論理パルス　または メイク接点、パルス幅 100ms 以上 出力：オープンコレクタ出力 DC ＋ 24V　50mA（MAX） Low レベル　+ 0.7V ～ + 0.8V
		RS-232C	Dsub9P（オス）DTE １系統
7	ネットワーク	プロトコル	TCP/IP･UDP/IP･HTTP･HTTPS･SMTP･DHCP･ICMP･ARP
		規格名	Ethernet
		種類	10BASE-T・100BASE-TX
		コネクタ	RJ-45
		セキュリティ	ユーザー登録（ID･パスワード）・SSL
		最大同時アクセス数	１ユーザー（後操作優先）
		ビューワソフト	SDR-300 Viewer　バージョン 1.0 以降
8	入力電圧		AC100V ± 10%　50/60HZ
9	消費電力		約 25 W
10	質量		約 4.3kg
11	外形寸法		300 (W)× 88 (H)× 320 (D) mm
12	動作温度		＋５～＋ 40℃
13	動作湿度		30%～ 80%（ただし、最大湿球温度 29℃で、結露無きこと）

ご注意：仕様および外観は、改良等のため予告なく変更する場合があります。

外観図



記録時間表

ハードディスクの容量：120GB

＜音声なし＞

記録モード	記録間隔（秒）										
	1/30	1/15	1/10	1/5	1/3	1/2	1	2	3	5	10
A	27.9 時間	55.9 時間	83.7 時間	167.0 時間	277.5 時間	414.5 時間	819.0 時間	1637.8 時間	2456.1 時間	4091.9 時間	8175.8 時間
	1.2 日	2.3 日	3.5 日	7.0 日	11.6 日	17.3 日	34.1 日	68.2 日	102.3 日	170.5 日	340.7 日
	0.2 週	0.3 週	0.5 週	1.0 週	1.7 週	2.5 週	4.9 週	9.7 週	14.6 週	24.4 週	48.7 週
	0.04 月	0.08 月	0.11 月	0.23 月	0.38 月	0.57 月	1.12 月	2.24 月	3.37 月	5.61 月	11.21 月
B	41.7 時間	83.2 時間	124.7 時間	248.4 時間	412.0 時間	614.3 時間	1206.9 時間	2413.1 時間	3618.6 時間	6027.4 時間	12037.2 時間
	1.7 日	3.5 日	5.2 日	10.4 日	17.2 日	25.6 日	50.3 日	100.5 日	150.8 日	251.1 日	501.6 日
	0.2 週	0.5 週	0.7 週	1.5 週	2.5 週	3.7 週	7.2 週	14.4 週	21.5 週	35.9 週	71.7 週
	0.06 月	0.11 月	0.17 月	0.34 月	0.56 月	0.84 月	1.65 月	3.31 月	4.96 月	8.26 月	16.50 月
C	76.3 時間	152.2 時間	227.8 時間	452.7 時間	747.8 時間	1109.6 時間	2149.3 時間	4296.3 時間	6441.1 時間	10724.1 時間	21392.6 時間
	3.2 日	6.3 日	9.5 日	18.9 日	31.2 日	46.2 日	89.6 日	179.0 日	268.4 日	446.8 日	891.4 日
	0.5 週	0.9 週	1.4 週	2.7 週	4.5 週	6.6 週	12.8 週	25.6 週	38.3 週	63.8 週	127.3 週
	0.10 月	0.21 月	0.31 月	0.62 月	1.02 月	1.52 月	2.95 月	5.89 月	8.83 月	14.70 月	29.32 月

＜音声あり＞

記録モード	記録間隔（秒）										
	1/30	1/15	1/10	1/5	1/3	1/2	1	2	3	5	10
A	27.6 時間	54.5 時間	81.7 時間	161.1 時間	261.6 時間	378.1 時間	695.0 時間	1217.6 時間	1612.2 時間	2192.3 時間	3007.5 時間
	1.2 日	2.3 日	3.4 日	6.7 日	10.9 日	15.8 日	29.0 日	50.7 日	67.2 日	91.3 日	125.3 日
	0.2 週	0.3 週	0.5 週	1.0 週	1.6 週	2.3 週	4.1 週	7.2 週	9.6 週	13.0 週	17.9 週
	0.04 月	0.07 月	0.11 月	0.22 月	0.36 月	0.52 月	0.95 月	1.67 月	2.21 月	3.00 月	4.12 月
B	40.9 時間	80.3 時間	120.3 時間	235.6 時間	378.1 時間	537.5 時間	955.5 時間	1599.7 時間	2042.9 時間	2647.8 時間	3409.9 時間
	1.7 日	3.3 日	5.0 日	9.8 日	15.8 日	22.4 日	39.8 日	66.7 日	85.1 日	110.3 日	142.1 日
	0.2 週	0.5 週	0.7 週	1.4 週	2.3 週	3.2 週	5.7 週	9.5 週	12.2 週	15.8 週	20.3 週
	0.06 月	0.11 月	0.16 月	0.32 月	0.52 月	0.74 月	1.31 月	2.19 月	2.80 月	3.63 月	4.67 月
C	73.8 時間	142.8 時間	213.7 時間	412.0 時間	643.0 時間	882.0 時間	1463.6 時間	2254.9 時間	2714.5 時間	3278.5 時間	3892.0 時間
	3.1 日	5.9 日	8.9 日	17.2 日	26.8 日	36.8 日	61.0 日	94.0 日	113.1 日	136.6 日	162.2 日
	0.4 週	0.8 週	1.3 週	2.5 週	3.8 週	5.3 週	8.7 週	13.4 週	16.2 週	19.5 週	23.2 週
	0.10 月	0.20 月	0.29 月	0.56 月	0.88 月	1.21 月	2.01 月	3.09 月	3.72 月	4.49 月	5.33 月

ご注意　●記録する映像によって、実際の記録時間と多少異なりますので目安としてお使いください。
●ハードディスクの容量は、機能向上のため予告なく変更する場合があります。

メモ

メモ

保証とアフターサービス

この商品には保証書（本書内）を添付しておりますので、所定事項の記入、及び記載事項をご確認の上、大切に保管して下さい。

- 保証期間は、お買い上げ日より１年間です。（ただし消耗品は除く）保証書の記載内容よりお買い上げの販売店が修理いたします。詳しくは保証書をご覧下さい。
- 保証期間経過後の修理については、販売店または営業マンにご相談下さい。修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有償修理いたします。
- 修理をご依頼の時は、お手数でももう一度取扱説明書をよくお読みになり、再度お確かめの上、型名、ご購入日、故障状況などをできるだけ詳しくお知らせ下さい。
- その他のアフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店または営業マンにご相談下さい。

※ 早め、早めの保守点検の実施をおすすめします。

保　証　書

型　名	SDR-304	製造番号	
お客様	ご芳名（ふりがな）	様 ☎	
	ご住所（〒）		
取扱販売店名・住所・電話番号			
保証期間	お買い上げ日　　年　　月　　日より	本体は１年間（ただし、管球類消耗品はのぞく）	

本書は、本書記載内容で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。
お買上げ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効となります。かならずご確認いただき、記入のない場合はお買上げの販売店にお申し出ください。
本書は再発行いたしません。
たいせつに保管してください。

《無料修理規定》

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買上げの販売店が無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、お買上げの販売店にご依頼ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   (ロ) お買上げ後の設置場所の移動、落下等による故障及び損傷
   (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷
   (ニ) 本書の提示がない場合
   (ホ) 本書にお買上げの年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、或いは字句を書き替えられた場合
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。

※この保証書は記載内容の範囲で無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店、又は最寄りの弊社営業所にお問合わせ下さい。

●:万一故障が発生した場合は、お買い上げの販売店にお申し出下さい。本商品は当社保証規定に基づいて保証させていただいております。

Ikegami

営業本部	〒146-8567 東京都大田区池上5-6-16　本社ビル	☎ (03)5748-2211 (代)
大阪支店	〒564-0052 吹田市広芝町9-6　第 1 江坂池上ビル	☎ (06)6389-4466 (代)
札幌営業所	〒060-0051 札幌市中央区南一条東1-3　パークイースト札幌ビル	☎ (011)231-8218 (代)
仙台営業所	〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-5-15　日本生命勾当台南ビル	☎ (022)227-2066 (代)
名古屋営業所	〒465-0051 名古屋市名東区杜が丘1-1506　加藤第 2 ビル	☎ (052)705-6521 (代)
広島営業所	〒730-0017 広島市中区鉄砲町5-16　サンケイビル	☎ (082)223-3163 (代)
福岡営業所	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-1-1　ノーリツビル福岡	☎ (092)451-2521 (代)

G71243